

326
134



始



第七回日本産業博覽會報告

326-134



目次

| | |
|-----------------|-----|
| 第一章 沿革及趣意..... | 一頁 |
| 一、沿革..... | 一頁 |
| 二、趣意..... | 二頁 |
| 第二章 組織..... | 四頁 |
| 一、規則及規程..... | 四頁 |
| 二、役員..... | 二四頁 |
| 三、事務所及事務分掌..... | 二六頁 |
| 第三章 開會準備..... | 三五頁 |
| 一、會場..... | 三五頁 |
| 二、廣告..... | 三〇頁 |
| 三、運賃割引..... | 三四頁 |

口金 寄贈本

大正 5. 1. 21 寄贈

10-102



| | |
|----------------|-----|
| 四、出品勸誘 | 三頁 |
| 第四章 出品 | 三頁 |
| 一、普通出品 | 三頁 |
| 二、特殊參考品 | 四〇頁 |
| 三、御大典記念特別室 | 五一頁 |
| 四、記念教育參考品 | 五一頁 |
| 五、繪 畫 | 五頁 |
| 六、陳列及裝飾 | 六頁 |
| 七、動 力 | 六頁 |
| 八、看護及販賣 | 六七頁 |
| 第五章 審查及褒賞 | 六頁 |
| 一、審查分擔 | 六頁 |
| 二、授賞人名(附審查辭退者) | 六頁 |
| 三、褒賞狀及賞牌 | 六七頁 |

| | |
|------------|-----|
| 四、審查概評 | 一八頁 |
| 第六章 儀 式 | 二九頁 |
| 一、開會式 | 二九頁 |
| 二、褒賞授與式 | 三五頁 |
| 三、閉會式 | 四一頁 |
| 第七章 觀 覽 | 四一頁 |
| 一、一般觀覽 | 四三頁 |
| 二、特別觀覽 | 四四頁 |
| 三、觀覽人統計 | 四五頁 |
| 四、徽章及入場券 | 四九頁 |
| 第八章 構內敷地使用 | 五〇頁 |
| 第九章 警備及救護 | 五五頁 |
| 第十章 補助金 | 五六頁 |

| | | |
|---------|-------|------|
| 第十一章 | 會期延長 | 一六二頁 |
| 第十二章 | 餘興催シ物 | 一六三頁 |
| 一、菖蒲デー | | 一六三頁 |
| 二、博覽會デー | | 一六三頁 |
| 三、成功デー | | 一六三頁 |
| 四、福引デー | | 一六四頁 |
| 五、餘興 | | 一六四頁 |
| 六、煙火 | | 一六六頁 |
| 第十三章 | 殘務 | 一六七頁 |
| 第十四章 | 收支決算 | 一六八頁 |
| 第十五章 | 社會ノ批評 | 一七二頁 |

目次終



君武利保久大 裁總



君郎四上池 裁總副



君門衛右善本橋 長會



君美義賀平士博學工長 總查審



君郎太專田平長查審



君郎五左居堀長部査審



君薰尼長長部査審



君郎五左居堀長部查審



君郎一寛口關長部查審



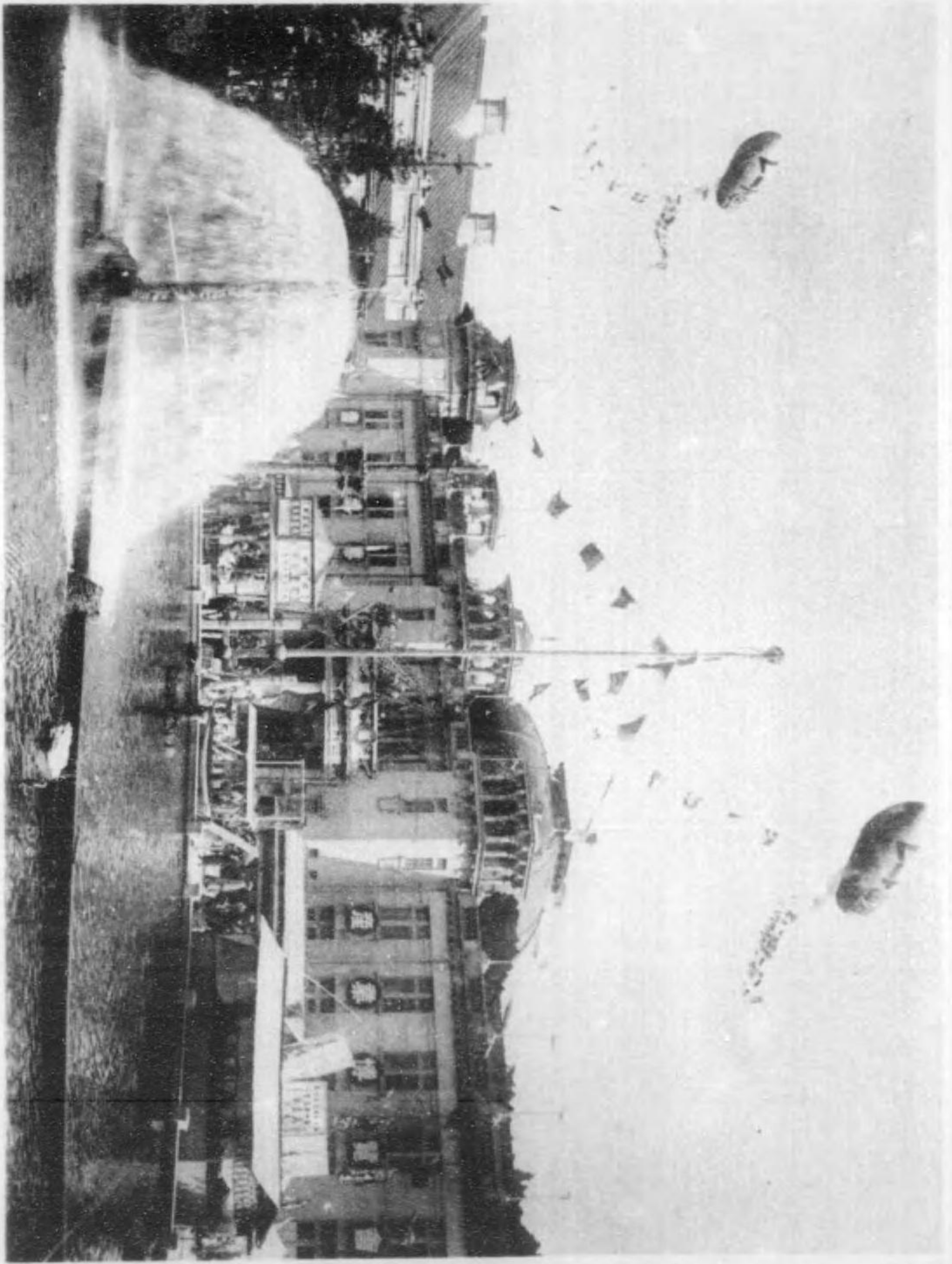
君造寅崎岩長部查審



君薰尼長長部查審



君郎次岡富長部查審



勒業館正全面景



第七回日本産業博覽會報告

第一章 沿革及趣意

一 沿革



回顧スレハ明治四十三年第一回日本産業博覽會ヲ開設シテ以來回ヲ重ヌルコト已ニ七回漸ヲ遂フテ良好ナル成績ヲ擧ケ聊我カ産業界ニ貢獻スル處アリシト雖モ第一回ヨリ第六回ニ至ルモノハ規模頗ル狭小ニシテ未タ以テ本會所期ノ目的ノ一端ヲモ遂行スルコト能ハサリシハ甚タ遺憾トスル處ナリ蓋シ大阪市内ニ於テ斯ル施設ニ適當ナル地域及建物ヲ求ムレハ僅ニ天王寺公園内ニ於ケル勸業美術兩館及其附近一帶ノ地域アルノミナルモ是レスラ常ニ他ノ公私團體ニ依リテ催サル、各種博覽會等ノ爲メニ占用セラレツ、アリ他ニ適當ナル會場ナク爲メニ比較的大規模ノモノヲ開催スルノ機會ヲ得サリシコトモ又已ムナ得ザル事情ナリシナリ。

然ルニ會々大正四年春季ニ於テ會場ノ貸與ヲ得ラルヘキ消息ニ接シタルヲ以テ大正三年十二月急遽

役員會ヲ開キテ協議ヲ遂ゲ茲ニ大正四年四月五月ノ好季節ヲ以テ第七回日本産業博覽會ヲ天王寺公園
内ニ於テ開催スルノ議ヲ決シ直チニ會ノ組織ヲ定メ諸般ノ準備ニ着手シタリ
斯クテ大正四年二月五日市内ノ各新聞記者ヲ堺卯樓ニ請待シ橋本會長以下役員出席ノ上本博覽會開
設ノ趣旨ヲ發表シタリ

一 趣 意

本會ノ發表シタル開設ノ趣旨左ノ如シ
趣 意 書

有史以來未曾有ノ大戰爭カ、吾人ニ與ヘタル教訓實ニ枚擧ニ遑アラスト雖モ、就中最モ痛切ノ感ニ
堪ヘサラシメタルハ、吾國民ノ産業ニ對スル智識幼稚ニシテ、其獨立ト充實ニ對スル施設極メテ不
用意不完全ナルニアリキ、此ニ於テカ近時國產獎勵ノ聲朝野ニ喧シク 皇室ニ於カセラレテモ、曩
ニ畏クモ數萬ノ内帑ヲ下シ賜ヒ、其發達ヲ激勵セラレシカ如キ、畏多クモ 聖意ノ存スル處ヲ拜察
シ得ヘク、輿論ノ反響又知ルヘキナリ。

此時ニ方リ、歐洲交戰各國ハ戰機尙酣ニシテ、國民ハ戰爭以外又何等ヲモ願慮スルノ遑ナキニ反シ
東洋ニ於テハ、我精銳ノ向フ所前無ク、戰雲忽チ一過シテ平和ト秩序ハ直チニ回復シ、今ヤ我通商
貿易ノ進展ヲ圖ルヘキ千載一遇ノ好機ニ際會シタルハ、吾人ノ慶賀措ク能ハサル處ナルト共ニ、當
サニ周到ナル注意ト考慮トヲ以テ、如何ニ此好機ヲ活用スヘキカヲ畫策セザルベカラス、況ンヤ一
朝平和ノ曙光ヲ見ルニ至ラバ、列國ノ商戰ハ頗ル激烈ヲ極メ、爲メニ我産業ト貿易ニ及ホスベキ影
響ノ甚大ナルハ明ナル事實ナルニ於テヲヤ、故ニ吾人ハ須ラク此活躍スヘキ機會ニ於テ、舉國一致
益々我國産業ノ改良ト振興ヲ圖リ、豫メ此新氣運ニ乗スルノ覺悟ト準備トヲ爲シ置クノ必要アルヲ
信ス。

仍テ本會ハ來ル大正四年陽春駘蕩ノ候ヲ期シ、天王寺公園ニ於テ第七回日本産業博覽會ヲ開設シ、
普ク本邦生産品ノ現勢ヲ展示シ、我産業ノ獨立ト充實ヲ圖ルト共ニ、貿易ノ發展ヲ促進シ、以テ此
新時代ノ國運ニ資スル所アラントス、是レ寔ニ時宜ニ適シタル緊要且ツ有益ナル施設ナリト云ハザ
ル可ラズ、幸ニ大方ノ諸君、奮テ贊襄ノ意ヲ寄セラレンコトヲ切望ノ至リニ堪ヘス。

第二章 組織

一 規則及規程

第七回日本産業博覽會規則

第一章 總則

第一條 本會ハ我産業ノ獨立ト貿易ノ振興トニ資センカ爲メ普ク本邦生産品ノ現勢ヲ展示シ其發達進歩ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ大正四年四月一日ヨリ同五月三十一日迄六十一日間大阪市天王寺公園内ニ於テ開設ス

第二章 職制

第三條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク

| | | |
|-----|---|---|
| 總裁 | 一 | 名 |
| 副總裁 | 一 | 名 |
| 會長 | 一 | 名 |
| 副會長 | 一 | 名 |

| | |
|-------|-----|
| 名譽贊助員 | 若干名 |
| 贊助員 | 若干名 |
| 理事 | 若干名 |
| 委員 | 若干名 |
| 審査總長 | 一名 |
| 審査部長 | 一名 |
| 審査員 | 若干名 |
| 審査幹事 | 若干名 |

第四條 總裁副總裁及名譽贊助員ハ本會々長之ヲ推戴ス
會長、副會長ハ日本産業協會正、副會長ヲ以テ之ニ充ツ
贊助員、審査總長、審査員、審査部長ハ會長之ヲ推薦ス
其他ノ役員ハ會長之ヲ囑託ス

第五條 會長ハ必要ニ應ジ顧問ヲ推薦スル事ヲ得

第六條 總裁ハ會務ヲ總統ス

會長ハ會務ヲ總理シ副會長ハ會長ヲ補佐ス
名譽贊助員及贊助員ハ重要ナル會務ニ就キ會長ノ諮問ニ應ス
理事ハ會長ノ指示ヲ受ケ會務ヲ掌理ス
委員ハ會長ノ囑託ヲ受ケ會務ニ從事ス
審査總長ハ審査事務ヲ統轄ス
審査部長ハ總長ヲ補佐シ總長事故アルトキ之ヲ代理ス
審査部長審査員ハ各部ノ審査ヲ分擔ス
審査幹事ハ審査總長ノ命ヲ受ケ審査ニ關スル事務ヲ處辨ス

第三章 事務分掌

第七條 本會事務ヲ處辨スル爲メ左ノ一部四課ヲ置ク

- 一 審査部
- 一 庶務課
- 一 會計課
- 一 出品課
- 一 設備課

第八條 各課ニ課長一名、課員若干名ヲ置ク
審査部ハ審査總長一名、審査員一名、審査部長、審査員、審

計課

第九條 各部課ノ事務分掌ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一 出品審査ニ關スル件
- 一 審査報告ニ關スル件
- 一 授賞名簿調製ニ關スル件
- 一 庶務課
- 一 諸規則制定ニ關スル件
- 一 出品勸誘ニ關スル件
- 一 文書ノ往復并ニ保管ニ關スル件
- 一 議事ニ關スル件
- 一 會長以下ノ印章保管ニ關スル件
- 一 人事ニ關スル件
- 一 來賓接待ニ關スル件
- 一 契約ニ關スル件
- 一 賞狀賞牌ニ關スル件
- 一 他課ノ主管ニ屬セサル一切ノ件

- 一 物品ノ購入并ニ保管ニ關スル件
- 一 金銭ノ收支保管ニ關スル件
- 一 收支決算報告ニ關スル件
- 一 入場券發行ニ關スル件

出品課

- 一 出品目錄取扱ニ關スル件
 - 一 出品物ノ荷解陳列ニ關スル件
 - 一 出品物ノ搬入搬出ニ關スル件
 - 一 出品物ノ即賣及賣約ニ關スル件
 - 一 委託出品ノ取扱ニ關スル件
 - 一 出品物ノ看護及看護人ニ關スル件
 - 一 其他出品物ニ關スル件
- 設備課
- 一 會場ノ設備ニ關スル件
 - 一 會場内外ノ裝飾ニ關スル件
 - 一 餘興ニ關スル件
 - 一 喫茶店及飲食店ニ關スル件

第四章 出品及陳列

- 第十條 本會ノ出品ヲ左ノ八部ニ分ツ
- 第一部 美術及美術工藝
 - 第二部 化學工業
 - 第三部 染織工業
 - 第四部 製作工業
 - 第五部 機械
 - 第六部 水産、農産、林産、礦産
 - 第七部 飲食品
 - 第八部 寫眞、印刷物
- 第一部ノ美術品ハ陳列前鑑別ヲ行フモノトス
繪畫ノ出品ニ關スル規則ハ別ニ之ヲ定ム
- 第十一條 左ノ物品ハ陳列スルコトヲ得ズ
- 一 内外國博覽會、共進會等ニ於テ既ニ審査ヲ受タルモノ
 - 一 大正二年以前ノ本邦製産品
 - 一 風教若クハ秩序ヲ紊シ又ハ衛生ニ害アルモノ及他ニ損害ヲ及ボシ又ハ危險アルモノ
- 前項第三號ノ規定ハ廣告及招牌ニモ之ヲ適用ス
- 第十二條 本會ハ會場ノ全体ニ對シ相當ノ保護ヲ爲スト雖モ天

災、火災、盜難及其他ノ事故ニ依ル物品ノ毀損又ハ紛失等一切ノ損害ハ其責ニ任セズ

自己ノ費用ヲ以テ保險ヲ付スルハ出品人ノ隨意トス

第十三條 本會ニ出品セントスルモノハ大正四年三月十日迄ニ甲號様式ノ申込書ニ申込料金貳圓ヲ添ヘ所要ノ陳列間數ヲ申込ムベシ

第十四條 出品人ハ左ノ種別ニ依リ會費ヲ納ムベシ

甲種 金拾貳圓 間口一間 (陳列戸棚付)
但シ半間ハ其半額

乙種 金八圓 同 (陳列臺付)

同 上

丙種 金壹圓 審査品 (容積一尺立方以内)

但會費ハ出品申込ノ際申込金ト共ニ納附スルヲ要ス

申込間數本會ノ豫定ニ超過スルトキハ之レヲ減少スルコトアルヘシ此場合ニ於テハ其部分ニ對スル會費ハ之レヲ返戻スベシ

第十五條 出品物ノ運賃、荷造、陳列及裝飾等ニ要スル費用ハ總テ出品人ノ負擔トス但シ遠隔地ノ出品ニ對シテハ實費ヲ以テ

之カ陳列及裝飾ヲ本會ニ於テ引受クルコトアルヘシ、此場合ニ於ケル委託料金ハ別ニ定ムル處ニ依ル

第十六條 出品物ハ大正四年三月二十五日迄ニ會場ニ搬入シ直チニ陳列ヲ終ルモノトス

第十七條 前條ノ期日迄ニ出品陳列ヲ終リタル出品ニ對シテハ特ニ陳列裝飾ノ意匠ヲ審査シ卓越ナルモノニハ褒賞ヲ與フ、褒賞ノ種別ハ別ニ定ム

第十八條 出品人ハ出品物搬入ト同時ニ出品目錄ニ通テ差出スヘシ、出品物ヲ追加シタル場合ハ直チニ追加目錄書ヲ差出スヘシ

目錄用紙ハ本會之ヲ交附ス

第十九條 出品ニハ必ス出品目錄ニ記載シタル番號、品名、賣價(非賣品ナルトキハ其旨)及出品人ノ住所氏名ヲ詳記シタル票箋ヲ添付スヘシ

票箋用紙ハ本會之ヲ交附ス

第二十條 出品物ノ看護ハ本會ニ於テ之ヲ行フモノトス但シ本會ノ承認ヲ得タルモノハ出品人ノ自費ヲ以テ看護人ヲ附スルコトヲ得

第廿一條 出品人相互間ニ於テ既定陳列場ノ位置ヲ變換シ又ハ他ノ出品者ニ對シ迷惑ヲ及ボスヘキ行爲若クハ裝飾等ヲナスコトヲ得ス

第廿二條 出品人ニシテ本會ノ諸規定ニ違背スル行爲アリト認メタル時ハ直チニ其出品物ヲ撤去セシムヘシ

第廿三條 出品人ハ會期中限リニ陳列場ヲ閉鎖シ又ハ出品物ヲ撤去シ及會場ノ秩序ヲ亂スコトヲ禁ス

第二十四條 出品人出品物ヲ搬出セントスルトキハ本會ニ届ケ出テ搬出證ヲ受クヘシ

第廿五條 出品物ハ閉會後二日以内ニ搬出スヘシ但シ遠隔地ノ出品ニ對シテハ本會之方返送ノ取扱ヲナスコトアルヘシ、此場合ニ於ケル費用ハ出品人ノ負擔トス

審査品ニシテ開封ノタメ返送ニ困難ナルモノ又ハ返送ノ價值ナシト認メタルモノハ特ニ出品者ノ請求アルモノヲ除外シテ附セズ

第五章 機械館

第廿六條 本會ニ機械館ヲ特設シ機械ノ陳列ヲナシ運轉實況ヲ觀覽セシム

モノハ之ヲ省畧スルコトヲ得

- 一 創業年月
- 二 従事員員數

三 機械運轉ニ要スル動力ノ種類及其馬力

四 前年度ニ於ケル製産品價格

五 同年營業稅額

六 従前博覽會共進會等ヨリ受タル褒賞

第廿四條 審査ハ四月十五日ニ始メ五月十日迄ニ終了スルモノトス

第廿五條 褒賞授與式ハ五月二十日ヲ以テ之ヲ行フ

第廿六條 褒賞ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ授與ス

名譽大賞牌 名譽賞金牌

一等賞金牌 二等賞銀牌

三等賞銅牌 四等賞獎狀

陳列意匠ニ對スルモノ

一等賞銀杯 二等賞銀杯 三等賞木杯

第廿七條 同一出品人ニシテ二個以上授賞スヘキモノアルトキハ賞狀及賞牌ハ最優等ノモノニ對シ一個ヲ授與ス但シ別ニ其

第廿七條 前條ノ出品ヲ爲サントスルモノハ大正四年二月末日迄ニ乙號様式ノ出品申込書ニ申込料金貳圓ヲ添ヘ申込ムヘシ

第廿八條 機械館ノ出品陳列ニ要スル會費ハ所要地面積一坪ニ付金八圓トス

第廿九條 機械ノ運轉ニ要スル原動力及帶革ハ本會之ヲ供給ス但シ出品シタル機械ヨリ生スル動力又ハ所有ノ「モートル」帶革ヲ使用スルモノハ此限リニアラス

第六章 審査及褒賞

第卅一條 出品ハ總テ之ヲ審査ス但シ出品人ニ於テ其部類ノ審査着手以前ニ審査ヲ辭退シタルモノハ此限ニアラス

第卅二條 出品ノ審査ヲ爲スカ爲メ現品ヲ毀損シ又ハ消耗スヘキモノハ出品人ニ於テ別ニ同一物品ヲ提供スヘシ

前項ノ物品ニ對スル損害ハ本會之ヲ賠償セズ

第卅三條 出品人ハ大正四年四月一日マテニ左記事項ヲ詳記シタル出品解説書ヲ差出スヘシ但シ審査上特ニ説明ヲ要セザル

料金を納ムルモノハ此限ニアラス

第卅八條 本會ニ對シ特ニ功勞アルモノニハ感謝狀及功勞賞ヲ贈與スルコトアルヘシ

第卅九條 詐偽又ハ錯誤ニ依リ受賞シタルモノアルトキハ本會之ヲ取消スヘシ

第四十條 出品人ハ審査ニ對シ異議ヲ申立テ若クハ再審査ヲ請求シ又ハ授賞ヲ拒ムコトヲ得ス

第七章 出品物販賣

第四十一條 出品ハ之ヲ即賣スルコトヲ得但シ審査品ハ賣約ヲナシ閉會後現品ヲ渡スヘシ

第四十二條 出品ノ代價ヲ變更シ及割引ヲナスコトヲ得ス但シ特別ノ事情アルトキハ本會ノ承認ヲ經ヘシ

第四十三條 出品物ヲ猥リニ陳列箱ノ外部ニ陳列シ又ハ觀覽者ニ對シテ物品ノ購賣ヲ強請スルコトヲ得ス

第四十四條 出品人ハ出品物ノ賣上金高ニ對スル五分ヲ手数料トシテ本會ニ納附スヘシ但シ出品人自ラ看護ヲナスモノニ對シテハ閉會以前ニ其金額ヲ豫定シ之ヲ前納スヘシ

第八章 概覽

第四十五條 觀覽時間ハ毎日午前九時ヨリ午後五時迄トス但シ都合ニ依リ之ヲ伸縮シ又ハ觀覽ヲ停止スルコトアルヘシ

第四十六條 觀覽料ハ一人金拾錢トス但シ六歳以上十二歳未満ノ者ニ對シテハ金五錢トシ六歳未満ハ無料トス

制服ヲ着用シタル軍人及引卒者アル學生其他ノ團體ニ對シテハ特ニ割引ヲ爲スコトアルヘシ、割引規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四十七條 觀覽人心得ハ別ニ之ヲ定ム

第九章 雜 則

第四十八條 出品物ノ看護料ハ左ノ割合ヲ以テ會費ト共ニ納付スヘシ

甲種 一間 金六圓 但シ半間ハ其半額

乙種 一間 金六圓

機械館 一坪 金四圓 但シ半坪ハ其半額

第十四條ニ定ムル丙種ノ出品ハ看護料ヲ要セス

第四十九條 出品人ニ於テ出品申込ヲ取消シ又ハ陳列間數ヲ縮少シ若クハ看護及陳列裝飾ノ委託ヲ取消スコトアルモ既納ノ料金ハ之ヲ返戻セス

第五十條 官廳又ハ官公立學校等ノ出品ニ對シテハ申込金、會

費及看護料等ノ全部若クハ一部ヲ免除スルコトアルヘシ

第五十一條 出品人本規則及本會諸規程ヲ遵守セサル時ハ本會ハ任意ノ處分ヲナシ且之カ爲ニ費用ヲ要シタル時ハ之ヲ追徴スルコトアルヘシ

(甲號書式) 用紙適宜

出品申込書

一出陳間數 何 間

一此會費金 何 圓

一出陳種類 何 々

右貴會ノ規則ヲ遵守シ出品致度申込金貳圓相添此段申込候也

年 月 日

住 所 何 某 印

第七回日本産業博覽會御中

(乙號書式)

機械館出品申込書

一所要地面積 間口何尺奥行何尺

一同 用 途 何々製造用

一所要馬力 何馬力

一一分間回轉數 何回

右貴會ノ規則ヲ遵守シ出品致度申込金貳圓相添此段申込候也

年 月 日

住 所 何 某 印

第七回日本産業博覽會御中

注 意 事 項

- 一出品申込期日 大正四年三月十日限リ
- 一同申込場所 日本産業協會事務所
- 一出品物搬入 三月廿五日迄ニ到着アル様發送セラルヘシ、直接持參ノ物品ハ三月廿日ヨリ三月廿五日迄ニ會場へ搬入セララルヘシ
- 一會場事務所(天王寺公園内)ニ於テ事務取扱ハ三月十五日ヨリ開始ス
- 一出品物ハ總テ會場迄ノ配達賃濟ニテ送附セラルヘシ
- 一他府縣出品物ノ運送ハ大阪梅田驛前内國通運株式會社大阪支店へ特別扱ヲ命シタルニ付各地該支店又ハ取扱店ニ托セラル、ヲ便トス

第一號樣式

出 品 目 錄

| 別 縣 府 | 番 號 | 品 名 | 個 數 | 壹 個 價 金 | 計 備 | 考 | 代 表 者 | | 類 部 | 持 受 | 驗 點 |
|-------|-----|-----|-----|---------|-----|---|-------|-----|-----|-----|-----|
| | | | | | | | 名 氏 | 所 住 | | | |
| 取 替 | 分 金 | 賣 上 | 差 別 | 月 日 支 拂 | | | | | | | |

右之通出品仕候也

月 日

出品人 氏 名 〇

米穀出品規則

- 第一 米穀ヲ出品セントスルモノハ本則ニ依リ左ノ會費ヲ添ヘ申込ムヘシ
- 甲種 間口五尺マテ 一口ニ付金八圓 (但シ俵裝米ハ三俵ヲ以テ一口トス)
- 乙種 同 四尺マテ 一口ニ付金六圓 (同)
- 丙種 同 三尺マテ 一口ニ付金四圓 (同)
- 米穀取引所又ハ仲買人若クハ組合等ヨリ出品スル参考品及少量ナル審査品ハ一口金參圓トス
- 第二 俵裝米ヲ會場ヘ搬入セントスルトキハ大阪天王寺驛前内國通運株式會社取扱店丸東運送店揚リニテ第七回日本産業博覽會行トシ三月二十日迄ニ該取扱店ニ到着ノ日取テ以テ發送セラルヘシ

ニ幾分カ概目ヲ減スルノ恐アリ發送ノ際概目ニ十分注意セラ

ルヘシ

第五

審査品又ハ參考品トシテ出品スル米穀ハ袋(布)入トセラ

ルヘシ本會ニ於テハ更ニ之ヲ適當ナル一定ノ容器ニ入レ替ヘ

陳列スヘシ

前項ノ少量出品ハ之ヲ出品人ニ還附セス

但シ特ニ返戻方ヲ申出テラル、場合ハ此限ニアラス

第六 出品人ニ於テ特ニ希望アルモノ、外即賣又ハ賣約ヲ爲サ

ス閉會後會場若クハ大阪倉庫ニ於テ競争入札ニ付シ其代金、

五分ノ手数料ヲ引去リ出品人ニ交付スヘシ

第七 解説書ハ本會規則ニ明記セル外尙左ノ事項ヲ記入スルヤ

要ス

一產 地

一米ノ種類

一肥料ノ種類及一反歩ニ用フル肥料ノ概量

公衆ノ参考上特ニ耕作ニ關スル説明又ハ圖解等ヲ俵米ニ掲示

スルハ出品人ノ隨意トス

第八 本則ニ依ル出品ニハ申込金ヲ要セス

第九 本則ニ規定ナキ事項ハ本會規則ニ準シ取扱フ

出品申込書

一出陳間數 (此處ニ甲、乙、丙ノ

種別ヲ記入スヘシ)

此會費金

一出陳種別 (米種ノ早、中、晚ノ

名稱ヲ記入スヘシ)

一出陳數量 (俵裝米何俵又ハ審査

品ノ別ヲ記入スヘシ)

右費會ノ規則ヲ遵守シ出品致度會費相添ヘ此段申込候也

大正四年 月 日

住 所 何 某 印

第七回日本産業博覽會御中

委託出品ニ關スル規則

- 第一 大阪府ヲ除ク他ノ地方出品者ノ爲メ特ニ出品委託部ヲ設ケ出品課ニ於テ之ヲ取扱フ
- 第二 委託出品ノ裝飾陳列看護ハ本會ニ於テ引受クルモノトス
- 第三 委託出品物ノ出品者ハ申込ノ際之レニ要スル全部ノ費用ヲ納付セラルヘシ

第四 委託料金ハ會費、申込料、看護料、陳列、裝飾料等ヲ合セ左

ノ通り相定ム

間口六尺以内 壹圓 金貳拾四圓 (聯合人員拾貳名限リ)

間口三尺以内 壹圓 金拾貳圓 (同六名限リ)

間口三尺以内 半圓 金拾貳圓 (同六名限リ)

少量出品(審査品)ハ容積一尺立方以内ニ限リ一人金參圓

第五 委託出品ニハ一定ノ裝飾ヲ施スト雖モ自己ニ於テ特種ノ

裝飾ヲ望マル、場合ハ其費用ハ自辨トス

第六 團體又ハ聯合ノ出品ハ代表者ヲ定メ本會ニ届出テラルヘ

シ

第七 委託出品物ハ閉會後本會ニ於テ整理ヲナシ本規則第廿五

條ノ場合ヲ除ク外返送ノ取扱ヲナスヘシ

但出品物ノ運賃ハ往返共出品人ノ負擔トス

第八 出品物ハ内國通運株式會社ニ特別扱ヒテ命シタルニ付大

阪天王寺驛前同社取扱店丸東運送店揚リニテ第七回日本産業

博覽會行トシテ發送セラルヘシ

第九 本規則ニ規定ナキ事項ハ總テ本會規則ノ條項ニ準シ取扱

委托出品申込書

一出陳間數

此會費金

一出陳種類

右貴會ノ規則ヲ遵守シ出品致度會費相添此段申込候也

大正四年 月 日

住 所

何 某

第七回日本産業博覽會御中

日本産業博覽會繪畫部出品規程

本會ニ繪畫部ヲ設ケ左記規定ニ依リ出品ヲ取扱フ

第壹條 繪畫部出品ハ申込料塲所料等ヲ要セス

第貳條 出品ハ日本畫、西洋畫ノ二種トシ本會美術館ニ陳列ス

第參條 出品ハ鑑査ヲ經タルモノニ限リ之ヲ陳列ス

但シ本會ヨリ特ニ推薦シタルモノハ鑑査外トス

第四條 出品物ノ荷作及運送費ハ總テ出品人ノ負擔トス

但シ團體ノ出品者ニハ特ニ補助金ヲ支給ス

第五條 出品物ハ自己ノ製作シタルモノニ限ル

第六條 出品物ハ一點ニ付幅四間ヲ超ユルコトヲ得ス出品ノ丈

ケ高キニ過キ陳列ニ不便ナリト認メタル者ハ其表裝ヲ適宜ニ

變更セシムルコトアルヘシ

第七條 會場ノ都合ニ依リ出品ノ全部ヲ同時ニ陳列スルコト能

ハスト認メタルトキハ一定ノ日數毎ニ取替陳列スルコトアル

ヘシ

第八條 出品ヲ爲サントスル者ハ甲號書式ノ申込書乙號書式ノ

解説書ヲ三月廿日限リ本會事務所ニ差出スヘシ

但シ作品ニハ一點毎ニ命題及出品人名ヲ記シタル紙片ヲ添

附スヘシ

第九條 出品物ハ三月廿五日限リ會場ニ到着セシムルヲ要ス

第十條 事務所ニ於テ出品物ヲ受理シタルトキハ直ニ受領證ヲ

交附スヘシ

第十壹條 出品ハ其性質若ハ狀態ニ依リ額面若ハ軸物ト爲シ又

ハ梓、椽ヲ附スル等出品人ニ於テ適當ノ裝飾設備ヲ爲スヘシ

第十貳條 鑑査ノ上陳列セスト定メタル作品ハ本會ノ通知ニ依

リ出品人ニ於テ運滯ナク之ヲ搬出スヘシ遠隔ノ出品人ニ對シ

テハ檢メ申込タルモノニ限リ本會ニ於テ返送ノ手續ヲ爲ス

但シ返送方法ハ梓張ノ物ニ限リ絹ト梓ヲ分離シテ容積ヲ減

縮セシムルコトアルヘシ

第十參條 本會ニ於テ定メタル陳列品ノ位置配列等ニ對シ出品

人ハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第十肆條 本會ノ許可ヲ得ルニアラサレハ出品物ノ撮影者ハ模

寫ヲ爲スコトヲ得ス

第十伍條 出品鑑査員ハ本會ヨリ之ヲ囑託ス

第十陸條 出品ハ鑑査ノ外審査ヲ行ハス

第十柒條 出品人ハ其出品ノ鑑査ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ

得ス

第十捌條 鑑査規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十玖條 鑑査ニ合格シタル出品物ニハ記念狀ヲ授與ス

第十拾條 陳列品ノ賣約ハ本會ニ於テ之ヲ取扱フ

第十拾壹條 出品人ニ於テ陳列品ノ代價ヲ變更セントスルトキ

ハ事務所ニ届出テ其許可ヲ受ケヘシ

第十拾貳條 賣却シタル陳列品ハ其價格ノ壹割ヲ手数料トシテ

本會ニ納附スヘシ

第十拾參條 賣却品ノ代價ハ閉會後貳週間以内ニ交附スルモノ

トス

第十肆條 陳列品ハ閉會中ニ之ヲ搬出スルコトヲ得ス

第十伍條 本則ニ規定ナキ事項ハ博覽會本則ニ準ジ取扱フ

甲號書式

出品申込書

私儀貴會ノ諸規程ヲ遵守シ別紙目錄ノ通り出品致度此段申

込候也

大正四年 月 日

住 所

氏 名

第七回日本産業博覽會々々長橋本善右衛門殿

乙號書式

解説書 (備考非賣品ハ代價ノ欄ニ非賣品ト

記スヘシ)

| | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|
| 部 名 | 番 號 | 命 題 | 代 價 | 出 品 人 | 住 所 | 氏 名 |
| | | | | | | |

命題ノ説明 (傳記考證其他命題ノ由来ヲ記スヘシ)

履 歷 (流派師傳其他修業ノ履歷ヲ記スヘシ)

構内敷地使用規則

第一條 出品物陳列以外ノ目的ヲ以テ會場内ニ於テ敷地ヲ使用セントスルモノハ所要坪數及使用ノ目的並ニ従業人員ヲ明記シタル願書ニ建設物ノ仕様書及圖面ヲ添付シ大正四年三月十三日迄ニ願出ツヘシ

第二條 敷地使用ノ許可ヲ受ケタル時ハ一坪ニ付金貳圓ヲ保証金トシテ納付シ別ニ一定ノ使用料ヲ納付スヘシ
使用料ハ別ニ之レヲ定ム

第三條 敷地使用ノ許可ヲ受ケタルモノハ商品ノ如何ニ拘ラス一坪ニ付金參拾錢ノ水道料ヲ納付スヘシ

第四條 敷地使用者ハ使用ノ許可ヲ受ケタル後直チニ左ノ様式ノ承諾書ヲ差出スヘシ

(様式)

承諾書

一、敷地使用坪數 坪
此使用料 圓

一、目的

右敷地使用許可相成候ニ付テハ構内敷地使用規則承諾ノ上誠

實ニ業務ニ従事可致萬一使用者又ハ従業人ニ於テ右規則ニ違背シ其他或ハ不都合ノ行為有之爲如何ナル御命令相受ケ候トモ聊カ苦情申聞敷直チニ服從可致仍テ承諾書差入申候也

大正四年 月 日

住所 姓名

住所 姓名

保証人 姓名

第七回日本産業博覽會御中

第五條 従業員ニ對シテハ門鑑ヲ交付ス

但シ門鑑料ハ一人金五拾錢トシ許可ノ指令ヲ受ケタル時直チニ納付スヘシ

第六條 建設物ハ開會三日前ニ竣工セシメ閉會後五日以内ニ撤去シ土地ハ總テ原形ニ復スヘシ

第七條 建設物ノ變更及屋外ノ裝飾及廣告ノ揭示ハ總テ本會ノ許可ヲ受クヘシ

第八條 建設物ノ内外ハ清潔ニ掃除シ汚水塵埃ノ排除ヲ怠ル可

カラス

第九條 營業時間ハ本會々期中毎日開場時刻ヨリ閉場後一時間以内トシ其時間内ハ自由ニ休業シ又ハ廢業スルコトヲ得ス

第十條 販賣品ハ總テ一定ノ正札ヲ附シ又ハ店頭見易キ場所ニ定價表ヲ揭示スヘシ
但シ本會ニ於テ價格不相當ト認ムルキハ其改定ヲ命スルコトアルヘシ

第十一條 飲食品ヲ販賣スルモノハ衛生上必要ナル設備ヲ爲スハ勿論變味若クハ腐敗ニ傾キタル物品ヲ販賣スルコトヲ得ス
本會ハ前掲ノ事實ヲ認メタルトキハ直チニ其商品ノ取除キヲ命スヘシ

第十二條 敷地使用者及従業人ハ監守ヲ爲スノ外場内ニ宿泊スルヲ得ス

第十三條 許可ヲ得タル敷地ノ使用權ハ本會ノ許可ヲ得スシテ第三者ニ賣買又ハ讓渡スルコトヲ得ス

第十四條 敷地使用者及従業人ニシテ本則又ハ本會ノ命令ニ違背シタル時ハ其許可ヲ取消シ若クハ其事業ヲ停止シ又ハ建設物ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ

但シ此場合ニ於テハ既納金ノ返還又ハ一切ノ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

審査規則

第一章 總則

第一條 本會ニ審査部ヲ置キ左ノ諸員ヲ以テ組織ス

- 審査部長 壹名
- 審査員 五名
- 審査員 若干名
- 審査員 若干名

第二條 審査部長ハ審査ニ關スル一切ノ事務ヲ總理シ審査長ハ總長ヲ補佐シ總長事故アル時其事務ヲ代理ス

第三條 審査部長ハ其部ニ屬スル審査事務ヲ整理ス

第四條 審査員ハ本則ノ規定スル處ニ據リ出品ノ審査ニ従事ス
第五條 審査幹事ハ審査總長審査員ノ命ヲ受ケ審査ニ關スル事務ヲ處辨ス

第二章 審査

第六條 一人ニシテ多數出品アルトキハ總括シテ審査スルコト

ヲ得

第七條 出品者ノ族籍姓名ハ審査原簿ニ捺ルヘシ

第八條 審査員ハ自己ノ出品ハ素ヨリ出品物ノ採取産出製作意匠考案等ニ參與セルモノハ審査スルヲ得ス

第九條 審査ハ出品ニ就キ品質意匠製作産額(見込)價格販路等ヲ審査スルモノトス

第十條 審査員ハ審査ノ成績ヲ審査部長ニ提出シ審査部長ハ之ヲ審査長ニ提出スルモノトス

第十一條 審査部長ハ審査員ヲシテ再審査ヲサシムルコトアルヘシ此場合ニハ審査員ヲ増加スルコトヲ得

第十二條 各出品ノ審査ハ二名以上ノ附點ヲ要ス但シ場合ニヨリ一名ニテ附點スルモ差支ナシ

審査員各自意見相一致スル時ハ一附點紙ニ連署スルモ差支ナシ

第十三條 擬賞ハ左ノ得點數ヲ以テ標準トス

名譽大賞牌 九十六點ヨリ百點マテ

名譽賞金牌 九十一點ヨリ九十五點迄

一等賞金牌 八十一點ヨリ九十點マテ

二等賞銀牌 七十一點ヨリ八十點マテ

三等賞銅牌 六十一點ヨリ七十點マテ

四等賞褒狀 五十點ヨリ六十點マテ

第十四條 審査ニ關スル事項ハ決シテ他ニ漏洩スヘカラス

第十五條 審査員病氣其他事故ニヨリ缺席スル時ハ其旨審査幹事ニ届出シヘシ但シ缺席者ハ其審査ニ對シ異議ヲ唱フルコトヲ得ス

第十六條 第八條第十五條ノ場合ニ於テ審査員ニ缺席アル時ハ必要ニヨリ審査長ハ之ヲ補充スルモノトス

第十七條 總テ審査済ノ物品ニハ審査済ノ票紙ヲ貼附スヘシ

第十八條 審査員ニシテ自己ノ出品ノ審査ヲ辭退スルモノハ審査着手以前ニ審査部長ヘ其旨届出ツヘシ

第十九條 審査長ハ擬賞人名錄ヲ調製シ會長ノ決裁ヲ受ケ總裁ニ具申スヘシ

看護人服務規程

第一條 看護人ハ當該係ノ指揮監督ヲ受ケ看護ノ事務ニ従事ス

第二條 看護人ハ本會制定ノ徽章ヲ左胸部ニ佩用スヘシ

第三條 看護人ノ服裝ハ男子ニ在リテハ洋服又ハ羽織、女子ニ

在リテハ袴ヲ着用スヘシ

第四條 看護人ヲ分ツテ甲乙二種トス甲種トハ本會直屬看護人ヲ云ヒ乙種トハ出品人ヨリ派遣ノモノヲ云フ

第五條 看護人ハ毎日開場時間三十分前ニ出勤シ出勤簿ニ捺印シ人名票ノ表面ヲ掲出シタル後受持場所ニ着クヘシ

但乙種看護人ハ人名票ニ關スル手續ヲ要セス

第六條 受持ノ鍵ハ入館ノ後當該係ヨリ受取り出品物ノ整理ヲ爲シ異狀アリト認ムル時ハ直ニ之ヲ係員ニ報告スヘシ

第七條 服務中ハ靜肅端正ヲ旨トシ又觀覽人ニ對シ親切丁寧ニナシ決シテ傲慢ノ風アル可カラサルハ勿論觀覽人ノ質問アル時ハ懇切ニ説明ヲ爲スヘシ

第八條 服務中左ノ各項ヲ嚴禁ス

一、書籍新聞雜誌等ヲ讀ムコト

二、編物又ハ裁縫ヲ爲スコト

三、猥リニ受持ノ場所ヲ離ルコト

四、喫煙ヲ爲スコト

第九條 閉場ノ信號アリタル時ハ各受持場所ヲ整理シ鎖鑰アルモノハ嚴重ニ點檢シ賣上金ノ計算納入ノ手續ヲ爲シ各受持區

域ノ掃除ヲ爲スヘシ

第十條 第二ノ信號ニ依リテ鍵ヲ係員ニ引渡シ入金票ト共ニ入金ノ手續ヲナシ人名票ノ裏面ヲ掲出シテ退場スヘシ

第十一條 欠勤セントスルトキハ前日中ニ其旨ヲ届出ツヘシ

看護人心得

一、看護人ハ出品ヲ看護シ及其販賣ヲ掌ルモノトス

二、看護人ハ德義禮讓ヲ重ゾズベシ

三、毎日出勤ノ際ハ必ス本會所定ノ徽章ヲ付スヘシ

四、看護人ハ開館中寸時モ其受持區域ヲ離ルヘカラス若シ止ムヲ得サル場合ハ必ス隣席者又ハ事務員ニ其代務ヲ乞フヘシ

五、觀覽人群集ノ際ハ特ニ盜難破損等ノコトナキ極注意スヘシ

六、觀覽人ニ對シテハ最も親切ニ取扱フヘシ

七、直引懸賞又ハ強賣ガマシキ所爲アルヘカラス

八、看護中ハ卑猥ノ言行又ハ雜談ヲ爲スハ勿論新聞雜誌等ヲ讀ミ若ハ睡眠其他不体裁ノ行爲アルヘカラス

九、自己受持ノ保管品ハ閉會後悉皆事務所ニ引渡スヘキモノナルニ因リ常に注意ヲ怠ルヘカラス

十、受持區域ハ日々掃除ヲ爲シ常に不潔ノ箇所ナキ様心掛クル

- ハ勿論不要品等ヲ決シテ散亂セシムヘカラス
- 十一、自己ノ保管スル手帳及副目録ハ閉館後必ス事務所ニ差出置キ翌朝出勤ノ際之ヲ受取り自宅等ニ持帰ルコトヲ許サス
- 十二、目録ハ他人ニ之ヲ示スコトヲ許サス
- 十三、自己ノ希望ニヨリ撰リニ其受持區域ヲ變更スルコトヲ得ス
- 十四、館内通路又ハ受持區ニ於テ遺失物等ヲ發見シタル時ハ直チニ事務所ニ届出ツヘシ
- 十五、賣上金ハ毎日交付ノ手帳ニ記載シ閉館後現金ト共ニ係員ニ引渡スヘシ
- 十六、觀覽人館内ニ於テ喫煙スルモノアルヲ發見シタル時ハ禁制ノ旨注意スヘシ
- 十七、出品ハ係員ニ於テ點檢スルコトアルヘキニヨリ常ニ整理シ置クコトヲ要ス
- 十八、出品物盜難又ハ他ノ變災ニ罹リタル時ハ直チニ事務所ニ届出ツヘシ
- 十九、自己ノ怠慢不注意ニヨリ出品物ヲ紛失又ハ破損シタルトキハ辨償ノ責任アルモノトス

- 二十、事故欠勤ノ場合ハ必ス相當ノ代理人ヲ差出シ事務所ノ許可ヲ受クヘシ
- 二十一、陳列品ハ常ニ不体裁トナリ居ラサル様心掛ケ時々塵拂ヲ施スヘシ
- 二十二、本則ニ違背シタルモノハ其情狀ニ因リ減給其他相當ノ處分ヲ爲スヘシ
- 二十三、勤功アリト認ムルモノニ對シテハ相當ノ賞與ヲ爲スヘシ

出品物販賣手續

- 第一條 出品物ノ販賣ハ本手續ニ依リ取扱フヘシ
- 第二條 看護人ハ出品物ヲ即賣シ顧客ヨリ代金ヲ受取りタルトキハ其物品ニ付着セル乙號付札ヲ切取り之ニ自己ノ檢印ヲ押シ物品ト共ニ之ヲ顧客ニ渡スヘシ
- 右檢印濟ノ付札ハ物品搬出ノ證ニ代用スルモノナルニ付出門ノ際之ヲ門衛ニ渡サル、樓顧客ニ對シ特ニ注意シ置クヘシ
- 第三條 出品物ヲ即賣シタルトキハ看護人ハ甲號付札ニ依リ出品人名番號品名數量賣價ヲ手帖ニ記入シ金額ト共ニ之ヲ保管スヘシ

- 第四條 看護人ハ閉場時限ニ達シタルトキハ當日ノ賣上金額ヲ計算シ甲號付札ニ金額ヲ添ヘ受持ノ事務員ニ交付シ手帖ニ檢印ヲ受クヘシ
- 第五條 事務員ハ閉場時限ニ達シタルトキハ受持看護人ヨリ甲號付札ト金額トヲ受取り符合シタルトキハ看護人手帖ノ合計金額ノ個所ニ檢印ヲ爲スヘシ
- 第六條 事務員ハ前條ノ手續ヲ了リタル後當日ノ賣上金額ヲ看護人毎ニ區別シテ計算シ直ニ收入傳票ヲ作り會計課長ノ檢印ヲ得テ金員ト共ニ會計課ニ納入スヘシ
- 第七條 出品物ヲ賣約セントスルトキハ看護人ハ出品物ニ付着セル甲號付札ヲ切離シ之ニ檢印ヲ押シテ顧客ニ渡シ顧客ヨリ之ニ證據金ヲ添ヘ擔當事務員ニ拂込ノ手續ヲ爲サシムヘシ
- 第八條 前條ノ證據金ハ賣約品代價ノ十分ノ三以上トス但價格參照以下ノモノハ其金額ヲ拂込マシムヘシ
- 第九條 事務員ハ顧客ヨリ差出シタル前條ノ甲號付札及證據金ヲ受取りタルトキハ賣約證書ヲ作り之ヲ顧客ニ交付スヘシ
- 第十條 事務員ハ前條ノ手續ヲ了リタルトキハ甲號付札ノ裏面ニ月日及證據金額ヲ記載シテ直ニ之ヲ看護人ニ返付スヘシ

- 第十一條 看護人ハ前條ニ依リ事務員ヨリ甲號付札ヲ返付ヲ受ケタルトキハ出品物ニ賣約濟ノ赤札ヲ貼付シ賣約手帖ニ出品人氏名、番號、品名、數量、證據金等ヲ記入シ閉場時限ニ達シタルトキ第四條ノ手續ヲナスヘシ
- 第十二條 事務員ハ閉場時限ニ達シタルトキハ當日ノ賣約證據金額ヲ賣約證書元帳ニ依リ計算シ第五條及第六條ノ手續ヲナスヘシ
- 第十三條 事務員ハ毎日午前中ニ其前日ノ賣上金額ヲ出品人毎ニ計算シ賣上報告書ヲ作成シテ之ヲ會計課ニ提出スヘシ
- 第十四條 事務員ハ毎日其前日ニ賣却シタル出品物ヲ甲號付札ニ依リテ出品目録ニ記入ヲ爲スヘシ
- 第十五條 事務員ハ前條ノ記入ヲ終リタルトキハ其付札ヲ所定ノ袋ニ納メ之ヲ會計課ニ引渡スヘシ

守衛勤務規程

- 第一條 守衛ハ係員ノ指揮監督ヲ承ケ其職務ニ従事ス
- 第二條 守衛ハ左ノ事務ニ従事ス
 - 一各門ノ閉閉及監守ノ件
 - 一本館出入口閉閉ノ件

一、觀覽券ノ收銀及回收ノ件

一、搬出入物取締ノ件

一、看護人ノ態度注意ノ件

一、場内一般取締ニ關スル件

第三條 守衛ハ開場三十分前ニ出勤シ出勤簿ニ捺印スヘシ

第四條 守衛ハ必ス其所定ノ制服制帽ヲ着用スヘシ

第五條 守衛ハ觀覽人本會役員其他出入ノ際切符假章門鑿等總

テ所定ノ標章ニ依リ檢認スルモノトス

第六條 守衛ハ觀覽人心得ニ違背スルモノト認ムル時ハ懇ロニ

入場ヲ拒ムヘシ

第七條 警察ニ關スル事故ニ付テハ警察官ト協商處辨シ守衛長

ニ報告スルヲ要ス

但事重大ナル時ハ處辨前守衛長ノ指揮ヲ受ケヘシ

第八條 各館ノ開閉ハ其時間ニ當該係ノ許可ヲ得振鈴ヲ以テ報

シ係員立會ノ上鐘端ヲ施シ又ハ取外スヘシ

第九條 閉場ニ際シテハ受取タル觀覽券ヲ在館ノ儘當該係ニ引

繼ケヘシ

第十條 警備ニ關スル事故ハ詳細ニ記録シ守衛長ニ差出スモノ

トス

第十一條 守衛ハ毎日勤務トシ内若干名ヲ以テ徹夜勤務ニ從事

セシム

但徹夜勤務ノ其翌日ハ非番トス

第十二條 病氣ノ爲メ缺勤スル場合ハ出勤時間前ニ其旨届出ツ

ヘシ

但此場合ニハ非番守衛ヲ漸次繰上ケ代勤セシムルコトアル

ヘシ

守衛勤務心得

一、守衛ハ當該係ノ指揮ヲ遵奉シ守衛長ノ監督ヲ受ケ誠實ニ職

務ニ従事スヘシ

二、公衆ニ對シテハ叮嚀懇切ヲ旨トシ決シテ嘲笑又ハ横柄ノ言

語ヲ爲シ惡感ヲ起サシムルカ如キ言動ヲ爲スヘカラス

三、當ニ品行正シクスルハ勿論職務上關係ヲ有スルモノヨリ

金品ノ贈與ヲ受ケ又ハ貸借等ヲナスコトヲ嚴禁ス

四、職務上機密ニ係ルコトハ決シテ他ニ漏洩スヘカラス

五、勤務中諸般ニ注意シ異常ノ出來事ヲ見聞セシ時ハ直チニ適

宜ノ處置ヲ爲スト共ニ守衛長ニ報告スヘシ

六、勤務中ハ常ニ左ノ各項ヲ服膺スヘシ

イ、姿勢ヲ正シクシ舉止ヲ嚴肅ニスヘシ

ロ、他人又ハ同僚ニ對シ職務以外ニ猥リニ言語ヲ交ヘ又ハ

喫煙スヘカラス

ハ、故ナク配置ノ場所ヲ變更シ若ハ巡回ヲ怠ルヘカラス

ニ、場内ニ於テ拾得物ノ届出ヲ受ケタル時ハ其品名箇數等

ヲ拾得者ノ面前ニ於テ取調ヘ直チニ之ヲ守衛長ニ差出ス

ヘシ

ホ、勤務中ハ勿論休憩中ト雖モ私用ヲ辨シ又ハ濫リニ商店

等ニ立入り若ハ常食以外ニ飲食ヲナスヘカラス

ヘ、觀覽人觀覽券ヲ紛失シ其他之ヲ所持セサルトキハ再ヒ

買受ケシメ入缺ノ上之ヲ受取ルヘシ

七、警備ニ關シテハ特ニ左記各項ニ注意スヘシ

イ、館内ニ於テ喫煙スルモノアラサルヤ

ロ、入場口ニ非ラサル場所ヨリ入場スルモノアラサルヤ

ハ、陳列品ニ接觸シ又ハ之ヲ汚損シ若ハ奪取スルモノアラ

サルヤ

ニ、場内ノ諸設備ニ損傷ヲ加ヘ又ハ加ヘントスルモノアラ

サルヤ

ホ、内外掃除撤水及便所等ノ掃除ハ行届ケルヤ

ヘ、迷子病傷者等救護ヲ要スルモノアラサルヤ

ト、不案内ノ爲メ狼狽セルモノアラサルヤ

チ、觀覽ノ妨害ヲ爲シ又ハ他人ニ惡感ヲ起サシムル言動ヲ

爲スモノアラサルヤ

リ、其他本會ノ利益ヲ害シ又ハ觀覽者ニ迷惑ヲ及ボス行爲

又ハ事態アラサルヤ

八、夜間警備ニ對シテハ諸般ノ事項ニ注意スル外特ニ左記各項

ニ注意スヘシ

イ、異常ノ煙氣焦臭又ハ異常ノ音響アラサルヤ

ロ、門戸ノ錠方銷鑰若ハ窓壁欄杆等ニ異常ナキヤ

ハ、屋上及物陰ニ怪シキ影ヲ認メサルヤ

九、指定ノ勤務時間ヲ終リ非番ニ相當スル者ト雖モ交替者ニ引

繼テ爲シタル後ニアラサレハ尙勤務ヲ終ラサルモノトス

十、病氣ノ爲メ缺勤スル場合ハ出勤時間迄ニ其旨届出ツヘシ

一般觀覽人心得

一、觀覽時間ハ午前九時ヨリ午後五時迄トス

其他本會ハ勸業館中庭ノ利用ニ付考慮ヲ費シタル末霧島花壇ヲ設ケ入場者ノ隨意觀覽ニ供セリ花ハ四月中旬ニ至リ早クモ滿開ヲ告グ滿庭恰モ紅白ノ錦ヲ敷ケルガ如ク園内ニハ無料休憩所ノ設ケアリテ觀覽ニ疲レタル身ヲ憩フニ足リ大に觀覽者ノ好評ヲ博セリ
會場使用ニ付テハ大正四年二月十六日付ヲ以テ正式ニ願書ヲ提出シタルニ同月二十三日付ヲ以テ左ノ如ク聽許ノ指令ニ接シタリ

大阪市指令土第三五八號

第七回日本産業博覽會會長 橋本善右衛門

大正四年二月十六日付美術館及勸業館使用願出ノ件聞届ク但シ左ノ通心得ヘシ

大正四年二月二十三日

大阪市長 池上四郎

- 一、使用許可期間ハ大正四年三月十五日ヨリ同年六月十四日迄トス
- 二、使用料ハ金貳千貳拾五圓トス
- 三、保證金ハ金五百圓トシ來ル三月十日迄ニ納付スヘシ
- 四、本指令受領後三日以内ニ此ノ全文ヲ掲ケタル請書ヲ差出スヘシ

又會場内敷地使用ニ對シテハ大正四年三月十三日付ヲ以テ出願ノ處同月十八日左ノ通り聽許ノ指令ニ接シタリ

大阪市指令土第六七六號

第七回日本産業博覽會會長 橋本善右衛門

大正四年三月十三日付機械館建築敷地トシテ天王寺公園地面積九拾六坪使用願出之件聞届ク但シ左ノ通心得ヘシ

大正四年三月十八日

大阪市長 池上四郎

- 一、使用許可期間ハ大正四年三月十九日ヨリ同年六月十日迄トス
 - 二、使用料ハ壹坪ニ付金六拾錢ノ割トス
 - 三、前各項ノ外明治三十四年本市規則第一號公園管理規則ノ條項ヲ遵守スヘシ
 - 四、本指令受領後三日以内ニ此全文ヲ掲ケタル請書ヲ差出スヘシ
- 以上

公會堂使用ニ付テハ隨時出願ノ上許可ヲ受クルヲ要シ會期中ヲ通シテ使用スルコトヲ得サルハ餘興

ノ開催等特別ノ設備ヲ要スル場合ニアリテハ稍便宜ヲ缺クノ憾ナキニアラサルモ市ノ公會堂トシテ其ノ性質上全ク之ヲ博覽會ノ使用ニノミ供スルコトヲ得サルノ事情アリ又已ムヲ得サル次第ナリトス而シテ隨時使用ノ出願ニ對シテハ左ノ如キ指令ニ接セリ

大阪市指令土第九〇二號 (指令ノ一例)

第七回日本産業博覽會會長 橋 本 善 右 衛 門

大正四年三月廿五日付願來四月一日公會堂使用願出ノ件聞届ク但シ使用料金拾圓ヲ直ニ納付スヘシ

大正四年三月三十日

大阪市長 池 上 四 郎

二 廣 告

本會開設ノ趣旨ヲ汎ク公衆ニ知ラシメ多數ノ觀覽者ヲ誘致スルコトハ博覽會ノ効果ヲシテ最モ多カラシムヘキ最善ノ手段ニシテ之レガ周知ノ方法ニ付テハ當局者ノ特ニ考慮ヲ費シタル處ナリトス而シテ其ノ施設ノ梗概ヲ舉クレハ

一、市内各日刊新聞紙ニ對シ當局ノ記者ヲ通シテ時々本會ノ施設其他ノ記事掲載ヲ依頼シ又數次

有料ノ廣告ヲ掲載シタリ

二、意匠ヲ凝シタルペンキ塗揭示建札ヲ調製シ左記ノ箇所ニ建設セリ

東 區

上本町二丁目電車交叉點

谷町三丁目電車交叉點

玉造電車終點

西 區

信濃橋電車交叉點

四ッ橋北詰

川口波止場

南 區

西濱電車停留所

戎橋南詰

千日前

天滿橋南詰

谷町六丁目電車交叉點

北濱二丁目

千代崎橋西詰

九條二番道路

汐見橋高野電車前

日本橋北詰

心齋橋南詰

長堀橋北詰

天王寺西門前

上本町六丁目

惠美須町

湊町驛前

北區

大江橋南詰

渡邊橋南詰

南森町

上福島中二丁目

市外

阪堺電車住吉停留場前

南海線堺驛前

阪神電車三ノ宮終點

同楠公社前

逢阪門

日本橋一丁目電車交叉點

難波驛前

天王寺驛前

船津橋南詰

天滿天神社前

長柄電車終點前

梅田驛前

同宿院停留場前

院線三ノ宮驛前

神戸メリケン波止場

大阪軌道奈良停留場前

關西線奈良停車場前

高野電車高野口停留所前

同王子停車場前

同橋本停留所前

三、本會ノ内容ヲ最モ簡明ニ記載シタル廣告ヲ調製シ大阪市電氣鐵道部并ニ高野登山鐵道株式會社ノ承認ヲ得テ會期中各其電車内ニ揭示セリ

四、意匠ヲ凝シタル吊下ケ廣告壹萬餘ヲ印刷シ鐵道院各會社及個人ノ承認ヲ得テ左記ノ箇所ニ配布掲揚セリ

一、鐵道院線路中樞要ナル各驛待合室

一、阪神、京阪、南海、箕面、大軌、高野等各電鐵沿線停留所

一、市内ノ旅館、湯屋及理髮店等ヲ初メ全市到ル所ノ軒先等

一、東京、京都、神戸方面ノ市中各要所

五、本會ノ内容ヲ簡易ニ記述シタル石版摺廣告數十萬枚ヲ調製シ之ヲ新聞紙ニ挿入配布シ又ハ交通頻繁ナル街路ニ於テ公衆ニ配付シタリ

六、爛熳タル櫻花ト本會名トヲ記入シタル軒吊提灯千數百個ヲ調製シ會場附近并ニ日本橋筋等ノ各商店軒先ニ掲揚シタリ

三 運賃割引

本會ハ出品人及出品貨物ニ對シ船車運賃ノ特別割引ヲ受ケンカ爲メ出品地ニ關係ヲ有スル各鐵道及汽船會社ニ對シ交渉ヲ遂ケタル結果左記ノ如ク承認協定ヲ見ルニ至リタルヲ以テ直チニ割引証票及出品荷物証票ヲ作成シ出品人及各關係者ニ配付セリ

- 一、日本郵船株式會社 二 割引
- 一、大阪商船株式會社 同
- 一、攝陽商船株式會社 同
- 一、尼崎汽船株式會社 同
- 一、上野鐵道株式會社 同
- 一、吉野鐵道株式會社 三 割引
- 一、養老鐵道株式會社 同
- 一、初瀬鐵道株式會社 同
- 一、河南鐵道株式會社 同

四 出品勸誘

同

本會ノ開設ニ當リテハ各地方官公衙及各實業團體ニ於テ多大ノ援助ヲ與ヘラレ殊ニ出品ノ勸誘ニ付キ種々斡旋盡力セラレタルハ本會ノ感謝ニ堪ヘサル處ニシテ本會出品ノ成績カ一地方ニ偏セスシテ汎ク全國ニ亘リ且ツ各官廳公衙諸學校等ニ於テ有益ニシテ貴重ナル多クノ参考品ヲ出陳セラレタルハ頗ル光榮トスル處ナリ

出品勸誘ニ付テハ如上各地方官公衙及各種團體ノ盡力ヲ請フト共ニ全國各地ノ當業者ニ對シ勸誘書ヲ發シ一面ニハ大正四年二月十五日大阪府立博物館ニ府下各組合代表者及本會委員等ノ出席ヲ求メ出品勸誘ニ關スル協議會ヲ開ケリ出席者百餘名ニシテ大阪府應ヨリハ片岡技師、市役所ヨリハ服部書記出席セラレ本會々々長以下各役員列席協議スル處アリ又繪畫ノ出品ニ對シテハ特ニ京都ニ於テ本會ノ爲ニ第七回日本產業博覽會繪畫部出品協會ヲ組織セラレ熱心盡力セラレタルト京阪諸畫伯ノ斡旋トニ待ツ處頗ル多ク本會繪畫部ノ稀ニ見ルノ好成绩ヲ得タルハ特ニ同協會及諸畫伯ニ對シ感謝ヲ表スル處ナリ

第四章 出品

一 普通出品

本會出品ノ總人員ハ千五百八十七人ニシテ之レヲ前回ニ比スルニ五百人ノ増加ヲ示セリ固ヨリ規模ノ擴大セラレタルニ由ルト雖モ漸次成績ノ進歩セルモノアルハ我産業ノ爲メ慶賀ニ堪ヘス今普通出品人ノ府縣別及種類別統計ヲ示セハ左ノ如シ

普通出品物府縣別統計

| 府縣名 | 出品人員 | 出品點數 | 審査點數 |
|-----|------|--------|-------|
| 靜岡 | 一四 | 七八 | 四二 |
| 愛知 | 二四 | 二五五 | 七二 |
| 神奈川 | 九 | 三〇 | 三〇 |
| 茨城 | 二 | 六 | 六 |
| 埼玉 | 一一 | 五五 | 三三 |
| 東京 | 五七 | 一、一四〇 | 二八五 |
| 大阪 | 九八七 | 二〇、二八六 | 三、三九四 |
| 府縣名 | 出品人員 | 出品點數 | 審査點數 |
| 滋賀 | | | 三〇 |
| 岐阜 | | | 一〇 |
| 三重 | | | 二七五 |
| 山梨 | | | 四五 |
| 長野 | | | 四三 |
| 福井 | | | 二七 |
| 石川 | | | 二七 |
| 富山 | | | 三六 |
| 岐阜 | | | 三六 |
| 愛知 | | | 一一 |
| 神奈川 | | | 三六 |
| 茨城 | | | 一一 |
| 埼玉 | | | 六 |
| 東京 | | | 二五 |
| 大阪 | | | 四三 |
| 府縣名 | 出品人員 | 出品點數 | 審査點數 |
| 滋賀 | | | 三〇 |
| 岐阜 | | | 一〇 |
| 三重 | | | 二七五 |
| 山梨 | | | 四五 |
| 長野 | | | 四三 |
| 福井 | | | 二七 |
| 石川 | | | 二七 |
| 富山 | | | 三六 |
| 岐阜 | | | 三六 |
| 愛知 | | | 一一 |
| 神奈川 | | | 三六 |
| 茨城 | | | 一一 |
| 埼玉 | | | 六 |
| 東京 | | | 二五 |
| 大阪 | | | 四三 |
| 府縣名 | 出品人員 | 出品點數 | 審査點數 |
| 滋賀 | | | 三〇 |
| 岐阜 | | | 一〇 |
| 三重 | | | 二七五 |
| 山梨 | | | 四五 |
| 長野 | | | 四三 |
| 福井 | | | 二七 |
| 石川 | | | 二七 |
| 富山 | | | 三六 |
| 岐阜 | | | 三六 |
| 愛知 | | | 一一 |
| 神奈川 | | | 三六 |
| 茨城 | | | 一一 |
| 埼玉 | | | 六 |
| 東京 | | | 二五 |
| 大阪 | | | 四三 |

| | | | | | |
|-----|----|-----|-----|--------|-------|
| 秋田 | 四 | 一六 | 一六 | 一七 | 一四 |
| 福島 | 五 | 一五 | 一五 | 一 | 一四 |
| 青森 | 八 | 二四 | 二二 | 二五 | 二五 |
| 兵庫 | 五五 | 二二四 | 一一〇 | 八四 | 五六 |
| 岡山 | 三六 | 三八 | 三八 | 三六 | 五六 |
| 廣島 | 二四 | 七二 | 四六 | 一五 | 三六 |
| 宮城 | 四 | 六 | 六 | 一一 | 一五 |
| 山口 | 一一 | 二二 | 二二 | 一一 | 一一 |
| 京都 | 三七 | 四六〇 | 一一七 | 九四 | 三八 |
| 和歌山 | 五 | 一六 | 一五 | 一一 | 五 |
| 奈良 | 一九 | 九五 | 五七 | 一一 | 五 |
| 福井 | 三 | 六 | 六 | 六 | 六 |
| 富山 | 一〇 | 二〇 | 二〇 | 六 | 一一 |
| 石川 | 三 | 四四 | 二〇 | 二五 | 一七 |
| 新潟 | 二七 | 一二三 | 一一 | 八八 | 一〇 |
| 鳥取 | 一八 | 二九 | 二五 | 一一 | 三 |
| 島根 | 六 | 九 | 九 | 五 | 三 |
| 北海道 | 五 | 八 | 八 | 一、五八七 | 四、九八二 |
| 合計 | | | | 二四、二八五 | |
| 計 | | | | 三七 | |

普通出品物種類別統計

| 種類 | 出品人員 | 出品點數 | 審査點數 | 天然木、屏風、瓢其他美術品 | 紙及紙製品 | 菓子、砂糖 | 窯業 | 化學製品、藥品 | 化粧品 | 林産副産物 | 蒲、鉢 | 籬、詰 | 米 | 茶 | 麵類 | 海草類 | 魚類製品 | 果實、雜穀 | 粉 | | |
|-------------|------|-------|------|---------------|-------|-------|-----|---------|-----|-------|-----|-----|----|----|----|-----|------|-------|----|-----|-----|
| 履物 | 六一 | 一、八一六 | 一八〇 | 二一 | 四二 | 六三〇 | 一五二 | 三五 | 二八 | 一一 | 二九 | 一三 | 一三 | 一六 | 四一 | 一四 | 一八 | 二〇 | 三二 | 三七九 | 八四 |
| 帽子 | 一〇 | 七五〇 | 三〇 | 一五二 | 四二 | 七五八 | 一五二 | 三五 | 二八 | 一一 | 二九 | 一三 | 一三 | 一六 | 四一 | 一四 | 一八 | 二〇 | 三二 | 六三〇 | 一二六 |
| 洋傘、洋杖 | 二〇 | 一、〇七五 | 六〇 | 一五二 | 四二 | 七五八 | 一五二 | 三五 | 二八 | 一一 | 二九 | 一三 | 一三 | 一六 | 四一 | 一四 | 一八 | 二〇 | 三二 | 六〇八 | 六〇八 |
| 提灯、雨傘 | 一〇 | 四〇〇 | 三五 | 一五二 | 四二 | 七五八 | 一五二 | 三五 | 二八 | 一一 | 二九 | 一三 | 一三 | 一六 | 四一 | 一四 | 一八 | 二〇 | 三二 | 二六五 | 二六五 |
| 足袋 | 九 | 五四 | 一八 | 一五二 | 四二 | 七五八 | 一五二 | 三五 | 二八 | 一一 | 二九 | 一三 | 一三 | 一六 | 四一 | 一四 | 一八 | 二〇 | 三二 | 一〇五 | 一〇五 |
| 扇 | 六 | 六〇 | 一八 | 一五二 | 四二 | 七五八 | 一五二 | 三五 | 二八 | 一一 | 二九 | 一三 | 一三 | 一六 | 四一 | 一四 | 一八 | 二〇 | 三二 | 三六四 | 三六四 |
| 組紐 | 九 | 五四〇 | 四五 | 一五二 | 四二 | 七五八 | 一五二 | 三五 | 二八 | 一一 | 二九 | 一三 | 一三 | 一六 | 四一 | 一四 | 一八 | 二〇 | 三二 | 六四 | 六四 |
| 桶箱、風呂等 | 七 | 九三 | 二一 | 一五二 | 四二 | 七五八 | 一五二 | 三五 | 二八 | 一一 | 二九 | 一三 | 一三 | 一六 | 四一 | 一四 | 一八 | 二〇 | 三二 | 八七 | 八七 |
| 木材、竹材 | 二二 | 四二〇 | 四八 | 一五二 | 四二 | 七五八 | 一五二 | 三五 | 二八 | 一一 | 二九 | 一三 | 一三 | 一六 | 四一 | 一四 | 一八 | 二〇 | 三二 | 六四 | 六四 |
| 藤、細工、花、蓮、簾 | 二二 | 四八〇 | 三五 | 一五二 | 四二 | 七五八 | 一五二 | 三五 | 二八 | 一一 | 二九 | 一三 | 一三 | 一六 | 四一 | 一四 | 一八 | 二〇 | 三二 | 八二 | 八二 |
| 佛壇 | 二二 | 六三 | 三六 | 一五二 | 四二 | 七五八 | 一五二 | 三五 | 二八 | 一一 | 二九 | 一三 | 一三 | 一六 | 四一 | 一四 | 一八 | 二〇 | 三二 | 三三 | 三三 |
| 小間物、装身具、頭飾品 | 三六 | 二、五五三 | 一八〇 | 一五二 | 四二 | 七五八 | 一五二 | 三五 | 二八 | 一一 | 二九 | 一三 | 一三 | 一六 | 四一 | 一四 | 一八 | 二〇 | 三二 | 三〇 | 三〇 |
| かつら、かもし | 一三 | 一七二 | 三九 | 一五二 | 四二 | 七五八 | 一五二 | 三五 | 二八 | 一一 | 二九 | 一三 | 一三 | 一六 | 四一 | 一四 | 一八 | 二〇 | 三二 | 七〇 | 七〇 |
| 指物 | 四一 | 一、三五三 | 一六四 | 一五二 | 四二 | 七五八 | 一五二 | 三五 | 二八 | 一一 | 二九 | 一三 | 一三 | 一六 | 四一 | 一四 | 一八 | 二〇 | 三二 | 五四 | 五四 |
| 漆器 | 一二 | 七二七 | 三六 | 一五二 | 四二 | 七五八 | 一五二 | 三五 | 二八 | 一一 | 二九 | 一三 | 一三 | 一六 | 四一 | 一四 | 一八 | 二〇 | 三二 | 六〇 | 六〇 |
| 皮革及其製品 | 一三 | 二六〇 | 三九 | 一五二 | 四二 | 七五八 | 一五二 | 三五 | 二八 | 一一 | 二九 | 一三 | 一三 | 一六 | 四一 | 一四 | 一八 | 二〇 | 三二 | 九二 | 九二 |

| 種類 | 出品人員 | 出品點數 | 審査點數 | 毛布、子ル | 糸 | 綿 | 雜織物 | 洗濯仕上 | 文房具 | 醫藥機械 | 電氣及瓦斯器具 | 玩具 | 銅器、金屬器具、鉦、水晶 | 金庫、衡器 | 利器 | ポンプ、瓦斯機關 | 精米機 | 製繩機 | 樂器 | 器具機械 | 合計 | |
|-------------|-------|--------|------|-------|----|----|-----|------|-----|------|---------|----|--------------|-------|----|----------|-----|-----|----|------|----|----|
| 其他食料品 | 一五 | 四五 | 四五 | 八 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| 繭及蠶種 | 三 | 六 | 六 | 八 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| メリヤス、タオル | 一二 | 二二〇 | 三六 | 八 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| 礦産物 | 七 | 二二五 | 二〇 | 八 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| ゴム製品 | 七 | 一七三 | 三五 | 八 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| 酢 | 六 | 八 | 六 | 八 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| 味噌 | 一一 | 三三 | 三三 | 八 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| 油 | 一七三 | 五一九 | 三四六 | 八 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| 酒 | 五九 | 一七七 | 一一八 | 八 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| 混成酒 | 一〇 | 五〇 | 二〇 | 八 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| 洋服、トンビ、セル袴等 | 七 | 五九五 | 五一 | 八 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| 蚊帳 | 九 | 六五 | 一八 | 八 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| 絹織物 | 二三 | 三四五 | 六九 | 八 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| 麻織物 | 三四 | 四〇八 | 一〇二 | 八 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| 段通 | 四 | 二四 | 一一 | 八 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| モスリン | 二一 | 二一〇 | 四二 | 八 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| 綿織物 | 四二 | 二五二 | 四二 | 八 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| 染料 | 二一 | 四五〇 | 六三 | 八 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| 合計 | 一、五八七 | 二四、二八五 | 三、九 | 八 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |

二 特種參考品

各官廳、公衙、學校、會社及各地考古家其他ヨリ本會ノ施設ニ賛同シテ其所藏ニ係ル有益ナル參考品若クハ貴重ナル大典資料參考品等ヲ出陳シ本會ノ施設ニ一段ノ光彩ヲ加ヘラレタルハ本會ノ感謝措ク能ハザル處ナリ而シテ是等特殊出品ノ人員及點數類別及府縣別統計并ニ主ナル出陳品目左ノ如シ

特殊出品人員點數類別表

| 品名 | 人員 | 點數 | 御大典資料參考品 |
|------------|----|-----|----------|
| 一、特殊參考品 | 二七 | 四九六 | 同 |
| 一、御大典資料參考品 | 三一 | 一一〇 | 同 |
| 計 | 五八 | 六〇六 | |

| 府縣別表 | | 合計 | |
|------|----|-----|----------|
| 府縣 | 人員 | 點數 | 御大典資料參考品 |
| 大阪府 | 一八 | 二二二 | 二七 |
| 東京府 | 六 | 二三六 | 三 |
| 京都府 | 二 | 二二 | 一 |
| 滋賀縣 | 一 | 二六 | 一 |
| 合計 | 二六 | 五八 | 三二 |

主ナル出陳品目左ノ如シ

遞信省遞信博物館

- 一、隱岐國造傳來驛鈴模造品 香取秀真作
- 一、寛永御讓位ノ時ノ圖關使木契模造
- 一、室町時代女房晴立文
- 一、徳川時代お次文箱
- 一、新式貨物船模型

滋賀縣

- 一、琵琶湖模型
- 一、琵琶湖産重要魚介類標本
鮎、鱒、鮒、小鮎、水魚(小鮎ノ稚魚)
鱈、鯉、鱈、鮒、黃鯛魚、蜆
- 一、琵琶湖放流標識鱒成長成績標本
- 一、同 鯉成長成績標本
- 一、同 鰻成長成績標本

西部遞信局海事部

- 一、同公魚成長成績標本
- 一、米國種河鱒、虹鱒飼育成績標本
- 一、琵琶湖漁業一覽
- 一、羅針盤付帆船模型
- 一、無線電信模型
- 一、汽船用機關模型
- 一、ボート用石油機關

農商務省商品陳列館

- 一、外國製造品廣告見本
英、佛、露、伊、米、獨、埃、各國殖民地、

東京市役所

- 一、東京概観
- 一、東京市政概要
- 一、第十一回東京市統計年表

- 一、第十三回東京市學事年表
- 一、東京市統計圖表

大阪府立農學校

- 一、產牛ノ摸型
- 一、石兒(牛、豚)
- 一、牛畸形胎兒
- 一、牛胎兒發育標本
- 一、蠶兒標本數十種
- 一、桑葉標本

千住製絨所

- 一、フェルト見本

大阪測候所

- 一、日本全國ノ氣象圖
- 一、天氣豫報 天氣圖、天氣信號摸型等

四二

- 一、暴風雨警報 暴風雨圖、洪水圖、信號圖等
- 一、氣象觀測器機 晴雨計、寒暖計、溫度計等
附高層氣流觀測ノ梗概圖

一、地震

世界地震帶圖 日本火山脈圖
遠近地震ノ器械記錄 地震器ノ寫眞
火山噴出物 世界ノ標準時ノ說明

氣象觀測器、天氣豫報、暴風警報

內譯

最高、最低寒暖計、空盒晴雨計
乾球、濕球寒暖計、風力計自記器
雨器計自記器、天氣圖、天氣豫報及各說明

府立大阪博物館

- 一、帆船模型
- 一、臺灣ウツロ船 大、小
- 一、別子銅山模型 附圖

西部逓信局工務部

- 一、共電式電話機 二號形
- 一、磁石式電話機 一機ハ全形 一機ハ分解
- 一、シーメン繼電機
- 一、龜甲形檢電器
- 一、音響器
- 一、無線電話機
- 一、單流電鍵
- 一、氣送管摸型
- 一、マンホール摸型
- 一、鐵筋混凝土四孔管
- 一、局内ケーブル標本板
- 一、ラバー線標本板
- 一、大阪中央電信局寫眞

一、大阪中央電話局寫眞

- 一、大阪中央電話局東分局寫眞
- 一、西部逓信局區内電話局及加入者數統計表
- 一、大阪市内及隣接町村電話加入者分布圖
- 一、電話加入者保安器
- 一、莫爾斯機
- 一、海底電纜
- 一、水底電纜
- 一、電話用鉛被紙ケーブル見本
- 一、水底電信線見本
- 一、小形乾電池
- 一、テッカー電信電話機
- 文部省教育博物館
- 國產獎勵品學校用文房具類見本

四三

農商務省水産講習所

- 一、伊太利國製 貝彫刻品
- 一、同 千歲貝婦人彫刻置物
- 一、同 子安貝ベスピヤス彫刻文鎮
- 一、水産講習所製 貝彫刻製作材料 十五個入 説明付
- 一、同 千歲貝牧童彫刻置物
- 一、同 子安貝富士彫刻文鎮
- 一、同 蜘蛛貝インキスタンド
- 一、同 屑珊瑚彫刻材料 八個入
- 一、同 白珊瑚婦人彫刻ブローチ (屑珊瑚用)
- 一、同 桃珊瑚エンゼル彫刻 ブローチ(屑珊瑚用)
- 一、同 桃珊瑚靈芝彫刻ペン掛 (屑珊瑚用)
- 一、同 桃色珊瑚三猿彫刻置物

四四

- 一、伊太利國製 桃色珊瑚花持兒童彫刻大ブローチ 兒童 彫刻耳飾二個付
 - 一、同 桃色珊瑚薔薇彫刻首飾 薔薇三個金鎖付
 - 一、水産講習所製 水産皮革
 - 一、同 河豚革製女手提
 - 一、同 鰻革製札入
 - 一、同 ウツボ革製卷蓑入
 - 一、同 バカ鳥革製蓑入
 - 一、同 鮭革製葉形蓑入
 - 一、同 時計油 (海豚脂油製)
- 大阪商船株式會社
- 一、汽船ハルビン丸 模型
- 大阪市道仁尋常小學校
- 一、加茂葵祭行列人形

大阪 住友總本店

- 一、伊豫國四阪島製鍊所模型

大阪市役所

- 一、大阪市人口靜態
 - 大正二年末聯合負擔區現住人口粗密
 - 附聯合負擔區別現住人口

- 一、大阪市及接續郡部工業發達力

自明治三十六年至大正元年
附大阪市重要工産物每五年比較

- 一、大阪市人口動態

氣温ト死亡、死亡者ノ年齢及死因、婚姻及離婚、出生及死亡

- 一、大阪市營鐵道及水道

車輛數及一日平均運轉車輛數、營業線路延長隔年比較、乘客及貨金隔年比較
配水量隔年比較、一日平均使用量、水道施設前ト施設後ノ死亡數

- 一、大阪市内外貿易

各港對外貿易消長、大阪入港船舶、大阪港對外貿易
内外貨物集散狀態

- 一、大阪市教育

每四年目比較、(學齡兒童、學童兒童、小學校教員及生徒、諸學校生徒)

- 一、大阪市及接續町村現住人口增加數比較

每三年人口增減率

京都 島津製作所

- 一、無線電信 發信機

- 一、同 受信機

- 一、蓄電池裝置

- 一、電車模型

大阪市立工業學校

- 一、洋家具 生徒製作品各種

四五

一、化學工業品各種

市立大阪衛生試驗所

一、河底泥 固形

一、下水道底泥 固形

大阪 星田茂幹氏

一、各種博覽會徽章

大阪 沼田米三郎氏

同 木村越後氏

一、御前角力ノ軍配

一、三條殿書柄鳳書軍配

大阪 膳たみ子氏

一、幼稚園兒童紙細工雜祭

御大典資料參考品中主ナル出陳品目左ノ如シ

一、御即位庭上幢鉦調度圖

一、高橋宗直大嘗會神饌寸法

一、大嘗會田歌

一、孝明天皇御即位調度圖

一、仁孝天皇御即位參役公卿名簿

一、櫻町天皇御即位進獻ノ品書

一、櫻町天皇御即位御役定書

一、御即位ノ記

一、御即位大嘗會 假字記

一、櫻町天皇御即位御次第

以上 大阪府立圖書館

一、御即位調度繪卷

一、護花筆御即位ノ圖

一、後櫻町天皇御即位御冠服等圖式

一、御立纒

以上 府立大阪博物場

一、花 隱 書

一、和 歌 主基ノ夜ニ讀メル
正三位千種有功

以上 大阪 彈 舜 平氏

一、駕輿丁裝束 細纒ノ冠、稱襦

內 譯

水干、肩掛、脚袴、冠

一、黒塗手拭掛

以上 大阪 福 井 米 吉氏

一、禁裏御所圖及御障子圖

一、賢聖障子名臣冠服考證

一、禁裏御殿御障子書畫大略

以上 兵庫 原 龍太郎氏

一、内侍所御柱立ノ圖

一、桐竹鳳凰縫平緒

一、石 帶

一、魚 袋

一、玉 帶

一、三ッ雁金縫平絹

以上 京都 岸本正之助氏

一、明治天皇大嘗祭告諭 高島千畝書

大阪 名田利兵衛氏

一、束帶圖式

一、裝束圖式

以上 大阪 白江 敬 正氏

一、主基御屏風和歌

京都 山田 忠 三氏

一、大嘗祭御撫物

於天王寺公園



第七回
日本産業博覽會

主辦 日本産業協會

會期 自四月一日
至五月世日

告 廣 吊

一、御箸

以上 大阪 松岸寬一氏

一、朝儀歌繪合儀式ノ圖

一、土佐光孚書旭ニ櫻ノ圖

一、探原齋法眼筆櫻ニ瀧ノ圖、楓ニ瀧ノ圖

以上 大阪 小寺篤兵衛氏

一、明治初年大嘗會圖

一、孝明天皇加茂八幡御行幸圖

以上 大阪 內田幸祐氏

一、大嘗祭龍鷹御幡

京都 西 嘉一氏

一、御行幸圖繪

一、孝明天皇男山御幸ノ圖

一、加茂下上御幸圖

四八

以上 大阪 杉山久次郎氏

一、孝明天皇大原御幸ノ圖

大阪 松田豐之助氏

一、一條忠香卿筆

孝明天皇御即位式列書

大阪 田村彌三郎氏

一、千種有功卿贊大嘗會圖額面

一、岩下方平大嘗會歌

一、主上御禮服圖

一、御裝束圖

一、紀宗直筆雲上衣文圖彙

一、御即位式扇面

一、殿上圖

一、庭上圖

日一月四自 日一月五至

園公寺王天於

覽博業產本日




(一其) 告廣內車電

於重華原

御即位天大模型

國產の特産品

各種製産品

五月三十日

天 王 寺 公 園

覽博會

朝九時至六時

館中及大花壇

露島の花満開

公會堂

面白種多

(二其) 告廣內車電

一、大嘗會便蒙

一、土佐清文奏國栖笛ノ圖

一、神食古歌

一、内侍所御神樂

一、大嘗會拔書

以上 大阪 中野 康 章氏

一、女官ノ冠

一、葵祭ノ御盃

一、宮中ノ草履

一、文久御幸ノ圖

以上 大阪 石田 可 村氏

一、玉冠ノ額

一、弘化御幸圖

大阪 村田 種 太郎氏

一、文久男山御幸釣額

一、天明加茂御幸掛額

以上 大阪 小山 卯之助氏

一、緋ノ袴

一、袴下帶

以上 大阪 大西 壽 俊氏

一、御式圖扇子

一、宮中用湯桶

以上 大阪 圓 山 壽 胤氏

一、孝明天皇御足袋

大阪 大西 壽 範氏

一、宮中中行事御屏風

一、國保書檜扇子

一、白地檜扇子

以上 大阪 竹葉利三郎氏

一、光格天皇御茵

一、照憲皇太后御浴衣

一、千種有功卿大嘗祭和歌

一、中山愛親卿蓬萊山書

一、松竹梅蒔繪大稜箱

以上 大阪 滋岡從長氏

一、冠

一、笏

一、黑袍(夏)

一、單(赤)

一、下襲(赤)

一、指貫(紫藤丸)

一、石帶

一、表袴

一、飾太刀(義弘)

一、靴

一、狩衣(紫地遠文帶付)

一、紫袴

一、赤袍(夏)

一、下襲(縹無紋)

一、指貫(水色藤丸)

以上 大阪 寺井種臣氏

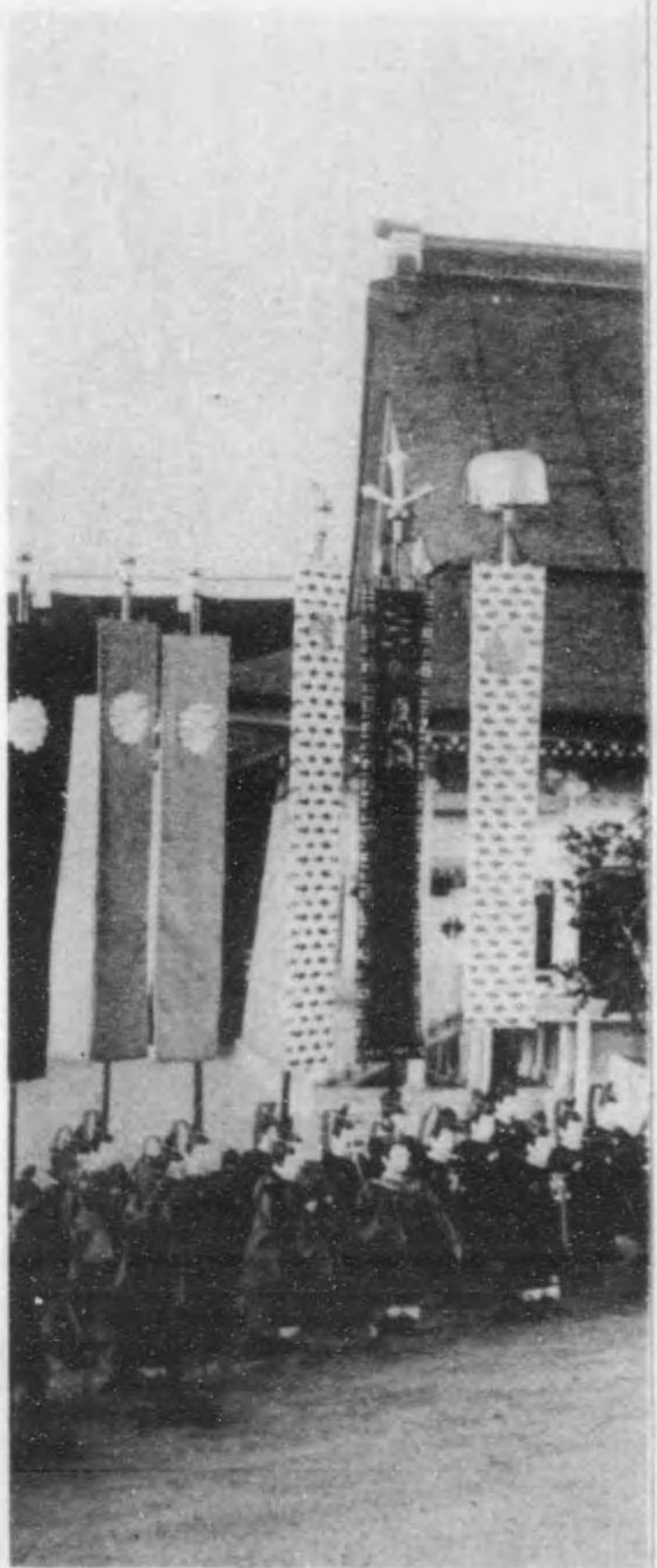
一、大嘗會御規式之圖

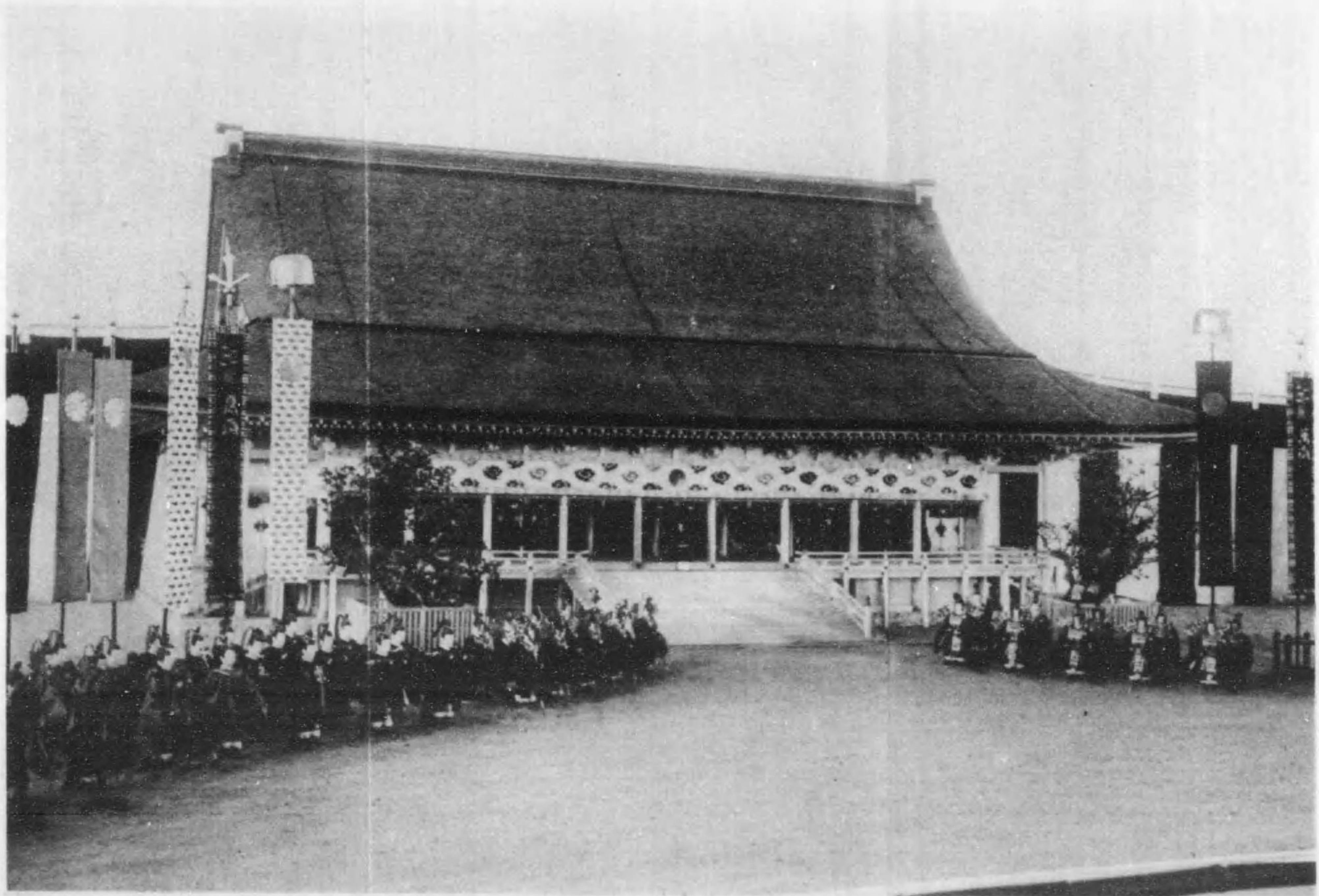
大阪 生田南水氏

一、國栖舞下圖

一、天ノ岩戸神樂人形

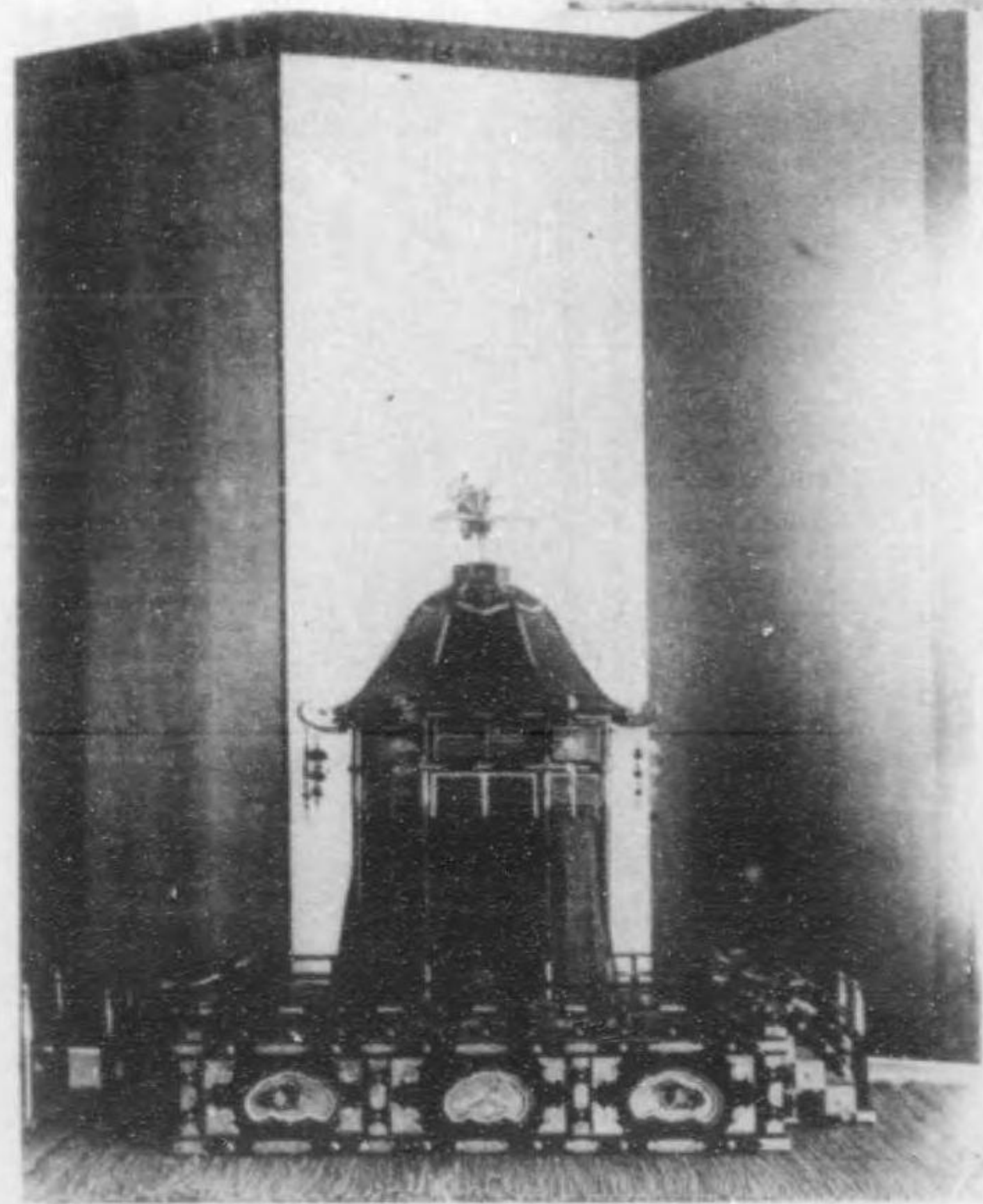
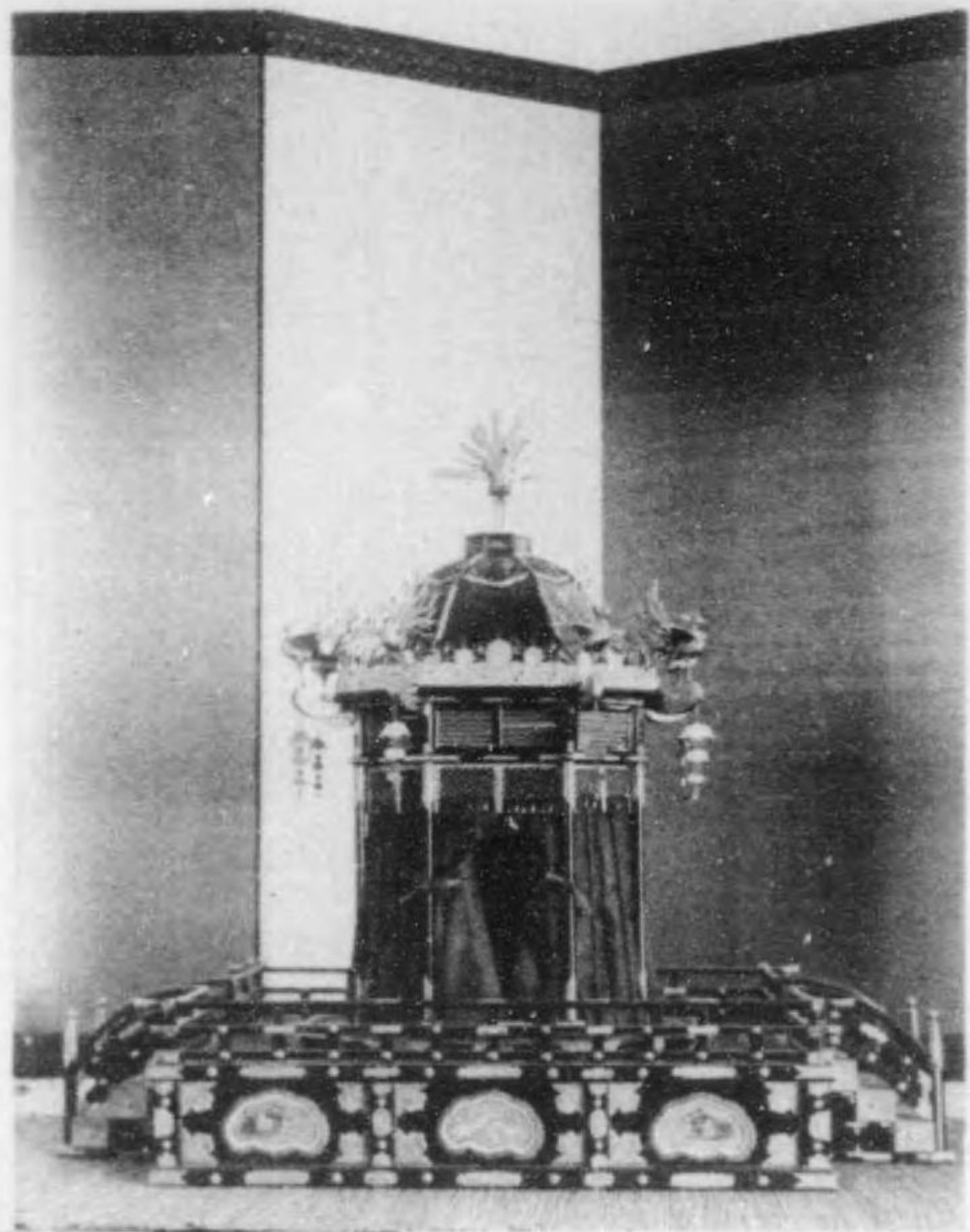
以上 大阪 魚谷吉次郎氏

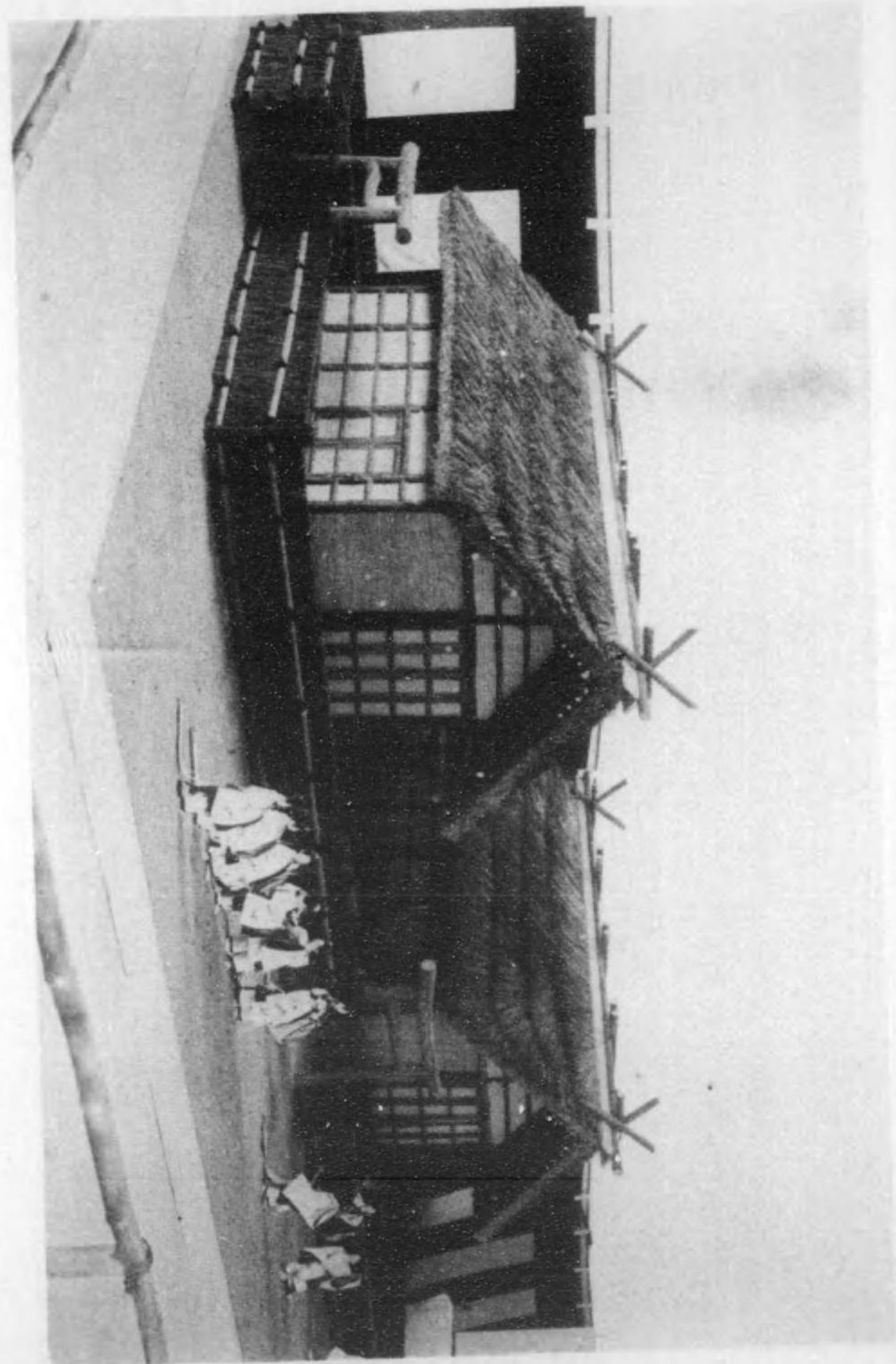




- 一、冠
- 一、笏
- 一、黒袍(夏)
- 一、單(赤)
- 一、下襲(赤)
- 一、指貫(紫藤丸)
- 一、石帶

- 一、指貫(水色藤丸)
- 以上 大阪寺井種臣氏
- 一、大嘗會御規式之圖
- 大阪生田南水氏
- 一、國栖舞下圖
- 一、天ノ岩戸神樂人形
- 以上 大阪魚谷吉次郎氏





[Faint, illegible text or markings on the right page]

一、御即位式ニ結バセラル、高貴ノ御頭髪飾

大阪 佐藤爲次郎氏

三 御大典記念特別室

恭シク惟ルニ今秋ヲ以テ行ハセラルヘキ即位ノ大典ハ實ニ國家最高ノ儀禮ニシテ民庶ノ齊シク慶賀シ奉ルヘキ所ノモノタリ

本會ハ此曠古ノ盛儀ヲ記念シ奉ランカ爲メ特ニ御大典記念室ヲ設ケ有職古實家ノ考證立案ニ基キ經驗アル製作家ニ依リテ謹製セル御即位式紫宸殿并ニ高御座御帳臺ヲ始メ悠紀殿主基殿ノ大摸型ヲ陳列シ室内ハ繞ラスニ鯨幕ヲ以テシ特ニ本會制定ノ服裝ヲ着ケタル守衛ヲ附シ室ノ一方ニハ壁間高ク大典行幸ノ御時ニ於ケル鹵簿ノ一部ヲ謹寫シタル繪卷物ヲ掲ケル等其設備極メテ森嚴莊重ナルヲ期シ國民ヲシテ御大典ノ意義ヲ窺ヒ知ル事ヲ得セシムルト共ニ光輝アル典禮ヲ長ヘニ記念セントス而シテ之レガ説明ハ努メテ簡明平易ニ記載シ之ヲ壁間ニ掲グテ觀覽者ノ參考ニ供セリ

四 記念教育參考品

本陳列館ニハ府下各學校ヨリ記念出品トシテ生徒及兒童ノ製作ニ係ル圖書、切紙貼繪、手工品等數

百點ノ出陳アリ其種目ハ尋常一二年級ハ『好キナ玩具』同三四年級ハ『軍事ニ關スルモノ』同五年級ハ『動植物』同六年級ハ『好キナ歴史人物』高等一二年級及高等女學校ハ『有職應用圖案』等ニシテ其他市内南區青池小學校ノ職員兒童共同製作ニ係ル『高御座』南大江小學校ノ『天ノ岩戸』『古代ノ産業』『坏好個ノ教育參考品』ト云フヘク南區道仁小學校所藏ノ加茂葵祭行列人形ハ目ノアタリ其實況ヲ見ルガ如ク大ニ觀者ノ賞讃ヲ博シタルハ本會ノ欣喜ニ堪ヘサル處ナリ出品ノ學校名及各出陳點數左ノ如シ

| 校名 | 出陳點數 | 校名 | 出陳點數 |
|---------------|------|--------------|------|
| 北河内郡河北高等女學校 | 五 | 同 難波第五尋常小學校 | 二四 |
| 北區第一川崎尋常高等小學校 | 二五 | 東區南大江尋常小學校 | 五 |
| 南區高津尋常小學校 | 一〇 | 南區天王寺第一尋常小學校 | 二〇 |
| 同 桃園第一尋常小學校 | 七 | 同 難波第六尋常小學校 | 一四 |
| 東區北大江尋常小學校 | 三九 | 北區下福島尋常小學校 | 一〇 |
| 南區日本橋尋常小學校 | 八 | 同 堀川尋常小學校 | 六 |
| 東區集英尋常小學校 | 一三 | 南區大寶尋常小學校 | 八 |
| 南區榮尋常小學校 | 一三 | 同 芦池尋常小學校 | 一 |

| | | | |
|-------------|----|------------|----|
| 西區泉尾第二尋常小學校 | 一一 | 同 東平野尋常小學校 | 五 |
| 南區桃園第二尋常小學校 | 六 | 西區築港尋常小學校 | 一〇 |
| 東區中大江尋常小學校 | 一六 | 東區第一高等小學校 | 一〇 |
| 西區明治尋常小學校 | 一六 | 南區道仁尋常小學校 | 九 |
| 南區精華尋常小學校 | 一二 | 東區汎愛尋常小學校 | 一六 |

五 繪 畫

繪畫ハ之レヲ日本畫ト西洋畫トニ別チ外ニ參考品トシテ彫塑(七點)ノ出陳アリ繪畫ノ出品ニ付テハ斯道諸大家ノ熱心ナル贊助ト第七回日本産業博覽會繪畫部出品協會ノ多大ナル盡力トニ依リ意外ノ好成绩ヲ收メ其出品ノ申込數總テ四百卅八點ニ上レリ而シテ本會ハ之レニ對シ先ツ嚴格ナル鑑査ヲ行ヒ其最モ秀優ナルモノ日本畫百四十一點(此出品人員百二十二人)西洋畫百十六點(此出品人員七十六人)ヲ得タリ其之レヲ陳列スルニ方リテハ出品繪畫中大作頗ル多ク到底豫定ノ陳列區域内ニ陳列スルヲ得サルヲ以テ之レヲ二回ニ別チ中途陳列替ヲナスノ止ムヲ得サルニ至リ作家諸君ノ期待ニ副ハサルモノアリシハ深ク陳謝スル處ナリ出品作家ノ氏名左ノ如シ

| | | | | | |
|---------|----|----|-------|---|-------|
| 静物 | 同 | 小西 | 晝飯前 | 同 | 寺松國太郎 |
| 桃如の午後 | 同 | 森田 | 宵の海 | 同 | 上田天昭 |
| 梅咲く頃 | 同 | 同 | 八月の海 | 同 | 新井謹也 |
| 冬のある日 | 同 | 同 | 逢阪山 | 同 | 間部時雄 |
| 日の入る前 | 同 | 安達 | 水村 | 同 | 河合新藏 |
| 下もゑ頃 | 同 | 成松 | 椿影 | 同 | 草野大八郎 |
| 椿咲く島 | 同 | 同 | 海女の家 | 同 | 武田新太郎 |
| 不二山頂剣ヶ峰 | 同 | 同 | 志摩の夕 | 同 | 砂田正二 |
| 公園の一隅 | 同 | 馬淵 | 下鴨の森 | 同 | 同 |
| 布晒 | 同 | 廣瀬 | 漁網の群れ | 同 | 前田松實 |
| 初冬 | 京都 | 岸田 | 宵の像 | 同 | 岸川弘吉 |
| 典馬女と印度人 | 同 | 同 | 川岸 | 同 | 舟川貞之助 |
| 針金渡りの女 | 同 | 同 | 静物 | 同 | 兒島榮二郎 |
| 夏木立 | 同 | 同 | 木の隆 | 同 | 野守健 |
| 西日を受たる港 | 同 | 西川 | 桃山の春 | 同 | 金野知幸 |
| 木曾の秋 | 同 | 木村 | 或村の夕 | 同 | 山崎福之助 |
| 大津市 | 同 | 同 | 若王子の瀧 | 同 | 伊藤快彦 |
| 伏見 | 同 | 四方 | 鳥飼ふ家 | 同 | 同 |

| | | | | | |
|--------|----|-----|----------|----|------|
| 鏡の前 | 同 | 澤部 | 現身(うつせみ) | 大阪 | 天岡均一 |
| 孟宗薺 | 同 | 黒田 | 昔をかたりつゝ | 同 | 同 |
| 冬の郊外 | 同 | 同 | 柱に倚れる女 | 同 | 今戸精司 |
| 静物 | 同 | 田中 | 女の顔 | 同 | 同 |
| イボールの春 | 同 | 鹿子木 | 汗 | 同 | 矢野誠一 |
| 棧橋の午後 | 大阪 | 高橋 | 男も | 同 | 同 |
| 塑像 | 同 | 文藏 | 小供 | 同 | 藤原榮吉 |

六 陳列及裝飾

出品物ノ陳列ハ勸業、美術兩館總坪數ノ内適當ナル通路ヲ除キタル總テヲ以テ之レニ充テ別ニ勸業館裏手ニ建設シタル機械館ハ専ラ諸機械ノ陳列場ニ充テタリ其ノ配列ハ主トシテ類別陳列ノ方法ニ依リ比較對照ノ便ヲ圖レリ(附圖參照)

裝飾ハ陳列場ノ全体ヲ通シ本會ニ於テ瀟洒ナル裝飾ヲ施シ遠隔地ノ出品ニシテ本會ニ陳列裝飾ヲ委託シタルモノニ對シテハ努メテ出品者ノ希望ニ副フヘキ裝飾ヲ施シ尙ホ出品人ノ自辨ニ係ルモノニ對シテハ陳列意匠ヲ獎勵スルノ目的ヲ以テ其ノ意匠ノ優良ナルモノニ對シテ褒賞ヲ授與スルノ規定ヲ設ケタルヲ以テ各自相競フテ意匠ノ考案ニ努力シ慘憺タル苦心ノ蹟大ニ見ルヘキモノアリ

七 動 力

機械館ノ動力配置及据付等ノ設計ハ本會ノ技士專ラ之ヲ擔任シテ其設備ヲナセリ
 動力ノ種類及動力傳達ノ手段ニ就テハ受動各機ノ種類据付ノ位置其他ノ狀況ニ依リ電動機輕油發動
 機瓦斯發動機等ヲ適宜組合セ之ヲ直結シタルモノ或ハ電動機ヨリ調帶ヲ以テ直接ニ機械ニ傳動セシ
 メタルモノ電動機ヨリ中間主軸ヲ通シタルモノ輕油發動機ヨリ調帶ニ依リ傳達シタルモノ等各種ノ
 方法ヲ設ケ努メテ種々ノ場合ニ於ケル動力傳達ノ手段ヲ種々ニ變化シ得ヘキ實例ヲ示シタリ
 一、電動力 電動力ハ宇治川電氣株式會社ヨリ一日一百『キロワット』ヲ限度トシテ無料供給ヲ受ケ
 送電線路ハ大阪電燈株式會社ノ既設電線路ニ依リ會場引込ニ要スル架線建柱配線電動機据付工事等
 ハ大阪電燈株式會社ニ於テ實費ヲ以テ之カ設備ヲ完成セリ尙之ニ使用スル電動機電流計開閉器等ハ
 大阪電機製造株式會社、黒崎電機製作所ヨリ無料貸與ヲ受ケタリ而シテ配電ニ關スル設備トシテハ
 一次電壓二、二〇〇『ヴォルト』、二次電壓二二〇『ヴォルト』ノ變壓器十『キロワット』四個七、五
 『キロワット』二個ヲ使用シ配線及電動機發動機配置主軸ノ設備ヲナシタリ、電動機ノ使用臺數馬力
 數左ノ如シ

| | | | | | |
|---|-------------------|----|----|---|---|
| 一三 | 三相交流誘導電動機 | 半 | 馬力 | 八 | 臺 |
| 一 | 同 | 一 | 馬力 | 十 | 臺 |
| 一 | 同 | 二 | 馬力 | 三 | 臺 |
| 一 | 同 | 三 | 馬力 | 二 | 臺 |
| 一 | 同 | 五 | 馬力 | 一 | 臺 |
| 一 | 同 | 十 | 馬力 | 一 | 臺 |
| 一 | 同 | 三十 | 馬力 | 一 | 臺 |
| 別ニ五馬力電動機ヲ三『キロワット』直流發電機ニ直結運轉シテ直流電氣ヲ發電セシメ無線電信機 及電車豫備燈用蓄電池ノ蓄電用ニ供シタリ | | | | | |
| 前記ノ電動機ヲ以テ左記ノ諸機械ヲ運轉セリ | | | | | |
| 一 | 一口徑十四吋タービンポンプ | 一 | | 一 | 臺 |
| 一 | 一口徑六吋セントリヒユウガルポンプ | 一 | | 一 | 臺 |
| 一 | 一口徑三吋上ポンプ及ビストンポンプ | 一 | | 一 | 臺 |
| 一 | 製麵機各種 | 四 | | 一 | 臺 |

| | | |
|------|---|-----|
| 一製綿機 | 二 | 六六 |
| 一製材機 | 一 | 臺 |
| 一製粉機 | 一 | 臺 |
| 一製餅機 | 一 | 臺 |
| 一精米機 | 二 | 六 臺 |

一、發動機 伏田鐵工所十馬力石油發動機八馬力吸入瓦斯發動機、大野鐵工所二十五馬力吸入瓦斯發動機十馬力直立船舶用石油發動機、岡鐵工所唧筒直結輕油發動機、足田鐵工所三馬力輕油發動機、松田製作所防火唧筒直結輕油發動機、神藤ポンプ製作所灌溉用ポンプ直結輕油發動機、松下鐵工所六馬力吸入瓦斯發動機、宮後鐵工所八馬力吸入瓦斯發動機ハ全部運轉セリ就中大野鐵工所出品船舶用石油發動機ハ巾十二尺長三十六尺ノ完全ナル模型船体内ニ据付ケ船舶航行ニ要スル推進器其他一切ノ機械器具ヲ完備シテ運轉セシメ船体進行ノ狀況ヲ展示シ尙ホ甲板上ニハ無線電信機ヲ裝置シテ絶ヘズ之ヲ使用シ海陸通信ノ實況ヲ示セリ

一、松田製作所ノガソリン防火ポンプハ此種機械中最新式ノモノニ屬シ其効率モ亦頗ル高シト云フ常ニ會場内ニ運轉シテ其威力ヲ一般ニ示セリ尙同所出品三十馬力電動機直結口徑十四吋タービン

ポンプハ大阪水管製造所製作ノ水管ヲ通シテ會場前ノ池中ニ圓徑六十尺水頭二十尺餘ノ噴水ヲ裝置セリ

其他疊床製造機、瓦製造機、製簾機、製筵機、麻糸繼續機、硝子模様入機、搾水機、製油機、製繩機等悉ク實地作業ヲナシ各其製造ノ様式ヲ示セリ尙ホ鑄鋼製品礦滓煉瓦各種調帶革製品機械用刀具等ノ製作品ヲ陳列シテ機械工業進歩ノ狀況ヲ展示セリ

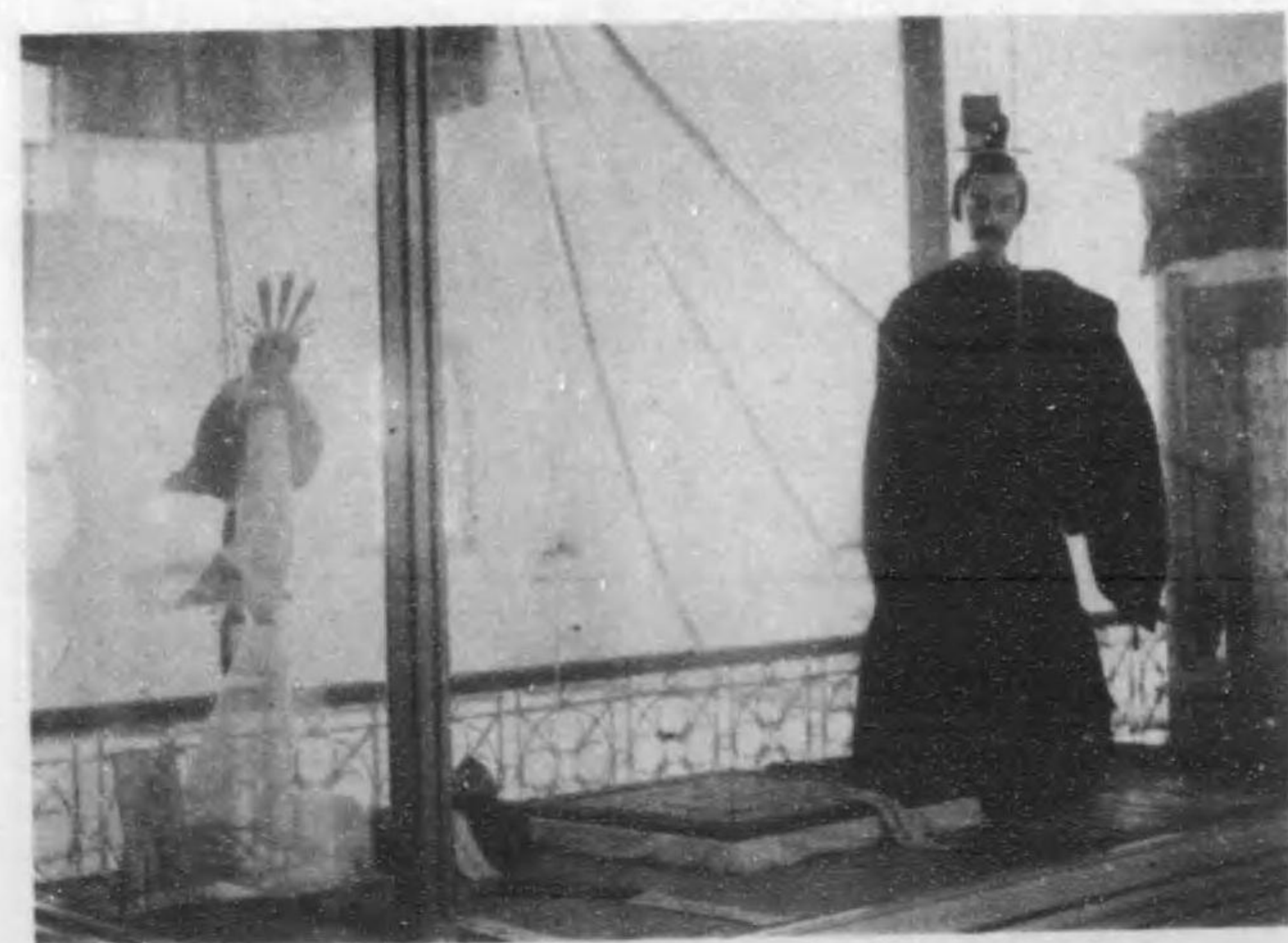
本會動力傳達ニ使用スル調帶ハ全部新田帶革製造所ヨリ其製作ニ係ル金色地球印單、合、各種調帶ヲ無料貸與ヲ受ケタリ
本會ハ如上動力供給並ニ運轉ノ爲メニ特別ノ好意ヲ寄與セラレタル宇治川電氣株式會社、大阪電燈株式會社、大阪電機製造株式會社、新田帶革製造所、黑崎電機製作所並ニ出品ニ對シ特別ノ設備ヲ施シテ一般觀覽人ノ智識啓發ニ資スル處アリタル大野鐵工所、松田製作所ニ對シ茲ニ深厚ナル感謝ノ意ヲ表スルモノナリ

八 看護及販賣

出品物ノ看護ト販賣ハ出品人各自ニ於テ之ヲ爲スモノト本會ニ委託スルモノトアリ、本會ニ委託シ

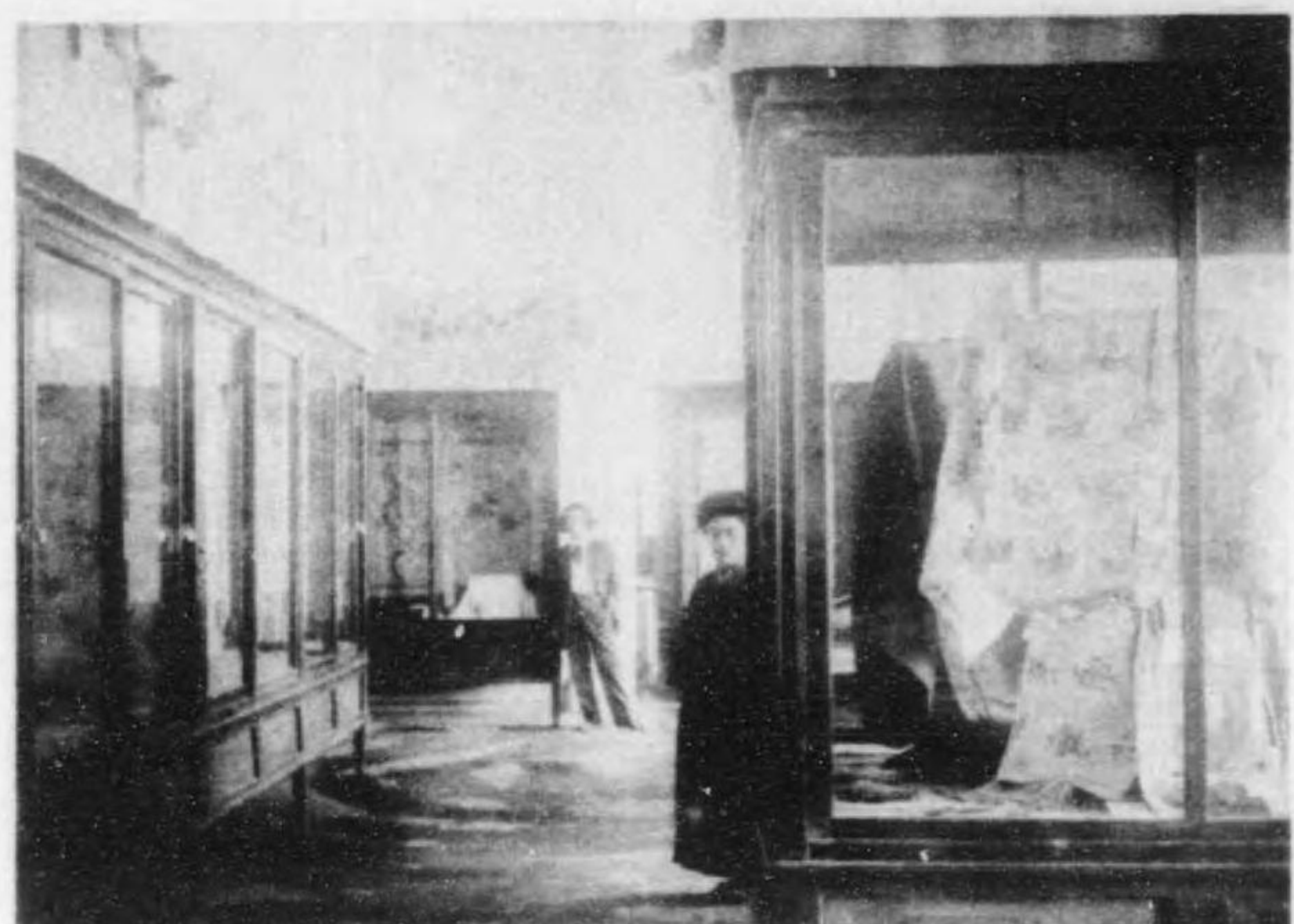


大 典 記 念 參 考 品 室 ノ 一 部

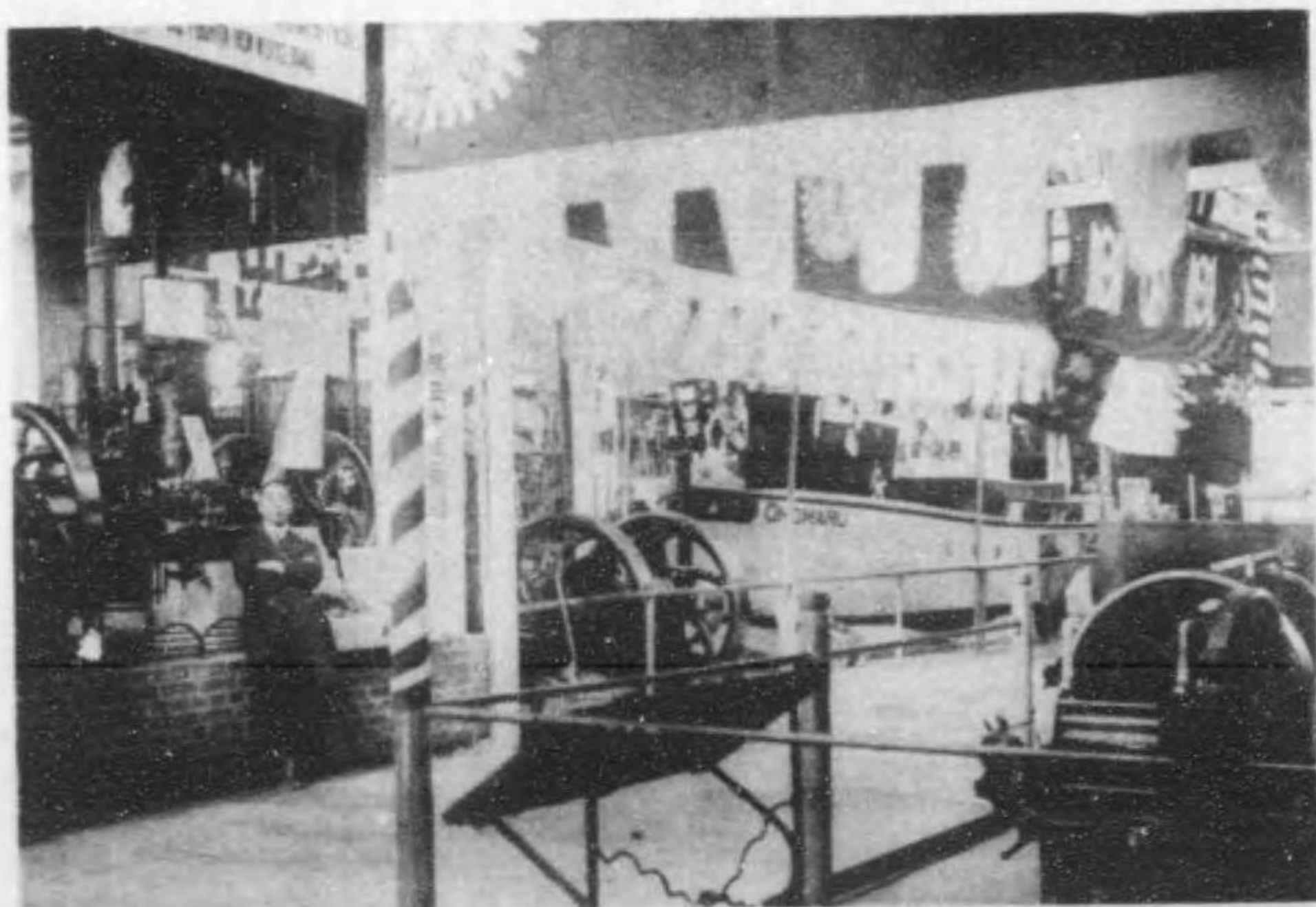


全 上

タルモノニ對シテニ本會ハ爲メニ看護人七十四名ヲ採用シ部署ヲ定メテ其任ニ當ラシメ更ニ出品陳列場ノ全体ヲ數區ニ分割シテ一區劃毎ニ一名ノ担当事務員ヲ配置シ其ノ担当區域内ニ於ケル出品ノ整理販賣等ノ事項ヲ處理セシメ兼テ看護人ノ監督ニ任セシメタリ、看護人ノ服務規程、看護人心得及出品物販賣手續ハ前章掲クル處ノ如シ

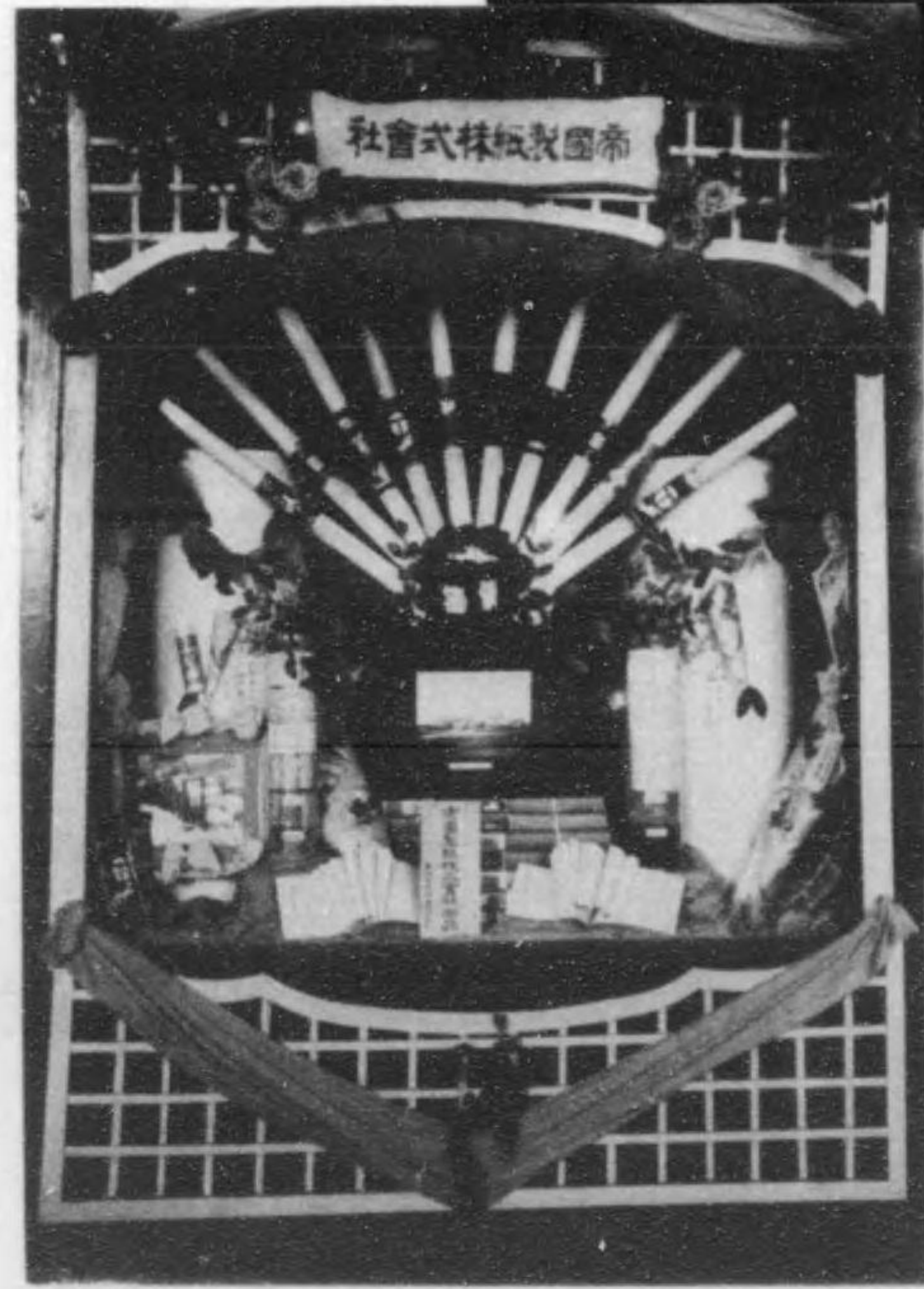
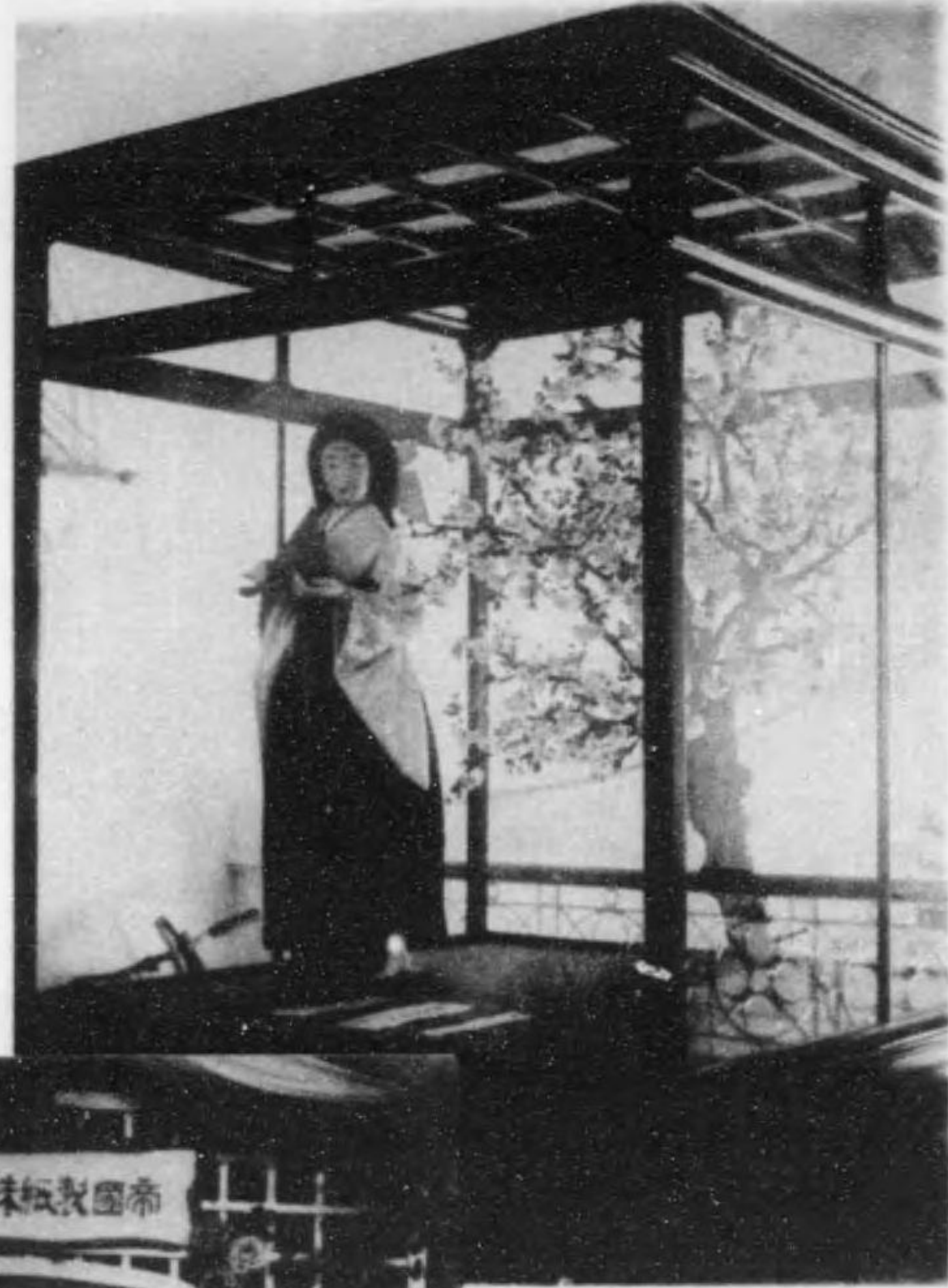


部一ノ品考參念記典大上階館術美

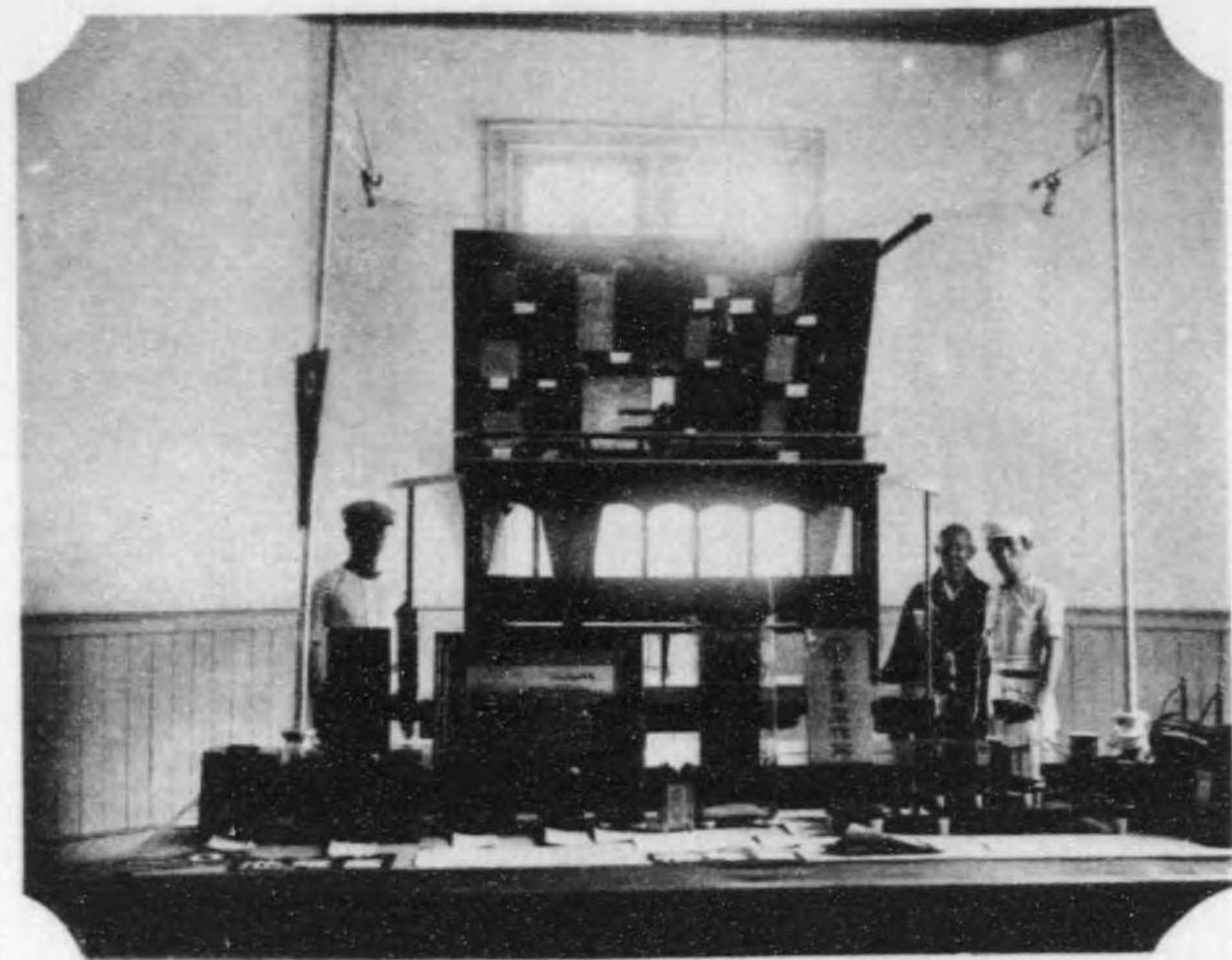


部一ノ品出館械機

美術館階上大典記念参考品ノ一部



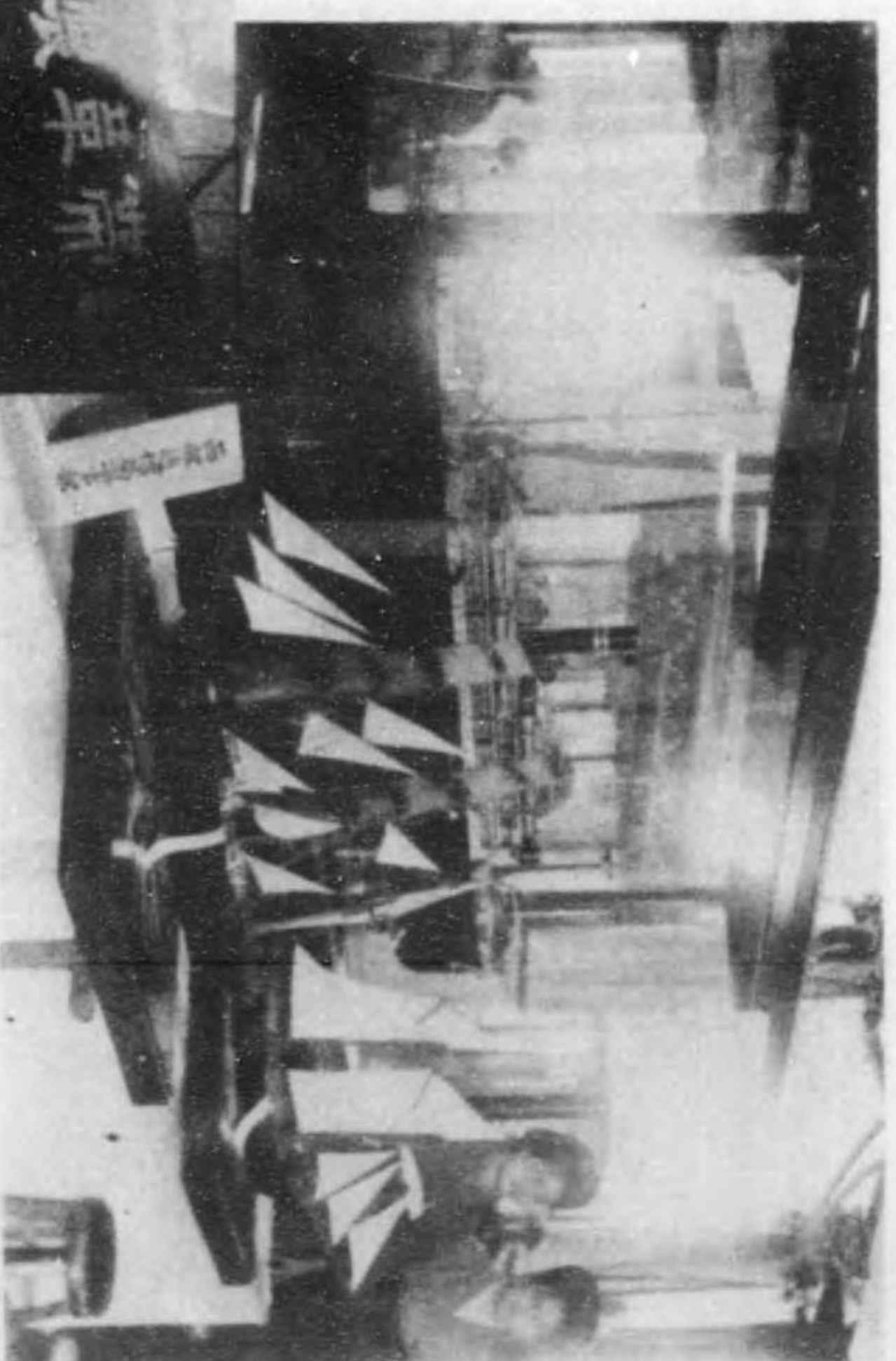
帝國製紙株式會社出品



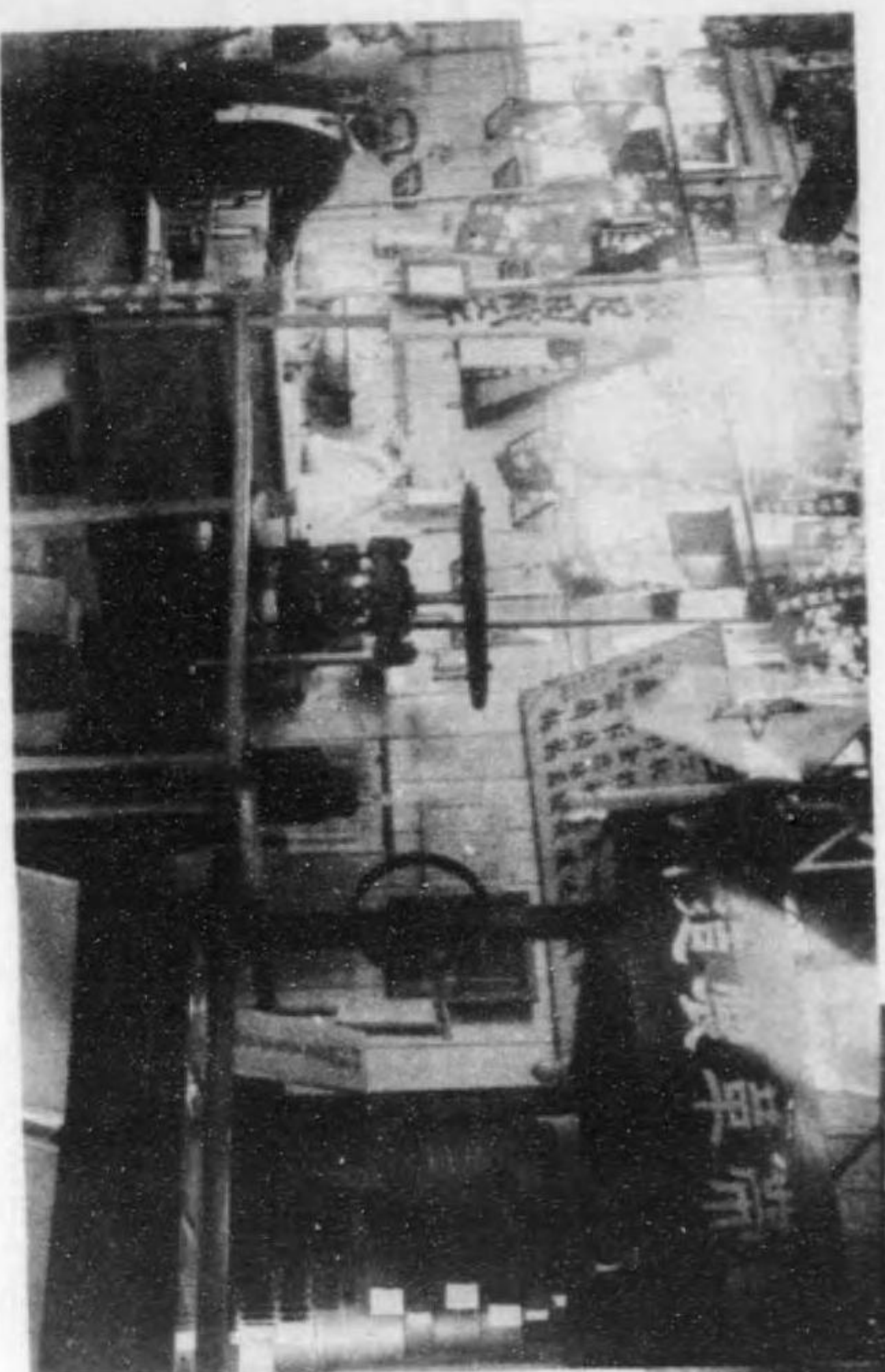
品出所作製津島



品出社會資合菱三



特殊參考品ノ一部



機械館出品ノ一部



勸業館内洋具出品ノ一部

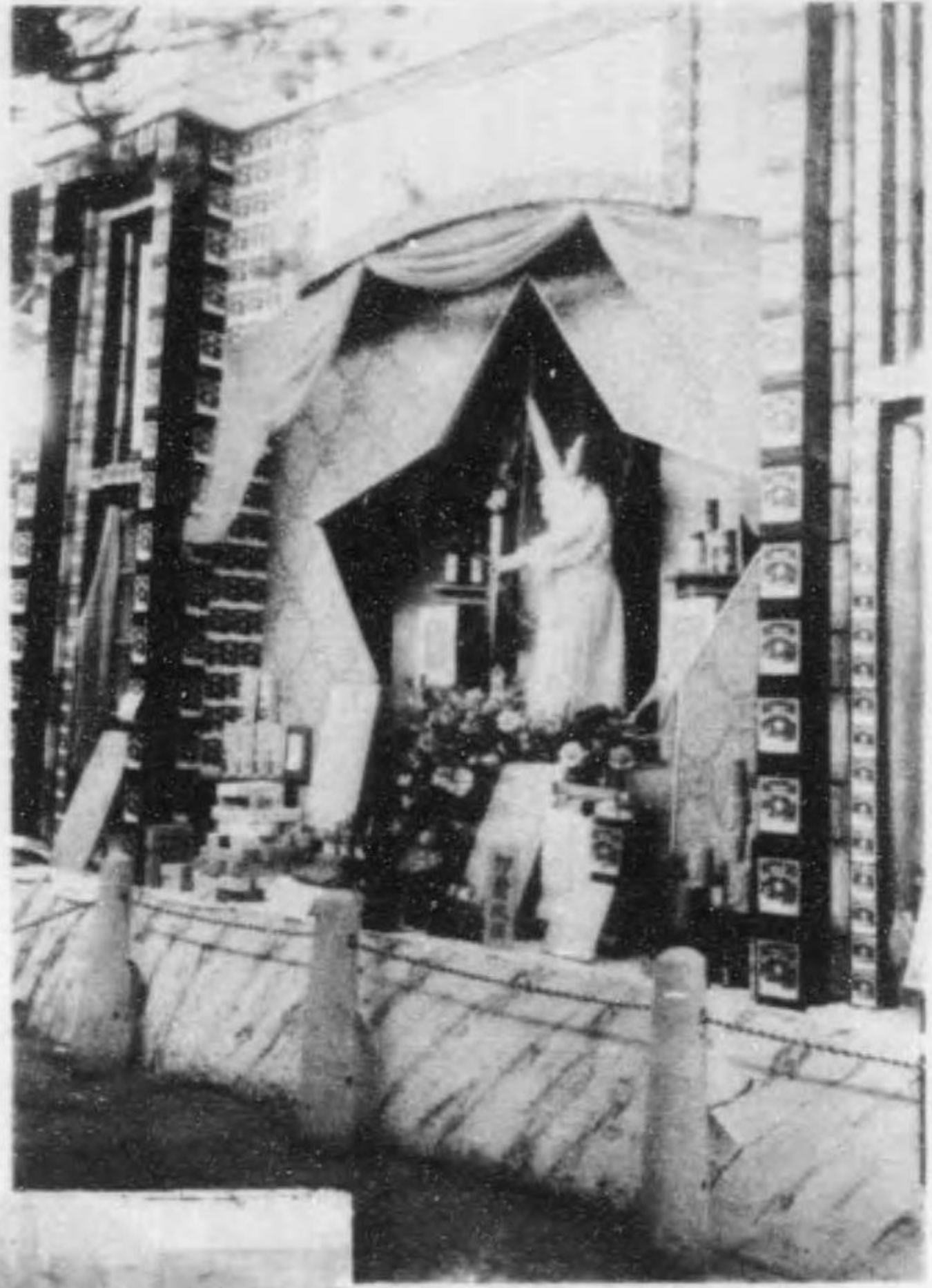


洋畫出品ノ一部



のゆ

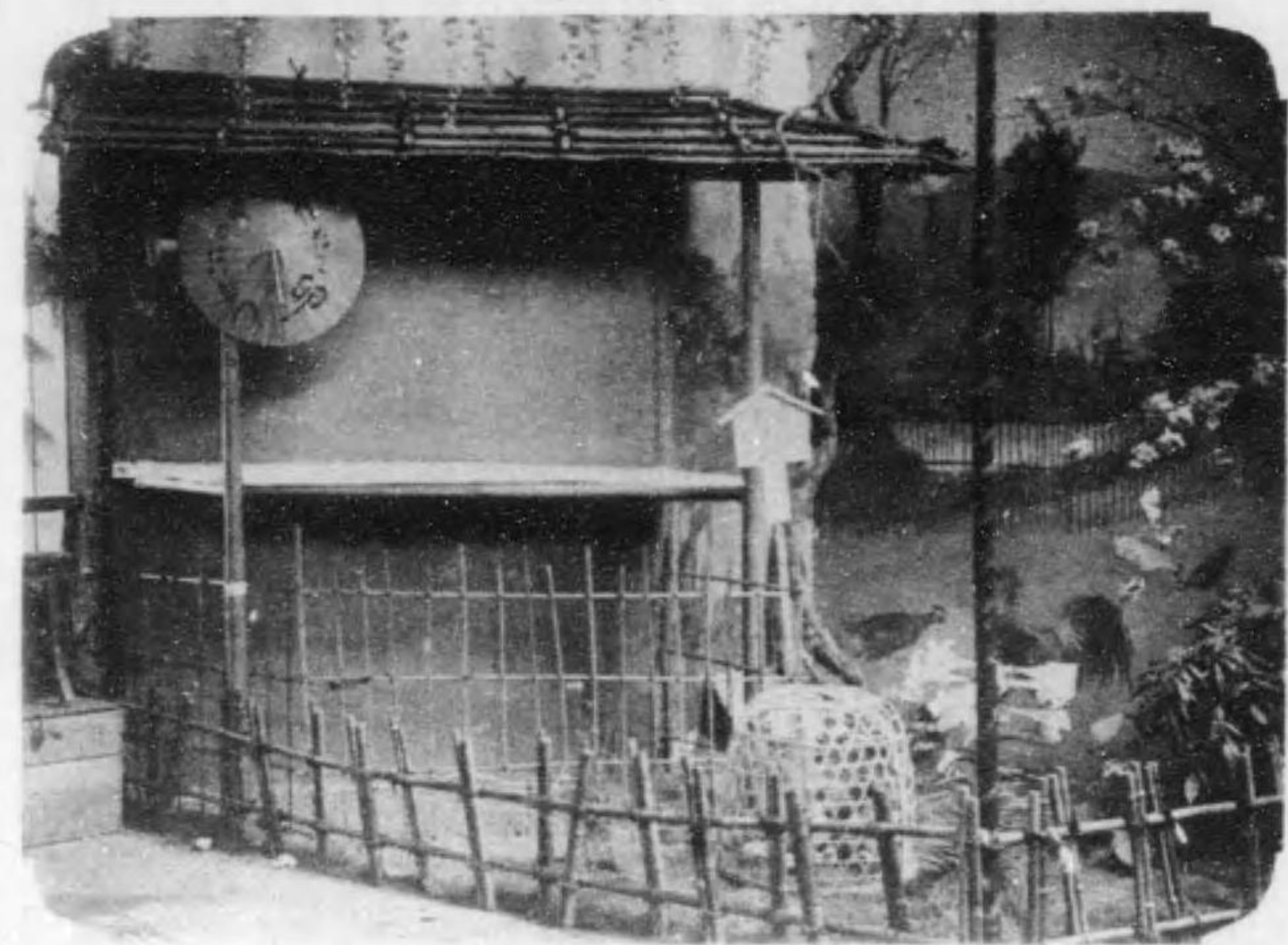
島津製作所出品



中田商會出品



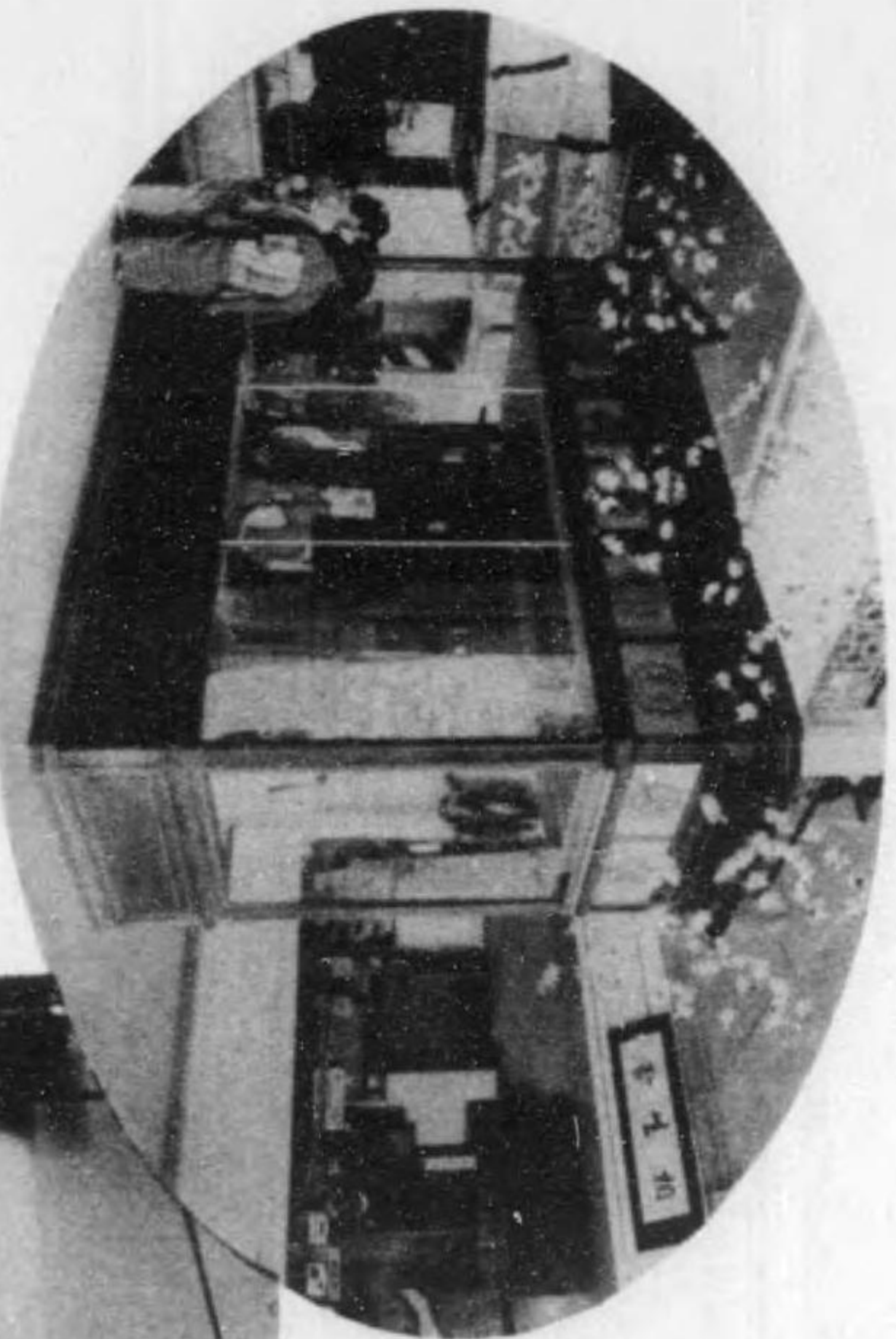
葵祭行列模型ノ一部



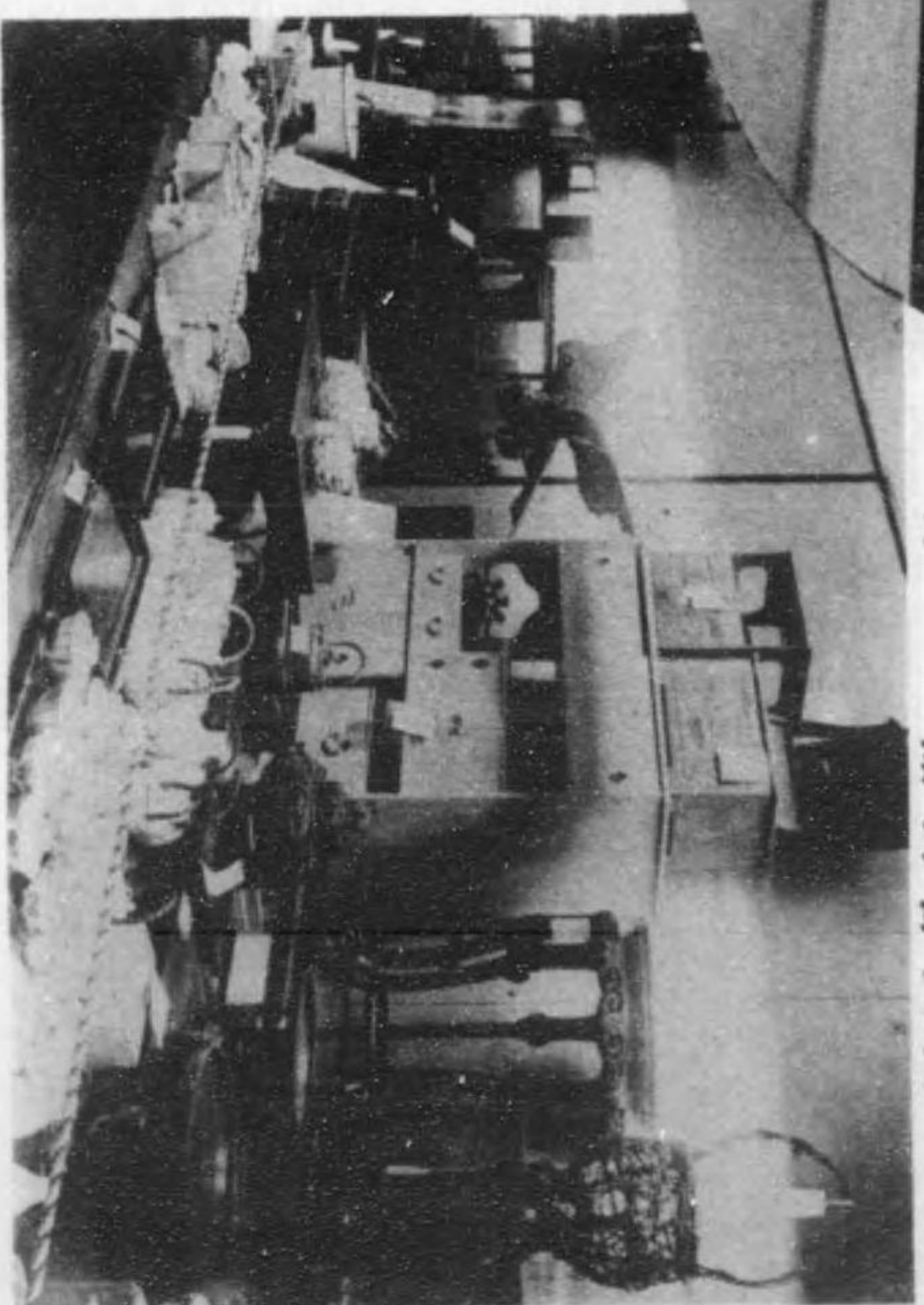
村地探卵園出品



勸業館中庭霧島花壇一



美館各物組出品之一部



共會出品之一部



平尾贊平出品



松山商會出品 倉庫模型



(機米精種各) 業作地實内館械機



部一ノ品出組田藤

高島屋飯田呉服店出品

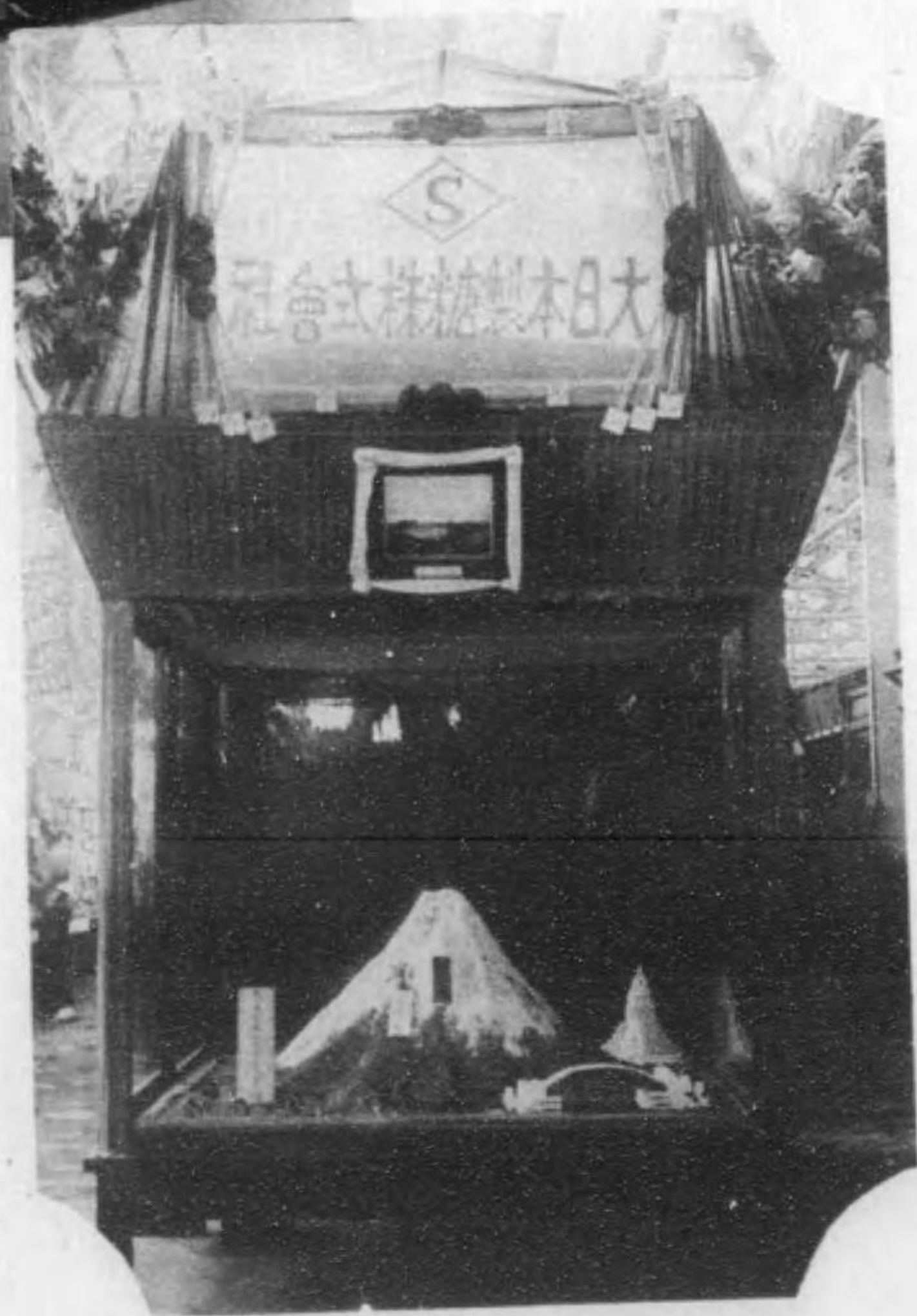


つちや足袋本舗出品



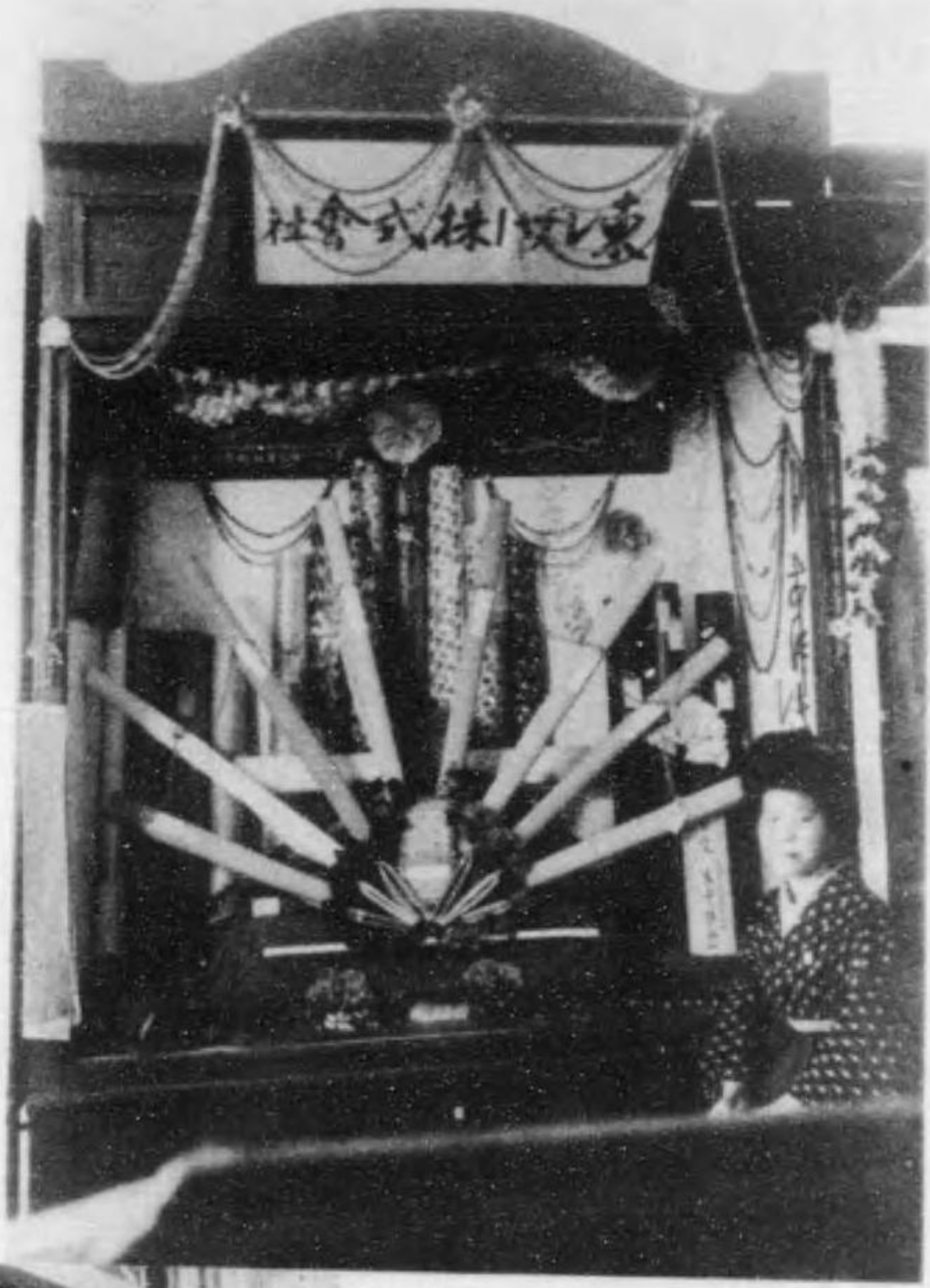


角一ゴム合資會社出品

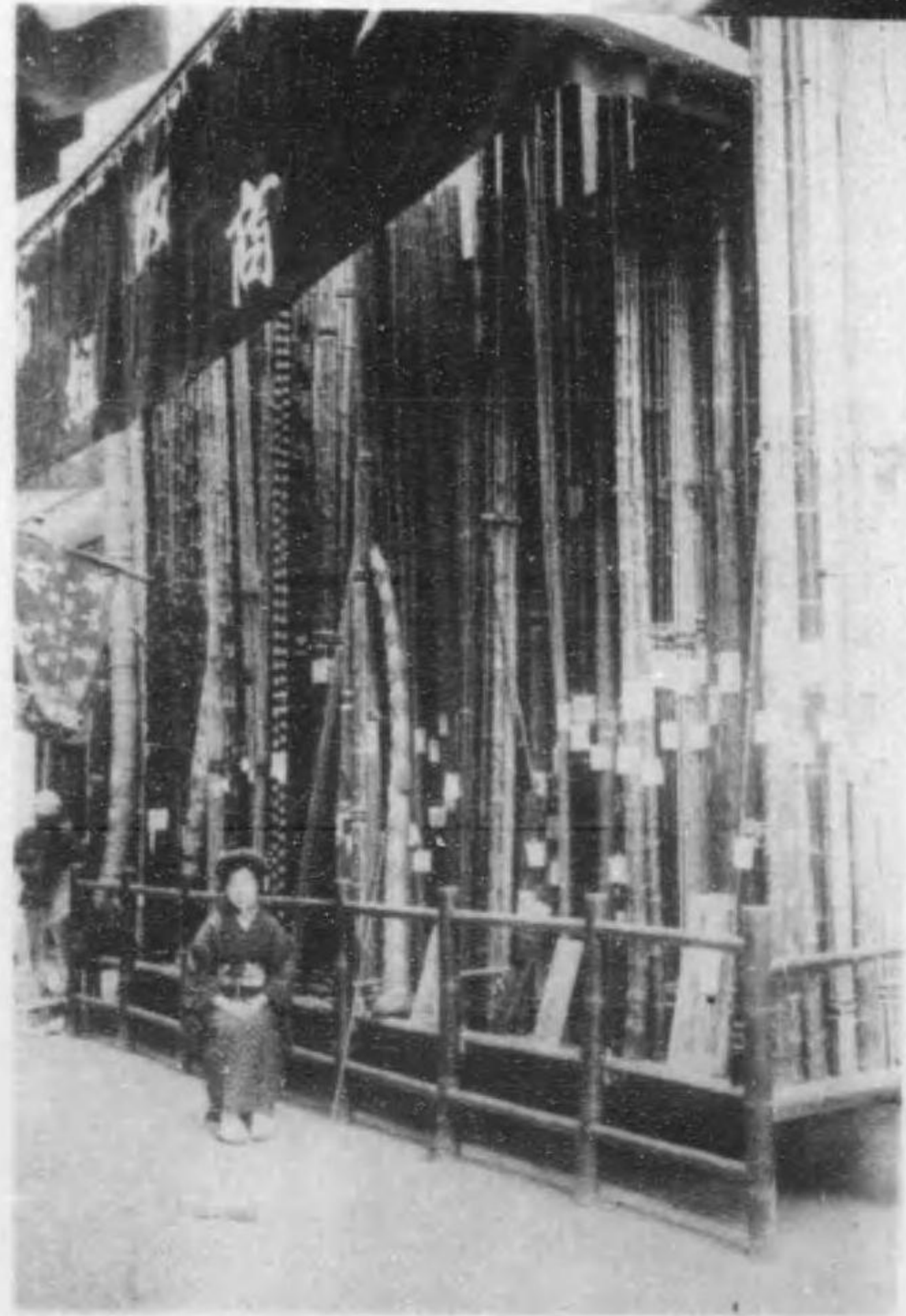


大日本製糖株式會社出品

東レザー株式会社出品



大阪竹商組合出品ノ一部



第五章 審査及褒賞

一 審査分擔

普通出品物ノ審査及繪畫部出品物ノ鑑査ハ最重要ノ事務ニシテ其ノ成績如何ハ出品者ノ利害休戚ニ關スルノミナラス一般當業者ノ指導啓發上至大ノ關係アル事柄ナルヲ以テ之レカ方法及局ニ當ル者ノ選任ニ就テハ最モ周到綿密ナル注意ヲ拂ヒ其結果ノ極メテ精覈ニシテ公正ナランコトヲ期セリ

繪畫部出品ノ鑑査ハ三月三十日及三十一日ノ兩日ヲ以テ之ヲ行ヒ開會期日ノ迫レルヲ以テ鑑査員ハ晝夜兼行事ニ當リ幸ニ斯ノ如キ短時日ヲ以テ全部ノ鑑査ヲ終リタルハ深ク其勞ヲ多トスル處ナリ其分担左ノ如シ

| | | |
|-----|-----------|-----------|
| 日本畫 | 森 琴 石 | 竹 内 栖 鳳 |
| | 菊 地 芳 文 | 山 元 春 舉 |
| 西洋畫 | 松 原 三 五 郎 | 赤 松 麟 作 |
| | 廣 瀬 勝 平 | 鹿 子 木 孟 郎 |
| | 寺 松 國 太 郎 | 河 合 新 藏 |

普通出品物ノ審査ハ各部門中ニ就キ分科ヲ設ケ各専門ニ依ツテ部長之レヲ分担シ更ニ各分科ヲ分類シテ各分類毎ニ斯業ニ經驗アル當業者及専門ノ士ヲ審査員ニ依嘱シタリ
 審査部長以下審査員ノ囑託畢ルヤ四月十七日平日審査長ハ審査會議ヲ開キテ大体ノ方針及分擔ヲ定メ四月二十三日審査ヲ開始シ五月十八日之ヲ終了シタリ審査分擔左ノ如シ

審査分擔表

第一部 美術及美術工藝

貴金屬、眞珠、銅器、彫刻

能面、七寶燒、

漆器、象牙細工、天然木製品、蒔繪

刺繡

第二部 化學工業

化粧品、石鹼、香水、香紙、洗粉、煤油、齒磨

陶磁器

煉瓦、硝子器、骸炭

大高庄右衛門

醋酸、硫酸、石灰、晒粉、塗料、防腐劑、不易糊、樟腦、

ラジウム食鹽、油、木蠟、其他化學工業品、スレート

帽子洗滌

染織物、半襟

第三部 染織工業

齋藤 正次

野々村 正大郎

泉林 藤七

同

同

同

岩崎部長

白崎多吉

岩崎部長

堀居部長

長尾部長

關口部長

富岡部長

岩崎部長

山口信太郎

丸山善次

堀居部長

中平平吉

植田政吉

石村政之助

上田佳山

堀居部長

大辻長兵衛

長尾部長

第四部 製作工業

洋服及其付属品

樂器、尺八

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

更紗、紡織系、綿絲、鬃系、燃絲、絹系、カタン系、

糸織物及毛織物、メリヤス、タオル、浴布

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

茶

審查員

富岡部長

同

七四

谷口勇太郎

香川重太郎

松尾清之助

山添夏太郎

米穀、雜穀

審查員

富岡部長

同

蠶種、繭、除虫菊、麵類、山葵、辛子、
鷄卵、蜂蜜、リツチハ子、玄米乳、麻苧、
果實、草花

富岡部長

木炭

同

高落松男

審查員

橋本 亮

蒲鉾、調味粉

審查員

山崎常次郎

審查員

岩崎部長

製粉

同

石川宗兵衛

同

岩崎部長

水産、農産、林産、食料品其他雜詰類

審查員

岡本友太郎

同

關口部長

同

同

尾崎宗兵衛

同

今野清次

同

同

富岡部長

同

藤井竹次郎

同

同

岡本徳兵衛

同

澤田芳松

同

同

富岡部長

同

葛原茂治

同

同

和田甚藏

同

佐藤三郎

同

同

吉田長藏

同

吉川伊作

同

同

當津喜平

同

關口部長

同

同

岩崎部長

同

富岡部長

同

同

今野清次

同

松尾清之助

同

同

米田哲二

同

長尾部長

同

同

小寺慶之助

同

片岡長信

同

同

貴田治兵衛

同

角田政次郎

同

同

岩崎部長

同

關口部長

同

同

肥塚庄左衛門

同

富岡部長

同

同

岩崎部長

同

富岡部長

同

同

伊藤 佐助

同

富岡部長

同

同

關口部長

同

富岡部長

同

同

奥野正太郎

同

富岡部長

同

同

近藤 安藏

同

富岡部長

同

同

時木吉太郎

同

富岡部長

同

同

友田湯次郎

同

富岡部長

同

同

逆瀬忠次郎

同

富岡部長

同

同

篠部善兵衛

同

富岡部長

二 授賞人名 附審査辭退者名

繪畫部出品ノ鑑査ヲ經タルモノハ規定ニ基キ審
査ヲ行ハサルコト勿論ニシテ其氏名ハ前章繪畫
室ノ條下ニ掲グルル處ノ如シ
普通出品物審査ノ結果左ノ如シ

◎名譽大賞牌

名 稱 府縣別 出品人氏名
一 麻織物各種 大阪 帝國製麻株式會社
一 染織物各種 同 飯田 吳服店
一 綿 系 同 福島紡績株式會社

| | | | | | |
|-----------|----|------------------|---------------|----|------------|
| 一ハイント | 大阪 | 日本ハイント製造株式會社大阪工場 | 一綿 | 同 | 泉州織物株式會社 |
| 一磁器 | 愛知 | 日本陶器合名會社 | 一染織物各種 | 同 | 十合吳服店 |
| 一煉瓦 | 大阪 | 大阪窯業株式會社 | 一自轉車自動車人力車タイヤ | 同 | 角一ゴム合資會社 |
| 一耐火煉瓦 | 同 | 品川白煉瓦株式會社 | 一染織物各種 | 同 | 白井吳服店 |
| 一ランプ口金 | 同 | 三平株式會社 | 一礫 | 東京 | ラサ島礫株式會社 |
| 一眞珠 | 三重 | 御木幸吉 | 一クレオソンド油 | 大阪 | 東洋木材防腐株式會社 |
| 一帯革 | 大阪 | 新田帶革製造所 | 一晒粉 | 同 | 大阪晒粉株式會社 |
| 一製革 | 同 | 日本皮革株式會社 | 一コークス及副産物 | 同 | 大阪合密工業株式會社 |
| 一礦業 | 同 | 三菱合資會社 | 一硬質陶器 | 石川 | 日本硬質陶器株式會社 |
| 一礦業、農業、林業 | 同 | 藤田組 | 一煉瓦 | 佐賀 | 香蘭合名會社 |
| 一砂糖 | 同 | 大日本製糖株式會社 | 一硝子 | 大阪 | 岸和田煉瓦株式會社 |
| 一同 | 同 | 大坂工場 | 一帽 | 同 | 高橋製帽所 |
| 一同 | 同 | 臺灣製糖株式會社 | 一レザ | 同 | 東レザ株式會社 |
| 一同 | 同 | 明治製糖株式會社 | 一クロム製革 | 同 | 中西清七 |
| 一清酒 | 兵庫 | 鹽水港製糖株式會社 | 一つちや足袋 | 同 | 福岡倉田雲平 |
| 計 | 同 | 株式會社 | 一美術製材 | 愛知 | 淺野吉次郎 |
| 計 | 同 | 兵庫長部文治郎 | 一花 | 同 | 岡山磯崎悦三郎 |
| 一モスリン友僊 | 大阪 | 川瀬芳三 | 一鉛筆 | 大阪 | 中村鉛筆製造株式會社 |

◎名譽賞金牌

| | | | | | |
|----------------|----|------------|------------|-----|----------|
| 一醫療器械 | 東京 | いわしや松本器械店 | 一製粉 | 計 | 三十九名 |
| 一金庫 | 大阪 | 伊藤喜十郎 | 一モスリン友僊 | 大阪 | 伊藤忠兵衛 |
| 一臺秤、金屬製桿秤 | 同 | 西田正俊 | 一タチル各種 | 同 | 岡橋株式會社 |
| 一貝卸 | 同 | 中村儀助 | 一中形浴衣地 | 愛知 | 浪越形染社 |
| 一帯革 | 同 | 大阪帶革製造所 | 一タチル及綿布 | 大阪 | 浪速紡織株式會社 |
| 一石油發動機、吸入瓦斯發動機 | 同 | 伏田清三郎 | 一線糸 | 同 | 山矢織布工場 |
| 一清酒 | 大阪 | 大塚和三郎 | 一メリヤスシャツ各種 | 和歌山 | 日出紡織株式會社 |
| 一サイダー | 大阪 | 帝國礦泉株式會社 | 一モスリン友僊 | 大阪 | 中川伊作 |
| 一醬油 | 同 | 河盛又三郎 | 一福おこし | 同 | 伊藤萬助 |
| 一同 | 兵庫 | 淺井醬油合資會社 | 一砂糖 | 同 | 河田松三 |
| 一同 | 同 | 日本丸天醬油株式會社 | 一同 | 同 | 山口玄洞 |
| 一同 | 大阪 | 小林林之助 | 一同 | 同 | 寺村庄三郎 |
| 一同 | 臺灣 | 東洋製糖株式會社 | 一同 | 同 | 松田左右吉 |
| 一同 | 同 | 新高製糖株式會社 | 一同 | 同 | 伊藤岩次郎 |
| 一同 | 同 | 岡山山本萬太郎 | 一同 | 同 | |
| 一同 | 同 | 大阪池田萬助 | 一同 | 同 | |
| 一同 | 同 | 大阪池田萬助 | 一同 | 同 | |

◎一等賞金牌

小田郡西部五ヶ村聯合農會代表者稻倉村農會長

| | | | | | |
|------------|----|-----------|--------|----|----------|
| 一白木綿 | 同 | 河内織物合名會社 | 一洋服 | 同 | 西村洋服店 |
| 一富士絹 | 同 | 外定大阪支店 | 一綿 | 同 | 大阪綿業株式會社 |
| 一緋及晒麻布 | 奈良 | 高阪惣七 | 一木綿紺染 | 同 | 黒田豐吉 |
| 一防水布 | 大阪 | 日本防水布合資會社 | 一天竺晒木綿 | 同 | 丸谷外次郎 |
| 一麻布及座蒲團地 | 滋賀 | 中村武右衛門 | 一浴衣地 | 同 | 日比合名會社 |
| 一綿布 | 大阪 | 貝塚織物株式會社 | 一染織物各種 | 同 | 中野吳服店 |
| 一同 | 同 | 佐野織物株式會社 | 一同 | 同 | 竹田吳服店 |
| 一同 | 同 | 岸和田織物株式會社 | 一絹綬通 | 同 | 小谷芳太郎 |
| 一子 | 愛媛 | 阿部株式會社 | 一染織物各種 | 同 | 白木屋吳服店 |
| 一蚊帳 | 大阪 | 西川甚五郎 | 一明石織 | 同 | 新湯宮内常太郎 |
| 一座蒲團地 | 滋賀 | 中村謙三 | 一染織物各種 | 大阪 | 丹波屋吳服店 |
| 一節系織 | 新潟 | 木村龍吉 | 一染物各種 | 石川 | 博進會 |
| 一明石紋上布 | 同 | 田口米藏 | 一晒木綿 | 大阪 | 中江新十郎 |
| 一織物 | 同 | 藤井清四郎 | 一セル各種 | 同 | 小杉佐兵衛 |
| 一染織物各種 | 大阪 | 平井吳服店 | 一ネ | 愛媛 | 株式會社興業會 |
| 一裏地染 | 同 | 黒岩寅藏 | 一大暮銃鐵 | 大阪 | 中國製鐵株式會社 |
| 一紅金巾モスリン友僱 | 同 | 和井田商店 | 一粉末藥品 | 同 | 大日ノ出商會 |
| 一毛倭織 | 同 | 村田傳七 | 一木蠟 | 大分 | 大藏伊平二 |

| | | | | | |
|--------------|----|------------|---------|----|----------|
| 一大豆油 | 愛知 | 特製豆粕株式會社 | 一クロム製革 | 大阪 | 宮本平次郎 |
| 一塗料 | 大阪 | 彩工會 | 一同 | 同 | 川崎孫次郎 |
| 一クラブ化粧品 | 同 | 中山太一 | 一履物 | 同 | 履物商組合履德會 |
| 一齒磨 | 東京 | 小林富次郎 | 一同 | 同 | 多福竹次郎 |
| 一レイト化粧品 | 同 | 平尾贊平二 | 一同 | 兵庫 | 平尾重治郎 |
| 一大學化粧品 | 大阪 | 矢野芳香園 | 一鼻緒 | 京都 | 川口太三郎 |
| 一石験 | 同 | 栗津久治郎 | 一履物 | 東京 | 深井留吉 |
| 一七寶燒 | 愛知 | 服部唯三郎 | 一同 | 大阪 | 飯田安次郎 |
| 一陶器 | 大阪 | 淡陶株式會社 | 一塗下 | 同 | 山本政太郎 |
| 一模造紙 | 同 | 帝國製紙株式會社 | 一履物 | 東京 | 合名會社小野商店 |
| 一磁製磚子 | 愛知 | 加藤左衛門 | 一同 | 同 | 市木留吉 |
| 一磁製花瓶 | 同 | 瀬榮合資會社 | 一同 | 同 | 松島善太郎 |
| 一磁製菓子器 | 同 | 伊藤四郎左衛門 | 一同 | 東京 | 與板屋原又吉 |
| 一ステアリングリッサリン | 大阪 | 帝國魚油精製株式會社 | 一整理表 | 同 | 中村千代吉 |
| 一樟腦 | 同 | 藤澤友吉 | 一單筒 | 大阪 | 宮本松次郎 |
| 一石灰窒素 | 同 | 日本窒素肥料株式會社 | 一黃楊彫刻細工 | 同 | 竹村惣助 |
| 一雨傘 | 東京 | 山本茂助 | 一美術人造空材 | 東京 | 美術製材株式會社 |
| 一防腐櫃 | 兵庫 | 山下裕造 | 一單筒 | 大阪 | 内田鹿造 |

一莫大小機械
 一電流計、扇風器
 一中型帶鋸機
 一輕油發動機、瓦製造機
 一湯沸ポンプ、便器其他
 一各種木管
 一唧筒
 一可搬消毒機
 一消防用唧筒
 一清酒
 一白酒
 一清酒
 一サ
 イ
 タ
 1

同 大西與之助 一清
 同 中央電機製作所 一清
 同 川崎鐵工所 一清
 同 足田秀雄 一清
 同 賀須豐治郎 一清
 同 紡織用品株式會社 一清
 同 松田製作所 一清
 同 松下鐵工所 一清
 同 岡田梅五郎 一清
 同 玉井唧筒商會 一清
 同 岡實康 一清
 同 大阪唧筒合資會社 一清
 同 兵庫高岡源七 一清
 同 愛媛杉野勤左衛門 一清
 同 大阪藤野萬吉 一清
 同 石橋長之助 一清
 同 北村儀三郎 一清
 同 鳥取小阪平藏 一清

酒

廣島期本恒
 愛媛武内修
 同杉野八郎
 大阪畑中佐兵衛
 同本所又壽郎
 愛媛德田甚吉
 朝鮮堀兄弟商會
 熊本吉田永造
 奈良石田治
 大阪土屋象藏
 同竹網熊次郎
 秋田木村孫四郎
 大阪八木新右製門
 山口中本保一
 大阪岩根猪五郎
 同真本敬太郎
 同吉田辨吉
 岡山森澤清六

一萬年
 一醉
 一味噌
 一油

同 久保甚吉 一清
 長崎長門久次郎 一清
 大阪石橋本店 一清
 京都三輪芳太郎 一清
 長野左治木清七 一清
 大阪山下市助 一清
 奈良松尾錦松 一清
 福岡末松清一 一清
 廣島弘保武藏 一清
 朝鮮木寺醬油醸造所 一清
 大阪鹿島竹治郎 一清
 同位田榮次郎 一清
 廣島西村五十吉 一清
 山口椎木和吉 一清
 愛媛北村辨吉 一清
 兵庫畑昌吉 一清
 埼玉市川龜吉 一清
 臺灣臺灣醬油株式會社 一清

山口合名會社高山商會
 同高田傳兵衛
 長野宮坂安三郎
 鳥取阪口合名會社
 香川岡坂政五郎
 長野井上兵助
 新潟澁谷松五郎
 埼玉橋本三九郎
 岡山酒津大國醬油株式會社
 福岡松村久吉
 埼玉金子文藏
 大阪兒玉源吉
 同高崎醬油店
 山口稻田市太郎
 兵庫西尾正七
 大阪彌谷佐兵衛
 山口布浦松太郎
 大阪柿浦佐一郎

| | | | |
|-------------|---------|---------|------------|
| 一紗織襪地 | 奈良柄木定吉 | 一空氣枕水袋 | 大阪中村ヨメ商會 |
| 一上布 | 新潟遠藤榮次郎 | 一麻布 | 京都小畑竹次郎 |
| 一天竺木綿地染 | 大阪古高豊八 | 一地白越路緋 | 新潟井口正吉 |
| 一天竺木綿晒 | 同堀川源藏 | 一織紺 | 大阪池島駒吉 |
| 一白木綿 | 同山田猶太郎 | 一黒羽二重紋付 | 長野鈴木永吉 |
| 一杉織 | 同木村福松 | 一絞リ木綿 | 岐阜村瀬泰次郎 |
| 一東洋織麻織通 | 同藤原市松 | 一麻布 | 臺灣利澤簡機業組合 |
| 一綿織通リノリユム塗料 | 同吉田鹿之助 | 一風呂敷染 | 大阪古澤風呂敷染工場 |
| 一フエルト | 同住田實 | 一絹糸 | 同水野廉次郎 |
| 一モスリン友僊 | 同多田利重 | 一カタン糸 | 同松山彌五郎 |
| 一同 | 同澤猶之助 | 一麻布 | 滋賀辻富右衛門 |
| 一同 | 同和田哲夫 | 一織紺 | 大阪東尾織物合資會社 |
| 一同 | 同多田嘉太郎 | 一白木綿 | 同安田佐太郎 |
| 一同 | 同高岡大吉 | 一綿布 | 同岸村徳平 |
| 一同 | 同市田喜商店 | 一更紗 | 同鹽田伊之助 |
| 二永枕、米袋、乳瓶 | 同長井佐兵衛 | 一紺木綿 | 同池島久吉 |
| 二メヨールセル | 同奥田和三郎 | 一ノリユム油 | 同杉野商會 |
| 一防水布 | | 一木綿 | 宮崎日高源吉 |

| | | | |
|------------|--------------|---------|-----------|
| 一醋酸石灰 | 大阪濱田國太郎 | 一香品 | 大阪藤澤友吉 |
| 一除蟲劑 | 和歌山金英商會 | 一硝子杯 | 同栗津三郎助 |
| 一蠟燭 | 千葉田原久次郎 | 一硝子壺 | 同中島大三郎 |
| 一柿澆汁 | 東京毛利熊吉 | 一同 | 同森本商店 |
| 一水晶油 | 大阪木村猶三郎 | 一薩摩燒陶器 | 鹿兒島平岡彌次郎 |
| 一假漆、百寫版 | 東京東京科學工藝所 | 一磁製花瓶 | 愛知山田丈助支店 |
| 一醋酸石灰 | 和歌山鈴木宗次 | 一輸出陶器玩具 | 同長江貞三郎 |
| 一のみさり粉 | 大阪井上奈真一 | 一白嵌入花磁 | 同加藤春光 |
| 一食鹽礦泉 | 同牧野譽太郎 | 一磁製花盛 | 同稻垣久吉 |
| 一天然糊料 | 奈良天然糊料精製株式會社 | 一陶器製抹茶碗 | 同岡島惣吉 |
| 一プルトールセ絆創膏 | 大阪合資會社中田商店 | 一陶磁器各種 | 京都谷口長次郎 |
| 一五色酒 | 同森高和吉 | 一花磁 | 兵庫打出燒陶器工場 |
| 一香料 | 同西崎化學香料製造所 | 一無名異燒陶器 | 新潟吉村赤山 |
| 一リノリユム塗料 | 同吉田鹿之助 | 一同似合紙 | 兵庫岩野定治郎 |
| 一落花生油 | 臺灣源泰製油公司 | 一紙 | 大阪石田爲次郎 |
| 一蜆貝灰 | 滋賀井上武兵衛 | 一同似合紙 | 同田中留次郎 |
| 一蟹附油 | 茨城小泉久左衛門 | 一紙 | 兵庫八木米三郎 |
| 一椿油 | 大阪坪田與惣吉 | 一紙 | 大阪山中榮太郎 |

一夏座蒲團地
一麻白 耕
一麻布夜具地
一麻布 布
一瓦斯哇織
一晒木 綿
一白木 綿
一ウール羅紗
一トソビ、袴
一洋服及トソビ
一トソビ
一麻布 耕
一麻布 耕
一白木 綿
一トソビ、袴

同 村田源兵衛 一同 白木綿
同 辻 忠太郎 一赤地縮緬縫袴
奈良松井直二郎 一グエール
同 上田新八
滋賀吉岡九平 一晒木綿
大阪櫻井政次郎 一シャツ、カラ、ネクタイ
同 藤井合名會社 一袴
同 土井盛太郎 一白木綿
東京 日本ウール羅紗株式會社 一晒木綿
大阪出崎常三 一織 木綿
同 竹内武次郎 一麻 布
同 淺村米太郎 一河内 綿
滋賀川島傳作 一白木綿
同 藤野松三郎 一トソビ、袴
同 布施徳治郎 一袴
大阪松永久三郎 一同
同 松本洋服店 一洋 服

一〇八
東京伊澤平次郎
大阪眞備善三郎
同 淺野卯兵衛
同 吉岡清太郎
同 畑中六郎
同 山田光次郎
東京 渡邊政太郎
大阪 田中鶴松
同 安田佐太郎
同 安田芳之助
滋賀 菅根安次郎
大阪 西井龜次郎
同 安田治三郎
大阪 景山謙之助
東京 渡邊惣次郎
同 飯島常吉
大阪 羽田和三郎

一袴
一トメリヤス
一麻布
一同
一同
一同
一織 紺
一浴衣 地
一中形浴衣及更紗
一手拭 染
一糊
一西洋洗濯
一同
一粉末石鹼
一炭酸石灰
一香油

東京 榎内安次郎 一化粧水
同 柴崎はん 一香料化粧液
大阪 山田仁藏 一同
同 安松谷安次郎 一クローム
滋賀 近野金四郎 一水白粉
同 林伊左衛門 一香油
同 辻長左衛門 一香油
同 北岸重右衛門 一香油及ボマード
大阪 淺井米造 一ふけ取香水
同 倉田吉兵衛 一長崎洗粉
同 高橋清三郎 一香油
同 蜂谷喜七郎 一硝子製注液塗、糊
同 野崎藤吉 一硝子器、樽形貯金器
同 梅本徳次郎 一硝子器、樽形貯金器
同 森榮作 一硝子器、樽形貯金器
同 山縣榮平 一硝子器、樽形貯金器
同 吉年榮吉 一硝子器、樽形貯金器
鳥取 八田静男 一硝子器、樽形貯金器

一〇九
大阪 理容會
同 西崎武太郎
兵庫 西村榮二郎
大阪 川村勳兵衛
同 山本武信
同 中谷兵助
同 野田商店
同 竹中尙徳堂
同 山本直綱
同 山本直綱
同 西野 潤
長崎 上田由右衛門
北海道 大塚福治
大阪 野崎藤吉
同 津山宗七
同 加藤勳六
同 加藤正太郎
同 水野正三
大阪 赤井商店

| | | | | |
|------------|------------|-----------|---|------------|
| 一 同 | 愛知帝國發明合資會社 | 一 平組自動印刷器 | 同 | 高井與左衛門 |
| 一 同 | 大阪寺谷肇二 | 一 輕便手提電燈 | 同 | 增井松治郎 |
| 一 貨幣省振器 | 同 西村卷之助 | 一 電氣燈 | 同 | 衣笠商店 |
| 一 鐵瓶 | 岩手照井又八 | 一 懷中電燈 | 同 | 山田竹藏 |
| 一 アルミニウム水筒 | 大阪板東商會 | 一 電氣燈 | 同 | 靜岡楠原源三郎 |
| 一 メタル | 同 今井晴吉 | 一 ミシン施風器 | 同 | 大阪城之内善太郎 |
| 一 銅器 | 新潟堀淨親 | 一 パルプロック類 | 同 | 同 鳥井榮治郎 |
| 一 燈籠 | 大阪勝山徳兵衛 | 一 木製調車 | 同 | 同 池喜商會 |
| 一 神社用海老錠 | 同 豐田久平 | 一 調理器 | 同 | 山口村田政之進 |
| 一 鍋 | 同 水田文三郎 | 一 料理器 | 同 | 大阪濱部勇七 |
| 一 精米機 | 同 畑中清二 | 一 江戸組擦出機 | 同 | 同 川瀬守幹 |
| 一 二日運座精米機 | 同 高橋誠一郎 | 一 多種蒔器 | 同 | 愛媛山本淺次郎 |
| 一 噴霧器 | 同 泰平商會 | 一 鍋蓋 | 同 | 大阪橋本清俊 |
| 一 除草器 | 同 中塚ホンブ製作所 | 一 推進機 | 同 | 同 梅田増吉 |
| 一 回轉稻扱 | 福岡福井農具商會 | 一 消防用器具 | 同 | 同 大阪工業合資會社 |
| 一 稻麥扱機 | 大阪岸本商會 | 一 清酒 | 同 | 同 橋本忠兵衛 |
| 一 打込井戸用吸水管 | 同 成尾農工合資會社 | 一 同 | 同 | 朝鮮 辻酒造株式會社 |
| | 同 川戸智司之 | 一 同 | 同 | |

| | | | |
|------|-----------|----------|-------------|
| 一 同 | 島根小西嘉三郎 | 一 同 | 熊本木村善五郎 |
| 一 醬油 | 朝鮮原田龜吉 | 一 饅頭 | 大阪清水常次郎 |
| 一 同 | 廣島正岡繁次 | 一 餡菓子花の露 | 同 殿村政二郎 |
| 一 同 | 長野宮崎龜太郎 | 一 菓子メレンゲ | 同 大村三次郎 |
| 一 同 | 大阪片山藤吉 | 一 壽豆 | 同 柳川通 |
| 一 同 | 岩手柳澤正治右衛門 | 一 しんこ | 同 木下兵助 |
| 一 同 | 長崎中島金兵衛 | 一 菓子さしれ石 | 同 惠美須堂 |
| 一 同 | 大阪後田計真 | 一 御代饅頭 | 同 山田卯之助 |
| 一 同 | 廣島藤井國五郎 | 一 蜂蜜羊羹 | 同 滋賀正野友四郎 |
| 一 同 | 島根加藤萬次郎 | 一 五色豆 | 同 京都富永泰藏 |
| 一 同 | 埼玉高橋真節 | 一 赤飯 | 同 大阪奥野數平 |
| 一 同 | 福岡尾家悦藏 | 一 七寶おこし | 同 大阪金時堂村本太晴 |
| 一 同 | 大阪海老重次郎 | 一 饅頭 | 同 淺田六三郎 |
| 一 同 | 三重岡崎奈真藏 | 一 饅頭 | 同 北村熊太郎 |
| 一 同 | 神奈川大竹齊三郎 | 一 饅頭 | 同 高木徳次郎 |
| 一 同 | 愛媛淺野金七 | 一 鬼あられ | 同 同 森永幸次郎 |
| 一 同 | 長野田中兵右衛門 | 一 桃の飴 | 同 同 靜岡佐野清作 |
| 一 同 | 愛媛小西萬四郎 | 一 栗おこし | 同 大阪林武治郎 |

| | | |
|----------|----|-------------|
| 一高砂おこし | 同 | 向井寛三郎 |
| 一水餅 | 長野 | 諏訪水餅製造組合 |
| 一白羊羹 | 富山 | 社代表者...矢澤千波 |
| 一栗おこし | 大阪 | 鈴木高山堂 |
| 一鷹饅頭 | 同 | 渥美安吉 |
| 一精糖麵 | 同 | 岩城義八郎 |
| 一能樂面 | 同 | 稲田玄妙齋 |
| 一能樂麵 | 同 | 鳥取伊吹金太郎 |
| 一糰米 | 兵庫 | 紙谷菊留 |
| 一糰米 | 同 | 兵庫三田谷儀作 |
| 一木炭 | 同 | 兵庫長尾竹次郎 |
| 一同 | 同 | 大阪三波善五郎 |
| 一豆の粉 | 同 | 大阪島田久藏 |
| 一蒲鉾詰 | 同 | 愛媛宇都宮二郎 |
| 一鯉節 | 同 | 高知濱崎鹿造 |
| 一鯉節 | 同 | 大阪平岡爲吉 |
| 一珈琲液、蜜柑液 | 同 | 大阪池田駒吉 |

計 二百三十八名

◎陳列意匠二等賞銀杯

| | | |
|-------|----|---------------|
| 一木綿浴衣 | 愛知 | 浪越形染社 |
| 一砂糖 | 大阪 | 大日本製糖株式会社大阪工場 |
| 一卵 | 同 | 村地探卵園 |

◎全三等賞木杯

| | | |
|---------|----|-------------|
| 一絹織物 | 大阪 | 飯田吳服店 |
| 一石鹼 | 同 | 春元石鹼製造所 |
| 一鷄香水 | 同 | 大崎組商會 |
| 一ナフサリン | 同 | 大阪瓦斯株式会社 |
| 一ハイソント | 同 | 日本ハイソント株式会社 |
| 一セメント製品 | 同 | 日本商會 |
| 一椿油 | 同 | 坪田大島堂 |
| 一石鹼 | 同 | 栗津久治郎 |
| 一陶磁器 | 愛知 | 瀬戸陶磁工商同業組合 |
| 一原料糖 | 愛知 | 瀬戸糖業聯合會 |
| 一五豆 | 京都 | 京都煎豆同業組合 |

◎協賛賞金牌

| | | |
|-------|-----|----------|
| 一仁丹 | 大阪 | 森下博 |
| 一名種聯合 | 同 | 共美會 |
| 一婚禮用品 | 同 | 相生會 |
| 一鷄香水 | 同 | 大相崎組 |
| 一清酒 | 同 | 同入江菊次郎 |
| 一醬油 | 同 | 同荒川松之助 |
| 一小豆 | 山口 | 佐川延治 |
| 一味噌 | 兵庫 | 松原長藏 |
| 一短噺 | 京都 | 山澤政次郎 |
| 一袴地 | 大阪 | 中村仲藏 |
| 一鋸鎌 | 東京 | 伊澤平次郎 |
| 一裏地 | 廣島 | 西澤上會 |
| 一松盆 | 大阪 | 北佐染料店試染部 |
| 一練粕 | 三較 | 近藤孫藏 |
| 一麻布 | 北海道 | 林野中七 |

| | | |
|-----|----|--------|
| 一結髮 | 大阪 | 並川ふみ |
| 一同 | 同 | 山上くみ |
| 一同 | 同 | 初瀬川いさ |
| 一同 | 同 | 勝田よね |
| 一同 | 同 | 加賀田はな |
| 一同 | 同 | 同山野きく |
| 一同 | 同 | 同若江ふじ |
| 一同 | 同 | 同宮川やゑ |
| 一同 | 同 | 同淺野なが |
| 一同 | 同 | 同御所名ふい |
| 一同 | 同 | 同鹽野くら |
| 一同 | 同 | 同鹽野くら |
| 一同 | 同 | 同石川こさ |
| 一同 | 同 | 同毛利たつ |
| 一同 | 同 | 同中野やゑ |
| 一同 | 同 | 同早島みね |
| 一同 | 同 | 同井上みさ |
| 一同 | 同 | 同西村すみ |

◎協賛賞褒狀

計 一九名

の満足を得たるは本會も亦満足に堪へざる處なり

四 審査 概評

出品物審査ノ批評ハ當該出品者ハ勿論一般當業者ノ參考トシテ最モ必要ノモノナルヲ以テ左ニ之レヲ掲グ

審査 概評

糸類、木綿太物、無地染、麻布類、浴衣地、絹織物、モスリン友禪、清酒、醬油、酢、鑛業

- 一、「カタン」系 「カタン」系ハ近年大ニ品質ヲ改良セラレタルモ尙ホ外國製ニ比較スレハ光澤ニ於テ多少遜色アルヲ免レス宜シク一層奮勵スヘシ
- 一、艶糸 艶糸ハ時局ノ影響ヲ享ケ速カニ簡易ナル機械器具ヲ急造シ製作セルモノ多キヲ占メ未ダ不完全タルヲ免レス宜シク糊料ノ調和ト仕上機ノ改良ヲ圖リ光澤及手觸リ共ニ外國製ニ比スルモ劣ラサルモノヲ製作スルニ勉ムベキナリ
- 一、木綿晒 技術ハ前年ニ比シ多少進歩セルモノ、如シ殊ニ足袋地向トシテ仕上ケテ施セルモノ、中ニハ稍々精巧ト認ムヘ

キモノアルモ尙ホ油類其他ノ汚點ヲ有スルモノ又ハ水洗不充分ニシテ據素ノ臭氣ヲ完全ニ除去セサルモノアリ尙ホ一層ノ注意ヲ要スルノミナラス機械的設備ノ完成ト工費ノ低廉ヲ圖ルハ目下ノ急務ナルヘシ

- 一、木綿織 木綿織ヲ出品セル主ナル産地ハ東京府及兵庫縣ニシテ共ニ意匠縞柄ニ見ル可キモノ夥ナカラサルノミナラス製織及仕上ニ至ルマテ近年著シク進歩セルハ推稱スヘキナリ
- 一、無地染木綿 裏地ト足袋地向トチ間ハス染色業者カ硫化染料又ハ「スレン」屬染料ノ正當ナル使用法ヲ了解セシ結果靉近變色又ハ褪色等ノ不平ノ聲ヲ聞クコト稀ナルニ至レリ今回ノ出品物ヲ見ルニ仕上ニ於テハ尙ホ研究ス可ス點夥ナカラサルモ染色ハ何レモ堅牢ナリ然レトモ歐洲ノ騒亂ハ染料ノ價格ニ

第七回日本産業博覽會優賞之證

府縣名 何 某

審査部長 擔任部長 名

何 賞

審査長正六位數等 栗田專太郎

審査總長正六位數五等 博士 平賀義美

審査成績二依り茲ニ之ヲ授與ス

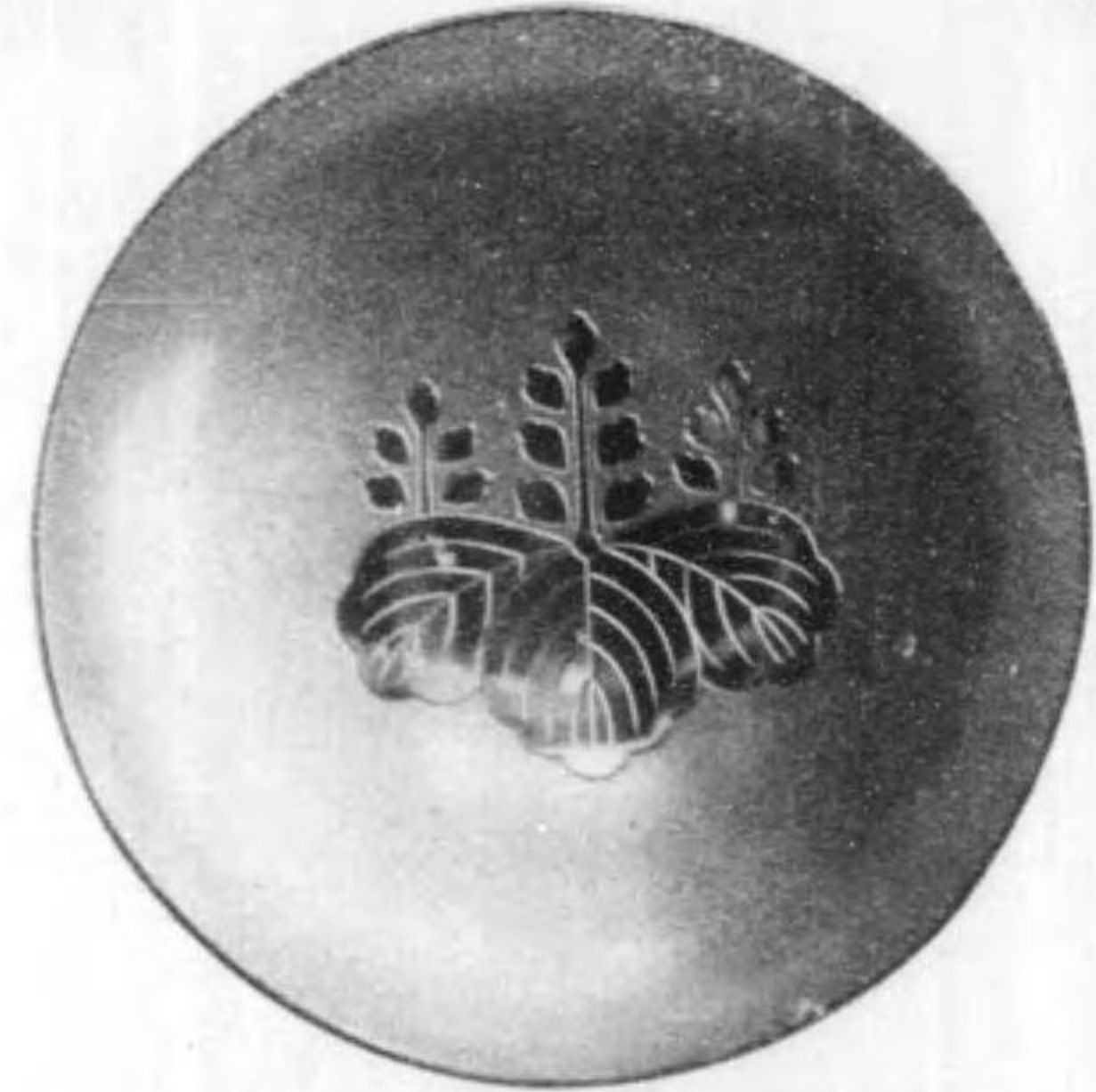
大正四年五月二十五日

總裁正四位數二等大久保利武

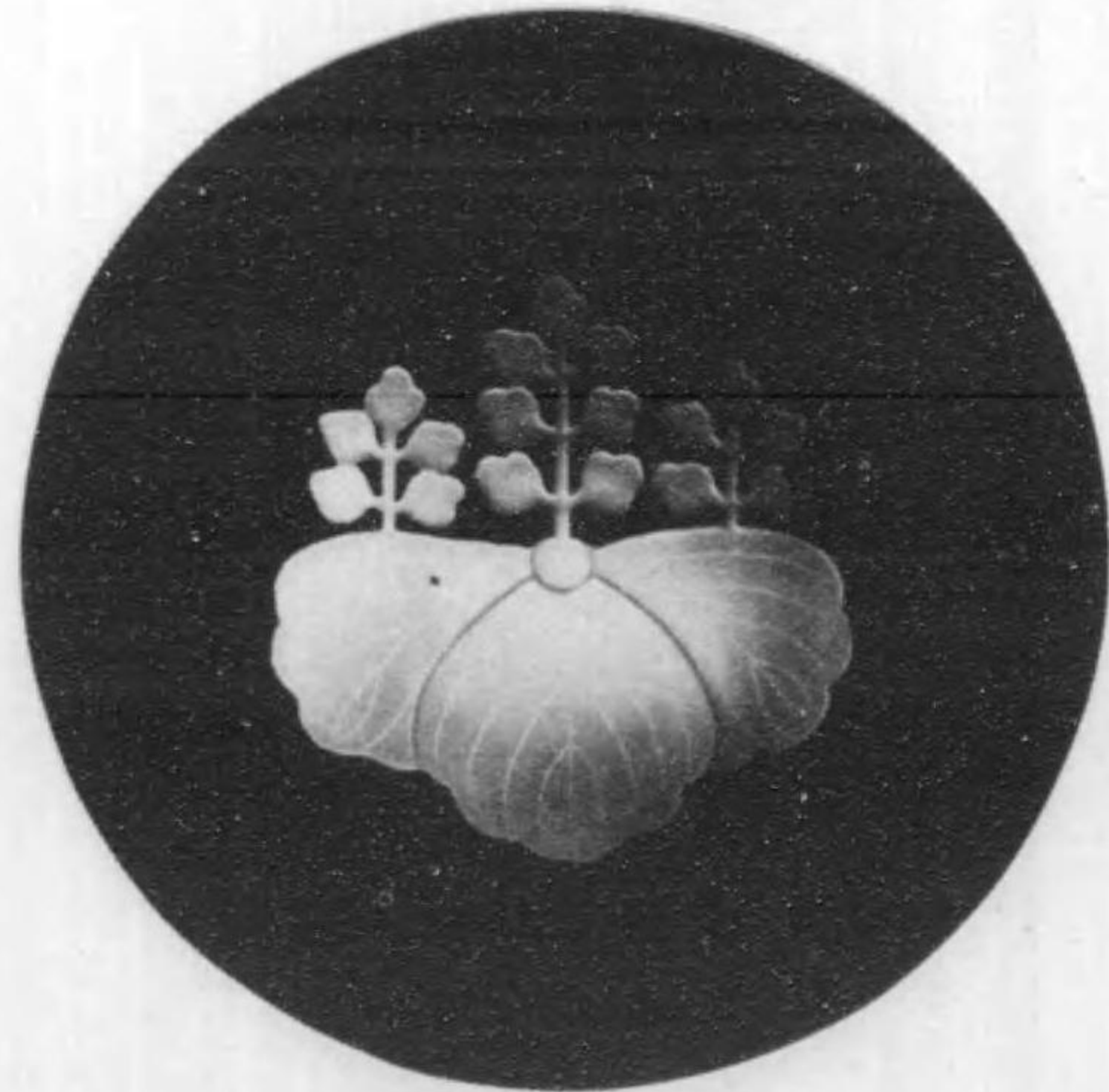
牌



賞



陳列意匠二等賞銀杯



陳列意匠三等賞木杯

大暴騰ヲ來シ比較的多量ノ染料ヲ要スル無地木綿業界ノ前途ヲ考フニハ寒心ニ耐ヘス宜シク下染等ニ植物性其他ノ代用品ヲ使用スル等染料ノ節約ヲ計ルニハ周到ナル注意ヲ拂フニ非ラサレハ折角獲得セル需用者ノ信用ヲ失墜スルニ至ルヘシ

一、麻布類 麻布類ヲ比較的多數ニ出品セルハ滋賀縣ニシテ十數年以前ヨリ種々品質ノ改良ニツキ苦心劃策セシ結果染色ハ概シテ堅牢トナリ販路モ漸次發展セルモノ、如シ然ルニ今回ノ出品ヲ見ルニ緋縞等ノ意匠陳腐ナルノミナラス製織仕上ハ稍々粗造ニ流レタルモノ點アリ將來一層奮勵以テ精巧品ノ產出ニ勉ム可キナリ座蒲團地ノ經糸捺染法ハ稍々進歩セルモ意匠複雜ニ傾キ却テ品位ヲ損スルモノアリ宜シク注意スヘシ

一、浴衣地 浴衣地ノ出品中ニハ舊法ヲ墨守シテ毫モ改良ノ蹟ヲ見サルノミナラス意匠ノ如キモ陳腐ニ屬スルモノ尠ナカラズ之ニ反シテ機械力ヲ應用セルモノハ單ニ意匠嶄新ナルモノ多キヲ占ムルノミナラス鮮明ニシテ技工亦甚タ巧妙ヲ極メ且ツ仕上ノ佳良ナル大ニ賞揚スヘキナリ

一、絹織物 絹着尺中ニハ縞物、上布、節織等アルモ何レモ著シキ進歩ヲ認メ難キニ反シ御召類ハ年ト共ニ需用増進シ當業

者カ熱心研究ノ結果精巧品夥ナカラサルハ喜フ可シ

一、「モスリン」友禪 「モスリン」友禪ハ浪花染織界ノ花ニシテ其技術年ト共ニ進歩シ東京、京都等ノ製品ニ比シ毫モ遜色ナキノミナラス製産額ニ於テモ大阪府ハ實ニ其最大多額ヲ占ム是レ當業者カ圖案又ハ製作技術ニ關シ屢々競技會ヲ開催シテ其技ヲ研キ或ハ職工ノ獎勵ニ努ムル等斯業ノ改善進歩ヲ圖リタル結果今日ノ成績ヲ見ルニ至リシモノナルヘシ今回ノ出品物中ニハ二三意匠ノ突飛ニ流レタルモノナキニアラサリシモ多數ハ精新ニシテ實用向意匠ニ富ミ配色技工共ニ殆ソド遺憾ナキ出來ト云フ可シ

一、清酒 今回出品ノ成績ヲ通覽スルニ前回ニ比シ品質一般ニ向上シ其最モ精良ナルモノニ至リテハ主産地ノ釀造ト其優秀ヲ爭フニ足ルモノ尠ナカラズ是レ誠ニ慶賀スヘキ現象ニシテ畢竟各地ヲ通シテ釀造技術ノ研鑽ニ勉メタル結果ニ外ナラスト信ス然リト雖モ往々ニシテ香味ノ色澤ニ伴ハサルモノ色澤香味共ニ醇雅ナラサルモノ或ハ舊式ノ釀造方法ニ依リタルモノ或ハ酒力薄弱ニシテ貯藏保存上警戒ヲ要スベキモノ等ヲ散見スルハ頗ル遺憾ニ耐ヘサル所ナリ宜シク原料ノ品位ニ從ヒ

操作ノ加減ニ注意シ或ハ種麴ノ撰擇、酒母製造ノ型式、膠仕込ノ方法等ニ改良ヲ加ヘ以テ理想的清醇ヲ醸出スルニ勉メラレンコトヲ望ム

一、醬油 醬油ハ之ヲ前回ニ比スルニ品質著シク進歩シ優劣ノ差甚ダシカラス漸次齊一ニ赴カントスルノ傾向ヲ呈ス特ニ優良ト認ムルモノニ至リテハ主産地ノ精品ニ比シテ何等遜色ナキモノアルカ如キハ誠ニ悦フヘキ現象ナリトス之レ畢竟醬油ノ醸造ハ比較的容易ナルカ爲メ近年各地ニ新進醸造家輩出シ漸次競争激甚トナリシ結果品質ノ改良ニ努力スルモノ著シク増加シタルニ依ルモノナルヘシ然リト雖モ間々火入ノ程度ヲ過ゴシ酷シク香味ヲ損セルモノアリ或ハ容器ノ注意ヲ怠リタル爲メ香氣ノ風味ニ件ハサルモノアリ或ハ唯々風味ノミニニ心ヲ用ヒテ所謂博覧會出品ナル特製品ヲ出品シ中ニハ技巧ヲ弄シテ多ク他物ヲ混和シ爲メニ香味ノ調和ヲ欠キタルモノアルカ如キハ却テ進歩ヲ阻害スヘキモノニシテ大ニ戒ムヘキコトナリトス宜シク原料調理ノ方法ヲ考ヘ麴菌ノ性質ヲ講究シ仕込ノ時機ニ應ジテ食鹽水ノ濃度ヲ調節シ原料ヲシテ出來得ル限リ可溶性ニ醬化セシムヘク醱酵菌ヲ巧ニ利用シ以テ品位ノ

向上ニ努力セラレンコトヲ切望ス

一、酢 酢ノ出品ハ只僅カニ六點ナルノミナラス多少潤澤セルモノ二三點アリシハ惜ム可シ宜シク原料ノ撰擇ニ注意シ風味香氣、色澤等ノ佳良ナルモノヲ産出スルニ努ム可シ

一、鑛業 本類ニ關スル出品者ハ只僅カニ四名ニ止マリシモ斯業界ニ於ケル重鎮藤田組ヨリ型銅、型鉛、電氣、亞鉛等數多出品セラレタルノミナラス冶金界ニ於テ多年ノ懸案タリシ精煉術ニ對シ親近成功セラレタル三菱合資會社カ生野錫ナル名稱ヲ附シテ製出セラレタルモノ、如キハ我鑛業界ノ誇ニシテ其品位外國製ニ比シ毫モ遜色ナキハ國家ノ爲メ慶賀ス可キナリ

瓦斯及石油發動機、唧筒、精米機、帶革、雜機械、金屬製品、文房具、樂器、貝卸、

一、瓦斯及石油發動機 材料ヲ撰擇シ製作ニ留意シ以テ堅牢ニシテ機械的耐久力ノ増加ヲ圖レルハ大ニ推稱スルニ足ル又始動裝置ノ如キ構造簡單ニシテ「ガソリン」ヲ使用シタルハ一進歩ト云フヲ得ヘシ唯運轉狀態ニ於テ多少平滑ヲ欠キ回轉ニ不同アルハ遺憾ナリ調整裝置ニ於テ今一段ノ改良ヲ望ム又輕油

發動機ノ回轉變換裝置ニ巧ミナル機構ヲ用ヒ運轉中隨意ニ回轉方向ヲ變シ得ヘキ様作リタルモノアルハ注意スルニ足ル望ムラクハ今一層點火裝置ノ改良ヲ要ス

一、唧筒 各出品者カ効率ノ點ニ注意ヲ拂ヘルハ稍進歩ト云フヘク消防用「ガソリン」發動機直結「ゲービン」唧筒ノ如キハ始動輕快ニシテ且ツ水勢偉大ナルヲ以テ其目的ニ向ツテ大ニ其果ヲ與アルモノト云フヘシ、手動消防用唧筒ハ辨裝置ニ就キ進歩セルモノアレトモ運轉各部ノ磨擦ノ輕減ヲ計ラサル如キ感アルハ遺憾トスル所ナリ

一、精米機 今回出品ノ精米機中稍完全ニ近キ無砂搗機等アルハ一進歩ナリトス彼ノ「スプリング」式ノ中ニハ幹ノ意性ト、「スプリング」ノ彈性トノ調和ヲ欽キ果シテ「スプリング」使用ノ效果ヲ顯ハシ得ルヤ否ヤヲ研究スルノ要アルヘク又四連座ノ投ケ式ノ如キ構造簡單ニシテ有効ナル結果ヲ示シツ、アルモノ等アリ要スルニ動力ニ於テ一般ニ半馬力掛ト爲サンタメ搗キ上ケニ多クノ時間ヲ要スルカ如キハ研究スルノ要アルヘシ畢竟此動力ハ各精米所ノ規模ノ大小ニ應ジテ適當ナル二三ノ標準型ヲ作り各需用者ニ適合セルモノヲ販賣スルノ必要ア

リ又米ノ各品質ニ對シテモ有効ニ調整シ得ラルヘキモノヲ考案スルノ要アリト信ス、察スルニ破碎米ノ多キモノハ白内ノ溫度ノ上昇果シテ幾度迄ハ米質ニ害ナキヤ等ヲモ研究シ搗キ減リ少ナク米質ヲ害セサル程度ニ於テ迅速ニ搗キ上ケ得ルコトニヨリテ精米ニ要スル全費用ヲ減スルコトヲ得ヘシ將來此等ニ就キ當業者ノ研究ヲ望ム

一、帶革 一般ニ皮「ベルト」ハ屈撓自在ナレトモ耐張力少ナク又木綿「ベルト」ハ之レニ反ス今回出品ノ木綿「ベルト」ニ於テ其兩端ノ破損ヲ防グタメ特種ノ織方ヲナセルハ賞讃ニ値ヒスヘシ唯其屈撓自在ナラサルハ遺憾トスヘシサレト之ヲ補足セシカ爲メニ皮、木綿兩種ヲ併用セルハ一進歩ナリト云ハサルヘカラス試驗ノ結果ニヨレハ耐張力強ク屈撓又甚タ困難ナラサルヲ認ム故ニ將來皮ト木綿トノ割合ニ注意ヲ拂ヒ適當ノ屈撓ヲナス様工夫セハ一層適當ナル製品ヲ得ヘシト信ス又木綿ノ幅ヲ皮ノ幅ヨリ狭小ニセシハ其着想可ナリト云フヘシ

一、雜機械 製麵機ハ精巧ナル機構ヲ供ヘ速力ニ良好ナル麵類ヲ製造シ得ルハ大ニ賞讃スルニ足ルヘシ、製綿機ハ「カード」ヲ除ク外悉ク内地製造ニ係リ其工作稍良好ナルモ

ノヲ出セルハ一進歩ナリト云フヘク其他メリヤス機械等モ當業者ノ苦心亦大ナルモノアルヲ認ム

一、金屬製品 鐵筋「コンクリート」ニ使用スル網狀鉄ノ内地ニ於テ製造ヲ開始シタルハ今後ノ建築界ニ於ケル一大福音タルヘク其製品又見ルヘキモノアルハ喜ブヘシ又「マスラ」銀ト稱スル一種ノ鐵ノ合金ヲ以テ燒鑄ヲ造リタルハ其鑄ヒ易カラサル點ニ於テ推稱スルニ足ラン、水道用「コックバルブ」類ハ概外觀ノ製作ニハ注意セルモ其要部ノ製作及摺リ合セ等ニ於テ往々粗製ニ流レタルヤノ感アルハ將來注意スヘキ點ナリトス銅器類ハ何レモ進歩ノ點ヲ認ムル能ハサルハ遺憾トスル所ナリ、又物ニ於テモ同シク何等研究進歩ノ蹟ナキハ將來大ニ當業者ノ注意ヲ要スルモノナリト信ス

一、文具類 今回出品ノ文具類ニ於テ特ニ注意スルニ足ルヘキモノハ鉛筆其他二三ニ過キス鉛筆ノ製造ハ長足ノ進歩ヲナシ今ヤ特種ノモノヲ除ク外凡テ内地製品ニ待ツテ得ルニ至リ品質又外品ニ劣ラサルモノヲ製出シ得タルハ大ニ推稱スルニ足ルヘシ唯將來「マーク」ノ印刷ニ注意スルト共ニ「マーク」ト品質トカ常ニ一定シテ變化ナカラントニ一段ノ注意ヲ要スヘシ

ク華美ヲ競フノ極實用ヨリハ寧ろ裝飾品化シタルノ嫌アリ帽子モ両面ト稱シ紙製ノモノアリ形状色澤「パナマ」帽ニ類似シ技巧ミニ價格安値ナレトモ實用上ニハ今一段ノ耐久の改良ヲ要スルモノ、如シ

一、雨傘 本品モ亦柄ニ女竹ヲ用ヒタルカ如キ脆弱風雨ニ堪ヘサルモノアリ間ニハ技巧誇ルノ極加工巧緻ニ過キ實用ニ適セサルモノアリ雨傘トシテノ目的ヲ逸セサランコトヲ望ム

一、皮革 製革上ノ技術漸次見ルヘキモノアレトモ着色艶上等ノ如キ最後ノ仕上ケニ今一段ノ工夫ヲ要スベキモノアリ

一、足袋 何レモ甲馳ノ撰定宜シカラサルカ爲メニ足袋トシテノ價值ヲ損スルモノアルハ惜ムヘシ一段ノ注意ヲ望ム

一、履物類 近時虛飾風ヲ爲スノ結果實用ヲ離レテ亦一種ノ裝飾品化スルノ傾キアリ甲厚益薄クシテ齒モ亦狭キモノ流行シ大道闊歩ノ用ニ堪ヘス僅ニ車上ノ身ヲ倚スル者ノ使用ニノミ適スルカ如キモノ歡迎セラレ然モ近年地方ニマテ此流行ヲ及ホシ優美ニシテ脆弱ナルモノニアラサレハ顧客ノ愛用ヲ得カダシト云フニ至リテハ國民元氣ノ頹廢ヲ證スヘク嘆スヘキノ限リナラズヤ

シ

一、樂器 樂器ハ今回ノ出品ニ於テ別ニ進歩ヲ認ムルモノナシ唯「ヴァイオリン」ノ系ノ中ニ稍ヤ見ルヘキモノアリ該品ハ近來外國ニ向ツテ輸出スルノ傾向アリ前途有望ノナルヲ以テ其製作ニ今一層ノ注意ヲ望ム、蓄音機ニ於テ音譜板ノ舶來類似品ヲ製作シタルハ稍進歩ヲ認ムヘク且ツ動物ノ鳴キ聲ヲ同時ニ吹込ミタルカ如キハ其考案稍ヤ珍奇ナリト云フヘシ

一、貝卸 本品ハ孔明ケニ今一層ノ注意ヲ要スヘシ今回ノ出ニ就テ仔細ニ之レヲ點檢スルニ多クハ孔相互ノ間隔及孔ノ直徑大小一定ナラス且ツ型附ケ等一般ニ不整ナルハ遺憾トスヘシ今ニシテ之レカ改良ニ注意セサレハ將來漸次聲價ヲ損スルニ至ラン宜シク適當ナル機械ヲ用ヒ製作ノ整一ヲ期セラレシコトヲ望ム

帽子洋傘洋杖類、雨傘、皮革、足袋、履物類、家具類、漆器、蒔繪、竹材、桐材、佛壇、小間物類

一、帽子洋傘洋杖類 多クハ有リ合モ品ノ出品ニ過キサルモノ、如ク特ニ入念ノ加工品少ナシ洋傘ハ婦人用ニ於テ近時著シ

一、家具類 家具類中「ベニヤ」薄板ノ張付ケ材及人造漆板ノ製作ハ巧ミナリ今後ノ需用多カルヘシ、洋家具ニハ木象眼ノ箱入ヲ推奨シ着色ト塗料ニ尙一層ノ改良ヲ望ム

一、漆器 各地ヨリ特色アル出品アリタルハ喜ブヘシト雖モ優秀品少キテ遺憾トス唯螺鈿漆器ハ技巧精見ルヘキモノアリ

一、蒔繪 精緻ナルモノ無キニアラサレトモ舊慣ヲ踏襲シタルニ過キス是等ハ製作圖案共ニ時勢ニ適應シタル新機軸ヲ出サシコトヲ望ム

一、竹材 管ニ天然竹ニ幾分ノ工程ヲ施シタルモノ、ミニテハ原料豐富ナラサルヘシ須ク人工ヲ加ヘテ天然ヲ凌駕スルカ如キ技術上ノ發明ヲ望ム

一、桐材 一二入念ノ出品無キニアラサレトモ多クハ審査上ノ價值アルモノナク出品ニ眞面目ヲ缺キタルノ嫌アリ

一、佛壇 佛壇ハ改良ノ餘地少ナキモノナレトモ然リトテ徒ニ舊慣ヲ墨守スルノミニ止メス宗派上一定シタル構造ヲ棄テ、ルノ範圍内ニ於テ構造及意匠ノ新工風ヲ望ム其地方ヨリノ出品ハ彫刻巧ニ漆漆亦意ヲ用ヒタルカ如キモ配置未ダ宜シキヲ得ス細部ニ注意ヲ欲キ調和ヲ失ヘル個所多キテ遺憾トス

一、小間物類 逐年安價ノ實用品ハ排斥セラレ高價ナル奢侈品ノミ歡迎セラル、ノ傾アリ而モ婦人用ニ於テ特ニ其甚シキヲ見ルニ至リ家庭ニ於ケル婦人ノ虛榮心カ如何ニ社會ヲ浮華ト虚飾ニ導キ延ヒテ人情ヲシテ日々益々輕薄詭譎ナラシメツ、アルカヲ想ヒ轉々痛嘆ニ堪ヘサルモノアリ世人ハ宜シク家庭ニ於ケル婦人ノ虛榮心ヲ極度ニ抑壓シ製造家モ亦實業ニシテ雅趣ニ富ミ安價ニシテ實用的ナルモノヲ製出シテ其流行ヲ促スコトニ勉メラレンコトハ當ニ小間物類ノミナラス洋傘及履物ノ審査ニ當リテ痛切ニ感シタル處ニシテ此點ニ對シテハ特ニ當業者ノ猛省ヲ望ム

農産物、水産物、罐詰及漬物、蒲鉾及厚焼

一、米 米ハ岡山、鳥取、兵庫、新潟、大阪等諸府縣ノ出品其ノ大部分ヲ占シ品質、乾燥、包装共ニ優秀ナルモノ比較的多キハ頗ル喜ブベキモ故ラニ出品物トシテ修飾シタルカ如キ嫌アルモノヲ見ルハ稍遺憾トスル所ナリ尙審査上數量ノ少キモノ(一升内外)ハ多量ノモノ(三俵)ニ比シテ其等位ノ低キハ單ニ品質乾燥ノミヲ比較附點シタルニ止マラス多少ノ斟酌ヲ加ヘタリ亦已ムヲ得ザルニ出ツ

ルベキハ栽培上肥料其當ヲ得ズ爲ニ水色ノ鮮明ナラザルモノアリ製造上捺揉ノ不充分ナルモノ火度ノ緩急宜シキヲ得ズ爲ニ香味ヲ損セルモノアリ芽ノ摘期ヲ誤レルモノアリ然レモ玉露及煎茶ノ二三點及紅茶ノ一點ハ優秀ナルモノトシテ見ルベシ

一、麵類 麵類中素麵ハ前回ニ比シ出品モ少ク品質モ亦劣レルモノ、如シ當業者ノ奮起ヲ望マザルヲ得ズ

一、海藻類 海藻類ハ海苔、昆布、寒天等ニシテ海苔ハ東京府其本場トシテ優位ヲ占メ寒天及昆布ハ大阪府其特色ヲ發揮セリ何レモ優品多キハ喜ブベシトナス

一、水産雜品 水産雜品中雲丹、數ノ子、鰻、鰯等ニ優品ヲ見ル何レモ原料及製法共ニ適當ニシテ頗ル稱揚スルニ足ルベキモノアリ然レモ鰯節ノ如キ原料佳良ナルモ燻蒸及乾燥ノ方法ヲ誤レルモノ鰻ノ乾燥不充分ナルモノ等ナキニアラズ今後研究改善ヲ要スベキモノト認ム其他田賦類ニ於テ原料ノ撰擇宜シカラズ味附及煮方ノ當ヲ得ザルモノアリシハ遺憾トスル所ナリ

一、罐詰及漬物 罐詰ハ漸次進歩ノ蹟アルヲ見ルハ洵ニ喜ブベ

一、繭及蠶種 繭及蠶種ハ出品點數ノ少キハ甚遺憾ナルモ優品ヲ見ルハ喜ブベク殊ニ蠶種ノ産着頗ル整一ナルト繭ノ光澤鮮明ナルト絲量ノ豐多ナルモノアリシハ推稱ニ値ヒスベシ

一、木炭 木炭ハ主トシテ和歌山及兵庫二縣ノ出品ニ係リ二三顯ル優秀ニシテ炭トシテ殆ンド缺點ナキモノアリシモ其包装稍修飾ニ過キタルモノアリ其他ハ原料タル材質ノ撰擇宜シカラザルモノ焼方及包装ノ不完全ナルモノ等注意スベキ點少ナカラズ

一、粉類 近來織物工業ノ發達ニ伴ヒ之ニ要スル糊及化粧品ノ原料トシテ大ニ需用ヲ増加シ殊ニ歐州戰亂ノ爲ニ小麥粉ノ拂底ハ他ノ澱粉類ノ發達ヲ促進シ甘薯澱粉、玉蜀黍澱粉等ノ製出ヲ盛ナラシムルニ至レリ今回ノ出品中是レ等ノ優品ヲ見ルハ甚喜ブベキ現象ナリトス其他在來ノ米粉、片栗粉、豆粉、藕粉等モ漸次其製造ノ方法ヲ改善シ品質精上進セルガ如キモ尙製粉ノ方法、晒シ方、乾燥等不充分ナルモノ少ナカラズ

一、茶 玉露、煎茶、紅茶ノ三種ニシテ大阪、静岡、廣島、長野、鹿児島等諸府縣ノ出品ニ係リ何レモ其地方ノ特色ヲ發揮セルモ稀ニハ其產地ヲ疑フベキモノナキニ非ズ缺點トシテ見

シ殊ニ製罐ノ方法精改良サレタルヲ見ル然レトモ原料尙當ヲ得ズ煮方モ亦宜シカラズシテ液ノ潤濁セルモノ腐敗ニ傾ケルモノ香味ヲ失ヘルモノ等アリシハ甚遺憾トスル所ニシテ未ダ外國品ニ比シ遜色アルハ大ニ當業者ノ奮勵ヲ望マザルヲ得ズ

漬物類中奈良漬ハ年々優品ヲ出シ今回又佳品ヲ見ル味増濃モ亦然リ原料及漬方共ニ佳良ナルモノ多シ其他鮭筋子粕漬、山葵漬、芥子漬等又佳品多シ然レドモ今回ノ出品中原料ノ撰擇ヲ誤リ漬方其當ヲ得ザル爲メ酸ヲ生シ香味ヲ損セルモノナキニ非ズ宜シク注意ヲ要スベキ處ナリトス

一、蒲鉾及厚焼 蒲鉾及厚焼ハ概シテ材料製法共ニ優秀ニシテ殆ンド間然スル所ナキモノ多シ然レドモ尙材料ノ配合當ヲ得サルモノ又ハ焼キ方宜シカラザルモノ味付ノ過ギタルモノ等アリテ多數ノ嗜好ニ適セザルモノアリシハ遺憾トスル所ナリ而シテ審査品ハ特ニ製出シタルモノ、如キ感アルハ已ムヲ得ザル所ナリト雖モ店舖ニ販賣スルモノモ宜シク材料ヲ精撰シ日常佳品ヲ供給スルニ勉メラレンコトヲ望ムヤ切ナリ

化學工業品、化粧品、窯業製品、紙及紙製品、菓子類、砂糖

一、化學工業品 本類ニ屬スル出品者ハ四拾六名(中ニ林業副産物十一名)ニシテ其點數五百十一(中ニ林業副産物六十四點)アリ前回ニハ此種出品ノ極メテ稀ナリシニ今回斯ナル多數ノ出品アリシハ本會ノ擴張ヲ標示スルト同時ニ最近時局ニ對スル化學工業ナル呼聲カ如何ニ斯業ニ從事スル人々ニ反響ヲ與ヘシカノ一端ヲ窺フコトヲ得ヘシ從テ本類ノ出品ハ稍々面目ヲ新ニシタルモノアリキ特ニ或種ノ塗料「ステアリン」「グリセリン」石灰窒素ノ如キ本邦有數ノモノニ屬セリ則チ塗料ハ一般ニ進歩ノ迹ヲ示シ多數ハ優秀ナリシ就中船舶用及防銹ノ種類ニ於テ見ルヘキモノアリ能ク輸入防遏ノ目的ニ適フモノトス脂肪分解産物タル「グリセリン」「ステアリン」ノ如キハ從來專ラ外國ヨリ輸入ヲ仰キシガ今回内地製品ノ出品ヲ見ルニ至リシハ大ニ喜フヘク此種事業ノ益々發達センコトヲ望ム、炭燒副産物タル醋酸石灰モ年々其産額ヲ増加スルニ至リシハ喜フヘシ、然レトモ尙大ニ普及及發展ノ餘地アルモノト信セラル、兵庫縣下ノ化學藥品ハ其種類多數ニシテ稍々國産獎勵ノ主旨ニ副ヘリト云フヘシ又人造香料ノ如キハ其出品恐クハ今回ヲ以テ嚆矢ト爲スヘク其産額固ヨリ僅少ナリト雖

モ大ニ慶スヘク將來尙獎勵スヘキモノナラン乎其他多數ノ出品ハ天産物ニ僅少ノ工程ヲ施シタルモノニシテ化學工業品ノ名稱ヲ冠スルニ躊躇セサルヲ得サルカ如キハ大ニ遺憾トスル所ナリ

一、化粧品 化粧品ハ出品人員二十八名點數三百六十四アリ斯界ノ權威ト稱セラレヘキ人々ノ多數ヲ網羅セルハ喜フヘシ本品ハ一般ニ近年著ルシク進歩シ品質本位ニ傾キタルノ觀アリ從來ハ石鹼ノ如キハ唯香氣、形狀又ハ包裝紙ニ重キヲ置キ遊離「アルカリ」ノ存否等ニハ注意セザリシカ今回ノ出品物ニ就テ見ルニ遊離「アルカリ」ノ存スルモノ殆ンド之ナキハ頗ル喜フヘシ其他白粉ニアリテハ鉛白粉ハ殆ント其限ヲ絶チ悉ク亞鉛華ヲ主ト爲セリ香油ハ眞正品少ナク白紋油又ハ礦物油ヲ以テ作りタルモノニ精油ノ名ヲ冠セルモノ少ナカラサルハ遺憾ナリ、香水モ内地製品ニシテ稍々見ルヘキモノヲ出スニ至リシト雖モ概評スレハ尙ホ幼稚ノ域ヲ脱セス更ニ一層ノ研究ヲ望マサルヲ得ス殊ニ香氣ノ散逸シ易キコトハ内地製品ノ缺點ナルヲ以テ當業者ハ香氣保留法ニ關シテ更ニ意ヲ用ヒラレンコトヲ望ム終ニ臨ミテ一言セサルヲ得サルモノアリ抑々化粧品

品タルヤ其性質トシテ概テ廣告ノ力ニヨリテ聲譽ヲ贏テ得タルモノニシテ其品質ニ至リテハ必シモ完美ト稱スヘキモノ、ミニアラス故ニ其擬賞ニシテ出品者ノ意ニ副ハサルモノアリトセハ品質完美ナルモノハ將來大ニ廣告ノ必要アルヘク既ニ廣告ニ於テ聲譽ヲ占メタルモノハ更ニ品質ノ改善ニ努ムヘキモノナラン

一、窯業製品 本品種ハ前回ニハ其出品殆ト絶無ナリシニ今回ハ有數ノ諸會社ノ出品アリシハ喜フヘシ、七寶ハ我邦特有ノ美術品ナルニ係ハラス其出品僅ニ一人ニシテ而カモ前回ト同一人ナリシハ本會ノ爲メ將タ出品者ノ爲メ遺憾トナスヘシ、硝子器ニ在リテモ特ニ注目スヘキ改善ノ點ヲ發見スル能ハス又有數ノ製造業者クハ販賣業者ノ出品殆ント絶無ナリシハ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ、陶磁器ニアリテハ一般ニ改善ノ跡ヲ發見スルハ稍々難事ニ屬スト雖モ一二ノ會社ニ於テハ長足ノ進歩ヲ認ムヘシ又品質精良ト稱スヘカラサルモ輸出ノ目的トシテ其産額多量ナルモノアリ目下國産獎勵ノ時ニ際シ此等ニハ比較的優賞ヲ擬セリ之ニ反シテ古來ノ名産ニシテ進歩ヲ認メ難キモノハ其名聲ニ對シテ擬賞ヲ躊躇セリ通常ノ煉瓦ニ在テ

ハ特ニ其進歩ノ餘地ナカルヘキモ裝飾用ノ貼付煉瓦ニ於テ新規ノ製作アリシハ頗ル多トスルニ足レリ

一、紙及紙製品 本類ニ屬スル品種ハ前回ニ於テハ殆ント間似合紙ノミニナリシニ今回ハ紙管業者ノ多數ノ出品アリシハ喜フヘシ此等ハ斯業組合員中有數ノ人々トシテ各々分業シテ其得意ノ出品ヲ爲セルハ能ク工業ノ本旨ヲ得タリト云フモ誇大ニ失セサルヘキカ其他最近設立ノ一會社ヨリ模造紙、印刷紙等ノ出品アリ其品質精良ニシテ頗ル歡賞ニ値ヒセリ又京都ヨリ所謂「グローム」紙ノ出品アリ是又稍々良好ニシテ輸入ノ防遏ニ對シ頗ル有望ト爲スヘシ間似合紙ハ稍多數ノ出品アリシト雖モ唯舊法ヲ守ルニ止マレルカ如シ到底改善ヲ講スヘキ途ナキモノカ非カ

一、菓子類 今回ノ出品ハ之レテ前回ニ比シ稍少ナカリシハ最近一年間ニ東西共ニ此種博覽會ノ開設アリシ影響ニ外ナラサルヘシ然レトモ前回ニ比シテ優良ナル點ヲ認メタルモノ多カリキ特ニ果實、豆類ノ應用範圍ノ擴大シタルハ喜フヘキ現象ト云ハサルヘカラス又本年ハ御大典ヲ行ハセラル、ニヨリ其記念タルヘキ考案ニ出テタルモノ數種アリ其中或ハ金古典

自信ト相反スル點アルモ亦已ムヲ得サルヘシ

ニ則リ優雅頗ル賞翫ニ値ヒスルモノアリキ而シテ其出品ノ種類ハ「カステール」、羊羹、焼物類多數ヲ占メ就中「カステール」ハ其本場タル長崎市ヨリモ出品アリ羊羹ハ極メテ純真ナルモノ一二點アリ一般ニ進歩ノ形迹アリシハ喜フヘシ其他多少調味シタルモノアリ甚シキハ羊羹ノ本質ヲ失フ傾向アルハ一考ヲ要スヘシ地方出品ニ在リテハ往々着色濃厚ニ過キタルモノ或ハ火度ノ適宜シキヲ得サリシモノアリ容器ニ至リテモ往々不完全ニシテ改善スヘキモノ二三ニシテ止マラサリキ焼物類ハ輸出ニ對シ頗ル有望ナル品種ニ屬ス獎勵スルヲ要スヘシ彼ノ缺餅、花あられノ類ハ市内ノ出品極メテ少ナカリシハ頗ル遺憾ナリシト雖モ稍々進歩ノ迹ヲ認ムルヲ得タリ「ビスケット」ハ將來必要ノ品種ナルニ係ラス本邦ニ其製造業少ナキハ大ニ憂フヘキモノナリトス尙當業者ハ觀察ヲ國家的ニ下シテ益々奮勵セラルレコトヲ希望ス

一、砂糖 本品ハ前回ニ於テハ一會社ノ出品ニ過キサリシモ今回ハ臺灣全部ノ製糖會社ヨリ舉ゲテ出品アリタルハ喜フヘシ然レトモ此等ハ其品質聲譽自ラ世ニ定論ノアルアリ依テ本會ハ之ニ産額ヲ參酌シテ序次ヲ爲セルニ止マレリ當業者諸氏ノ

第六章 儀式

一 開會式

時維大正四年四月十一日本會開會式ヲ舉行セリ式場ハ會場内公會堂ヲ以テ之レニ充テ正門ニハ綠門ヲ設ケ正門入口ニハ左右ニケ所ニ受付係ヲ設ケ通路ノ兩側ニハ紅白ノ幔幕ヲ廻ラシ庭園ニハ數ケ所ニテント張ヲ設ケテ式後ノ開宴ニ充ツベキ模擬店ニ備ヘ其他式場内ノ裝飾設備殘ル方ナク整ヘリ而カモ夜來ノ妬雨未ダ霽レズ係員等ガ最善ヲ盡シタル設備モ爲メニ其ノ一部ヲ變更セザルベカラサルコト、ナリ門前ニ設ケタル受付所ヲ堂内ニ移シ階上ノ一部ニ開宴ノ設備ヲ爲ス等總テ係員等ノ努力ニ依リ幸ニシテ何等設備上ニ欠クル所ナキヲ得タリ

斯クテ來賓及出品人ハ降雨篠ヲ突クガ如キニモ拘ハラズ陸續トシテ來會セラレ定刻前既ニ千二百餘名ノ多キニ上リ意外ノ盛況ヲ呈セリ

廳ガテ定刻ニ至ルヤ第一號砲ニ依リテ總裁以下役員及出品人入場シ第二號砲ニ依リテ來賓ノ參列アリ式ハ樂隊ノ吹奏スル「君が代」ノ奏樂ニ始マリ會長ノ舉式申請ニ次イテ總裁ノ式辭アリ次ギニ大隈首相ヲ始メ河野、大浦、一木、武富各大臣各局長其他ノ祝辭祝電(内田理事代讀)池上大阪市長、土

居大阪商業會議所會頭ノ祝辭朗讀アリタル後出品人總代帝國製紙株式會社代表者ノ答辭アリ終リテ會長閉會ヲ宣シ第三號砲ニテ式ヲ閉ヂタリ

式後來賓ヲ始メ參列者一同各館ヲ巡覽シタル後參列員一同ニ瓶酒折詰ヲ呈シ模擬店ヲ開ク時ニ雨未タ歇マサルモ般々タル煙火ノ響ハ嘖嘖タル奏樂ト相和シテ興ヲ添ヘ茲ニ開會第一ノ式ヲ終レリ

舉式申請ノ辭

日本產業博覽會總裁大久保利武閣下

日本產業博覽會ノ開催ニ方リ善右衛門芝シキチ會長ニ承ケ夙夜經營畫策唯其及ハサラン事ヲ慮レシニ幸ニ大方ノ贊助ト出品者諸氏ノ精勵トニ依リ諸般ノ設備完キテ告ク茲ニ出品目錄ヲ呈シ謹テ開會ノ式ヲ舉ケラレンコトヲ申請ス

大正四年四月十一日

第七回日本產業博覽會

會長 橋本善右衛門

式 辭

第七回日本產業博覽會出品ノ設備漸ク就リ本日ヲトシ茲ニ開會ノ式典ヲ舉ク抑モ本會ハ嘗テ數回開催シテ以來多少斯業ニ貢

セル所ナキニ非ラスト雖モ時勢ノ進歩ハ是ニ甘ンスルヲ容サズ今回ハ更ニ規模ヲ擴張シ出品上ノ設備經營ノ方法ニ於テ較ヤ革正シ以テ大ニ國產ノ獎勵發達ニ資センコトヲ期セリ、其出品ハ全國及臺灣朝鮮等ノ殖民地ニ亘リ有益ナル參考品亦少ナカラス誠ニ欣喜ニ堪ヘサルナリ
惟フニ今次ノ時局ハ我實業上ニ多大ノ教訓ヲ與ヘツ、アリ此時ニ際リ當業者諸氏ハ充分ノ考慮ト努力トヲ以テ内ニアリテハ工業上ノ發明製品ノ改良、外ニ對シテハ信用ノ扶植販路ノ擴張ニ思メ以テ我産業ノ進展ヲ圖ラサルヘカラス幸ニ本會カ如上ノ目的ノ一端ヲ達スルコトヲ得ハ豈獨リ本會ノ光榮ノミナランヤ一言ヲ叙シ開會ノ式辭ニ代フ

大正四年四月十一日

第七回日本產業博覽會

總裁正四位勳二等 大久保利武

祝 電

日本產業博覽會ハ我國産業ノ發達ト貿易ノ伸張ノ爲ニ多大ノ貢獻ヲナセルヲ深ク感謝ス

内閣總理大臣伯爵 大隈 重信

祝 辭

第七回日本產業博覽會開會式ノ舉行セラル、ヲ聞キ其我邦産業ノ發展ト貿易ノ進暢ニ資スル所少カラサルヘキヲ信シ遙ニ祝賀ノ意ヲ表ス

大正四年四月十一日

内務大臣子爵 大浦 兼武

第七回日本產業博覽會本日ヲ以テ開會ノ式ヲ舉ク

惟フニ我國産業界ノ現狀ハ今次ノ時局ニ際シ倍々之レカ改善進歩ヲ圖ルノ急要ナルヲ認ムルト共ニ將來當業者ノ奮勵努力ニ俟ツモノ頗ル多シ此時ニ於テ本博覽會ノ開設ヲ見ルハ國家ノ爲メ慶賀ニ堪ヘス式ニ方リ一言以テ祝辭トス

大正四年四月十一日

遞信大臣正四位勳四等 武富 時敏

祝 電

産業博覽會ノ開會ヲ祝ス

農商務大臣 河野 廣中

日本產業博覽會ノ開會ヲ祝ス

文部大臣 一木 喜徳郎

開會ヲ祝ス

農商務省農務局長 道家 齋

開會ヲ祝ス

農商務省商工局長 岡 實

開會ヲ祝ス

農商務省水産講習所長 下 啓助